

デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた 地域コミュニケーション・モデルの開発

(課題番号:25330399)

2013 年度～2016 年度科学研究費補助金(基盤研究C)

研究成果報告書

2017 年 3 月

研 究 代 表 者 遠 山 茂 樹

(高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門教授)

まえがき

本報告書は、平成25年度から4年間に渡り取り組んできた科学研究費助成事業・基盤研究(C)の助成を受けた「デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発」(課題番号:25330399)、総額230万円)の成果をまとめたものである。

3.11 東日本大震災以降、地域の防災力向上が課題となっているなかで、自然に隣接する地方郡部は特に対応が迫られている。高知県には「南海トラフ地震」シミュレーションにおいて34.4mという巨大津波が想定された黒潮町も位置していて、防災意識も高く、さらに国の補助による郡部の情報通信基盤の整備も進展していて、災害時にも威力を発揮できる地域コミュニケーションを築こうとしている。

本調査研究の目的は、社会調査を通じて急速なデジタル化が進展する郡部コミュニティにおける地域コミュニケーションの現状について、住民側と自治体・地域メディア側の両者の情報行動から解明しようとするものである。そして、地域コミュニケーションの実態を把握した上で、防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発・提言を目指した。

本報告書の構成は次の通りである。第1章において本研究の目的と実施してきた調査について記す。第2章では、対象となった黒潮町および奈半利町の概要について、政府統計データおよび本調査集計結果からそれぞれの地域特性について分析を試み、続く第3章では、対象地域住民における社会ネットワーク構造について分析を試みる。第4章では、地域内でのコミュニケーション・チャネルについて分析し、一般的な社会情報、および、ローカルな地元情報の流通経路について分析を試みる。第5章では、防災意識や準備行動の現状について概観すると同時に、防災情報コミュニケーションについても分析を試みる。第6章では、主要な地域情報発信者となっている町役場の広報誌担当者へのインタビューについて分析を試みる。同時に、町営ケーブルテレビをもつ黒潮町担当者へのインタビューも分析を試み、地域情報発信側の現状と課題について明らかにする。最後に本研究分析結果より得られた知見について総括し、防災コミュニティ強化のために検討すべき課題について論じたい。

なお、本調査研究へ協力くださった黒潮町と奈半利町の住民の皆さま、および、関係機関や団体の担当者の皆さま、さらに社会調査実施へ協力いただいた高知大学生たちに心より御礼申し上げます。また、本報告書の内容における不備については、全て著者である遠山の責任である。

平成29年3月31日

研究代表 遠山茂樹

高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門教授

目 次

まえがき	 i
1. 研究概要	 1
2. 社会構造の比較	 7
3. 社会ネットワーク構造の比較	13
4. コミュニケーション構造の比較	21
5. 防災準備の比較	31
6. 地域情報発信について	39
7. 結語	51

付録

付録 A 「地域コミュニケーション調査 調査票」(黒潮町編)および単純集計	A- 1
---------------------------------------	-----------

付録 B 「地域コミュニケーション調査 調査票」(奈半利町編)および単純集計	A-34
--	-----------

1. 研究概要

本章では、本研究の目的、当初計画、調査の実施報告について記す。

1.1 研究目的

本研究では、対象となる高知県沿岸郡部二町(黒潮町・奈半利町)において以下の3点を明らかにしようと予定していた。

(a)郡部コミュニティ住民のコミュニケーション実態の解明

黒潮町・奈半利町の住民における使用メディア・サービスの現状、メディア接触の実態、メディア使用目的、各種情報(「争点情報」「生活情報」「業務情報」「娯楽情報」「教育・教養情報」「防災・災害情報」)の入手経路、情報発信(クチコミなど)の実態、情報支出等の現状について社会調査を通じて明らかにする。

(b)郡部コミュニティの地域メディア実態の解明

地域情報を発信する自治体や地域メディアの設立経緯、主体の分類(自治体、民間企業、任意団体、地縁団体、NPO、個人など)、メディア形態(印刷、放送、ネットなど)、情報発信頻度、主な取扱情報の種類、地域のカバレッジ、防災・災害情報の扱い、現状の課題、未来展望、運営について(ビジネスモデルなど)等の現状を、インタビュー調査およびアンケート調査により明らかにする。

(c)新たな地域コミュニケーションモデルの開発

地域住民の情報行動と各種情報の流通経路と、地域メディアが発信する情報との現状の連関図を作成し、そこから緊密で柔軟な新たな地域コミュニケーション連関図を開発・提案する。

1.2 当初計画

本研究では、高知県沿岸郡部である幡多郡黒潮町(人口11,217人)および安芸郡奈半利町(人口3,326人)を対象に、①住民側のコミュニケーション実態解明のために選挙人名簿を用いて無作為に抽出した20歳以上の一般市民に対するアンケート調査(訪問留置法)を実施する(第1ステップ)。これは対象集落の規模や質問項目の多さを考慮し回収率を上げるための選択である。次に②地域情報発信を担う自治体や地域メディアに対して、スノーボール・サンプリングによるインタビュー調査を実施すると同時に、存在を把握した全ての地域情報発信主体に対して郵送調査を実施し、その実態を解明する(第2ステップ)。また、現地踏査や自治体や町内会など防災に直接的に携わる主体へのインタビュー調査を通じて、災害・防災情報流通における課題を抽出し、新たな地域コミュニケーションモデルの開発を通じての対応策の提案を試みる(第3ステップ)。

○平成25年度

初年度は、本研究計画遂行のための準備期間と位置づけ、①調査対象地域への協力依頼、②現地踏査、③調査計画詳細の立案、④調査員リーダーの育成、⑤予備調査、⑥文献調査、⑦備品購入を実施する計画である。

○平成26年度

2年目は第1調査地における本格調査を実施する。具体的には、高知県幡多郡黒潮町において、20歳以上の住民を対象とするアンケート調査(訪問留置法)を9月(5日間)に実施(第1ステップ)。

本調査では質問項目の多さや集落の規模、回収率向上を考慮して訪問留置法を採用する。訪問留置調査においては学生調査員アルバイトの協力の下で実施する予定であり、事前の調査員訓練を7~8月にかけて実施する。質問票回収後は、学生アルバイトの協力のもとデータ入力・整理を進める。

年明け2~3月には地域情報発信主体である自治体や地域メディア、さらにネット上で積極的に情報発信している市民(地元有名ブロガーなど)を対象に、インタビュー調査を実施する。対象者はスノーボール・サンプリング方式で抽出していく。さらに研究代表者が把握できた地域メディア全てに対するアンケート調査(郵送法)も実施する(第2ステップ)。あわせて、防災・災害情報に関わる自治体や町内会・自治会、その他の関係者へのインタビューを行い、現状と課題について調査する。

3月末までに次年度調査地である安芸郡奈半利町の選挙管理委員会へ協力を申し出、選挙人名簿の閲覧と

標本抽出を行う。

○平成27年度

3年目は第2調査地における本格調査を実施する。具体的には、高知県安芸郡奈半利町において、20歳以上の住民を対象とするアンケート調査(訪問留置法)を9月(5日間)に実施(第1ステップ)。

訪問留置調査においては学生調査員アルバイトの協力の下で実施する予定であり、事前の調査員訓練を7~8月にかけて実施する。

質問票回収後は、学生アルバイトの協力のもとデータ入力・整理を進める。

年明け2~3月には地域情報発信主体である自治体や地域メディア、さらにネット上で積極的に情報発信している市民(地元有名ブロガーなど)を対象に、インタビュー調査を実施する。対象者はスノーボール・サンプリング方式で抽出していく。さらに、研究代表者が把握できた地域メディア全てに対するアンケート調査(郵送法)も実施する(第2ステップ)。あわせて、防災・災害情報に関わる自治体や町内会・自治会、その他の関係者へのインタビューを行い、現状と課題について調査する。

3月中には前年度黒潮町調査の調査報告書印刷を完成させ、関係者へ送付する。

○平成28年度

最終年は、成果発表の年度と位置づける。年度初頭(~5月)に国際学会発表に向けてAbstractを作成・申請する。二町における地域コミュニケーションの現状把握および災害・防災情報流通の課題について整理し、対応策となる地域コミュニケーションモデルの開発に取り組む(第3ステップ)。そして、研究成果を国内外の学会にて発表していく。

1.3 研究実施状況

以下では実際に取り組んだ研究実施状況について、年度ごとに記す。

○平成25年度

当初、平成25年度研究計画として1)調査対象地域への協力依頼、2)現地踏査、3)調査計画詳細の立案、4)調査員リーダーの育成、5)予備調査、6)文献調査、7)備品購入、を挙げていた。1)、2)、6)、7)については順調に遂行してきたが、3)については未だ計画策定中である。4)は適任の学生を見つけられず、5)では標本抽出は実施したが仮調査票作成については平成26年度へずれ込む状況にある。

1)調査対象地域への協力依頼および2)現地踏査として、調査予定地である二町への現地踏査を行った。幡多郡黒潮町へは平成25年9月19日~20日に現地を訪れ、黒潮町役場へ調査協力依頼をした上で、その後町内を徒歩および鉄道を使用して視察し、集落や自然状況について確認した。安芸郡奈半利町へは平成25年12月13日~14日に現地を訪れ、地域団体「なはりテレワーカークラブ」代表者へ調査協力依頼をすると同時に、自動車に同乗させていただき飛び地となっている集落を含め町内を視察して回った。その後自転車を使用して町内視察をさらに進め、集落や自然状況について確認した。

5)予備調査としては、黒潮町選挙管理委員会より選挙人名簿の閲覧・転記の許可をもらい、平成26年3月に延べ5日間かけて標本抽出作業を行った。具体的には層化二段無作為抽出法により560人分の標本名簿を作成した。

○平成26年度

当初計画では、平成26年度には黒潮町町民サンプル500名を対象に1)アンケート調査(訪問留置法)の実施、および、2)地域情報発信主体へのインタビュー調査を予定していた。さらに、年度末には3)平成27年度調査向けに奈半利町での標本抽出作業を予定していた。

1)アンケート調査の実施

黒潮町アンケート調査については、当初9月実施予定であったが、社会調査員確保に時間がかかり、最終的には11月~12月に現地調査を実施した。実サンプル数は553名。学生アルバイト11名の協力を得て、現地にて11月29日・30日に調査票を配布し、12月13日・14日に調査票の回収を行った。また、町内面積が広大で公共交通機関が未発達な当該地域において自動車でないとは対応できないエリアがあり社会調査員では対応困難であったため、一部は郵送による調査を混合して実施した。最終的な調査票回収数は212。しかしながらデ

ータ整理は年度内に終わらず、翌年度も継続作業中である。

2) 地域情報発信主体へのインタビュー調査

地域情報発信主体へのインタビューは、2月27日に黒潮町役場の広報誌担当者および町営CATV担当者に対して実施した。ただし、一般住民による地域情報発信(ブログなどによる)を発見できておらず、今後も対象者を探していくことにした。

3) 奈半利町での標本抽出作業

奈半利町における標本抽出作業については、同町選挙管理委員会の協力の下で、研究代表者が2月24日・25日に選挙人名簿からの転記作業を実施し、462名分の名簿を作成した。

○平成27年度

当初計画において、平成27年度は1)奈半利町でのアンケート調査および2)情報発信者へのインタビュー調査、さらに3)平成26年度実施した黒潮町の調査報告書の印刷・発送を予定していた。しかしながら、当初計画になかった研究代表者の長期海外研修(サバティカル研修)のため、一部の計画において大幅な見直しが必要となった。

1) アンケート調査の実施

奈半利町調査では、昨年度に計画を前倒した通り、6月末までにアンケートの配布・回収までを終え、データ入力およびクリーニングも年度内に終えている。アンケート調査は、昨年度2月に転記した対象者名簿(サンプル数462)に対して5月に調査協力依頼のはがきを送付した。その後、回収率向上のため、アンケート用紙配布は郵送とし、社会調査員5名による訪問回収作業を三日間(6月13日・20日・27日)に渡り実施した。回収数は242(回収率52.4%)、有効回答数は236であった。

2) 地域情報発信主体へのインタビュー調査

インタビュー調査については、奈半利町役場の広報誌担当者一名へのインタビュー調査を8月4日に実施した。しかしながら黒潮町同様、役場の担当者以外の地元情報発信者等を見つけておらず、引き続き探していく。

3) 黒潮町調査報告書の印刷・発送

報告書の印刷・発送については、米国滞在では対応困難であるため翌年度に繰り越す。ただし、報告書原稿は執筆中であり、帰国までに完成させる予定である。

○平成28年度

二町における調査報告書を完成させ、調査協力者のなかでの入手希望者へ11月中旬に郵送した。また、協力いただいた両町役場の担当者などへも郵送した。本調査報告書は、研究代表者の所属大学のウェブページ(<http://souls.cc.kochi-u.ac.jp/?&rf=5498>)において一般公開もしている。

これまで研究の成果発表として、平成28年4月の国際学会(INSNA: International Network for Social Network Analysis; 国際ネットワーク学会)にてポスター発表した。帰国後には、二つの所属学会の全国大会において口頭発表を行った。投稿論文は執筆中である。

なお、申請時に構想していたシンポジウムについては関係者との調整が困難と判断し、期間内の開催を断念している。

1. 4 社会調査の詳細

本研究においては、太平洋沿岸部に位置する郡部コミュニティとなる高知県幡多郡黒潮町および安芸郡奈半利町において質問紙調査を実施した。以下では各町における社会調査実施について記す。

1. 4. 1 黒潮町調査

○社会調査法

本調査は、黒潮町住民の全数調査ではなく、標本調査(サンプル調査)である。また、具体的社会調査法としては、訪問留置法を採択した。訪問留置法とは、社会調査員が対象者を訪問し、調査の目的などを説明した上で調査票への記入を依頼して、調査票を「留置き」し、後日、再び社会調査員が対象者を訪問し、記入済みの調査票を回収する社会調査方法のことである。直接、対象者を訪問することで、回収率の向上を目指した。

○標本(サンプル)について

本調査の対象は高知県幡多郡黒潮町の住民である。全数調査は費用的制約からも非現実的であるため、標本調査とした。本調査における調査対象者(標本:サンプル)は、黒潮町に住む 20 歳から 79 歳までの成人 560 人とした。数値の根拠は、標本の大きさを求める公式で求めた必要数の 399 に、回収率 7 割程度を想定した数である。

具体的な標本(サンプル)抽出は、調査責任者である研究代表者が黒潮町選挙管理委員会からの許可を得た上で、平成 26 年 3 月に選挙人名簿より「くじびきのような方法」(無作為抽出)で選んだ。具体的には二段階抽出法により7地点(投票区)を選び、1地点から 80 人を選び、標本対象者名簿を作成した。

○調査体制

調査責任者(遠山)が、高知大学人文学部生 11 名を社会調査員としてリクルートした。実際には、社会調査員を 6 班に分けて、それぞれの担当区域において調査票の配布・回収を行った。

○調査実施報告

調査票配布には平成 26 年 11 月 29 日(土)～30 日(日)の二日間をかけ、調査員 11 名を 6 つの班に分けた上で、自転車や徒歩、さらにレンタカー1 台(山間部用)を利用して実施した。調査チーム全員は幡多青少年の家に一泊した。両日に不在であったお宅には玄関やポストへ調査票および不在連絡票を留置した。

調査票回収は平成 26 年 12 月 13 日(土)～14 日(日)の二日間に実施した。回収についても配布時同様に、調査員 11 名を 6 つの班に分けた上で、自転車や徒歩、さらにレンタカー(山間部用)を使用して実施した。調査チーム全員は幡多青少年の家に一泊した。両日に不在等で調査票を回収できなかった対象者には、返信用封筒を玄関やポストへ置いた。

調査員調査において住居の特定が困難であったり、連絡がつかなかったりした対象者については、後日、郵送による調査依頼(調査票の配布など)をしている。結果的には「訪問留置法」と「郵送法」との二つの方法による社会調査となった。

本調査に関する主な日程は以下の通りである。

表. 黒潮町調査における主な日程

日程	調査作業内容
平成 25 年 09 月 19 日(木)	黒潮町役場へ調査協力依頼(訪問)
平成 26 年 03 月 05 日(水)～07(金) 平成 26 年 03 月 13 日(木)～14(金)	黒潮町選挙管理委員会にて標本(サンプル)抽出作業
平成 26 年 11 月 11 日(火)	協力依頼はがき発送
平成 26 年 11 月 29 日(土)～30(日)	黒潮町現地調査(調査票の配布)
平成 26 年 12 月 13 日(土)～14(日)	黒潮町現地調査(調査票の回収)
平成 26 年 12 月 17 日(水)	追加調査(調査票の郵送作業)
平成 27 年 01 月 15 日(木)	調査票返送締切日

○回収結果について

標本名簿の 560 人に対し、平成 26 年 11 月に調査協力依頼のはがきを郵送し、住所不明で 7 通が返送されたため、実際の調査対象標本数は 553 となった。

平成 26 年 11 月末の現地調査(調査票配布)において、諸事情(当人死亡や転居など)で配布不可能な対象者が 29 人いた。社会調査員の訪問により調査票を配布できたのは 407 人であった。住所から住居を見つけれなかったなど、調査票を配布できなかった 117 人については郵送調査に切り替え、後日、調査票および返送用封筒を郵送した。

平成 26 年 12 月の現地調査における社会調査員による調査票回収と、郵送による調査票返信の合計が 212 通で、回収率は 37.9%(=212/560)であった。調査票をデータにコーディングする過程においてデータクリーニン

グをし、最終的な有効回答数は 209 で、有効回答率は 37.3%(=209/560)であった。

1. 4. 2 奈半利町調査

○社会調査法

本調査は、奈半利町住民の全数調査ではなく、標本調査(サンプル調査)である。また、具体的社会調査法としては、郵送法と訪問留置法を混合した方法を採用した。郵送法とは調査票を対象者宅へ郵送し回収する社会調査方法である。訪問留置法とは、社会調査員が対象者を訪問し、調査の目的などを説明した上で調査票への記入を依頼して、調査票を「留置き」し、後日、再び社会調査員が対象者を訪問し、記入済みの調査票を回収する社会調査方法のことである。今回は、調査票の配布については郵送法を採用し、調査票の回収については訪問法を採用した。

○標本(サンプル)について

本調査の対象は高知県幡多郡奈半利町の住民である。全数調査は費用的制約からも非現実的であるため、標本調査とした。本調査における調査対象者(標本:サンプル)は、奈半利町に住む 20 歳から 79 歳までの成人 500 人とした。数値の根拠は、標本の大きさを求める公式で求めた必要数の 341 に、回収率 7 割程度を想定した数である。

具体的な標本(サンプル)抽出は、調査責任者である研究代表者が奈半利町選挙管理委員会からの許可を得た上で、平成 27 年 2 月に選挙人名簿より「くじびきのような方法」(無作為抽出)で選んだ。具体的には系統抽出法により 462 人を抽出し、標本対象者名簿を作成した。

○調査体制

調査責任者(遠山)が、高知大学人文学部生 5 名を社会調査員としてリクルートした。実際には、社会調査員各自の担当区域を割り当て、それぞれの担当区域において調査票の回収作業を行った。

○調査実施報告

調査は、調査票配布には郵送法を採用し、調査票回収において訪問法を採用した。標本名簿をもとに、調査協力依頼はがきを平成 27 年 5 月に発送し、翌 6 月に調査票を郵送した。

調査票回収は平成 27 年 6 月 13 日(土)、20 日(土)、27 日(土)の三日間に分けて実施した。回収作業では、調査員 5 名により、自転車や徒歩により実施した。調査責任者は大学公用車を利用して、主に加領郷地区および山間部を担当した。なお、合計三日間の回収作業にて、不在等で調査票を回収できなかった対象者には、返信用封筒を玄関やポストへ置いた。

本調査に関する主な日程は以下の通りである。

表. 奈半利町調査における主な日程

日程	調査作業内容
平成 27 年 02 月 12 日(木)	奈半利町選挙管理委員会へ選挙人名簿抄本閲覧申請書を郵送
平成 27 年 02 月 24 日(火)~25(水)	奈半利町選挙管理委員会にて標本(サンプル)抽出作業
平成 27 年 05 月 22 日(金)	協力依頼はがき発送
平成 27 年 06 月 02 日(火)	調査票の郵送
平成 27 年 06 月 13 日(土)、20(土)、27 日(土)	奈半利町現地調査(調査票の回収)
平成 27 年 07 月 31 日(金)	調査票返送締切日

○回収結果について

標本名簿の 462 人に対し、平成 27 年 5 月に調査協力依頼のはがきを郵送した。その後、住所不明による返送や電話連絡などで計 7 人を対象外とした。このため、実際の調査対象標本数は 455 となった。

平成 27 年 6 月の現地調査における社会調査員による調査票回収と、郵送による調査票返信の合計が 242 通で、回収率は 52.4%(242/462)であった。調査票をデータにコーディングする過程においてデータクリーニン

グをし、最終的な有効回答数は 238 で、有効回答率は 51.1% (238/462) であった。

1. 4. 3 聞き取り調査

地元情報の主要な発信者として、町の広報誌担当者へインタビューを実施した。インタビューは以下の表の通り実施された。インタビューでは、許可を得た上で、IC レコーダーにて会話を録音し、そのトランスクリプション原稿を分析に用いた。

表. 広報誌担当者へのインタビュー概要

	黒潮町	奈半利町
場所	黒潮町役場(大方)	奈半利町役場
日時	2015 年 2 月 27 日(約 90 分)	2016 年 8 月 4 日(約 60 分)
協力者	広報誌担当者1名	広報誌担当者1名

これらのインタビューにおける主な質問項目は、①担当体制、②情報収集や取材などの制作プロセス、③町民からのフィードバック、④広報誌の目的・目標・成果・評価、⑤防災情報の取り扱い、⑥課題、などについてである。

また、黒潮町においては町営ケーブルテレビを運営しているため、町役場の担当者へインタビューを実施している。

表. ケーブルテレビ担当者へのインタビュー概要

	黒潮町
場所	黒潮町役場(大方)
日時	2015 年 2 月 27 日(約 90 分)
協力者	町営 CATV 担当者1名

インタビューにおける主な質問項目は、①設立・沿革・組織体制など、②自主制作番組の制作体制および制作プロセス、③防災・災害情報の扱い、④行政との連携について、⑤課題、などについてである。

その他の地元情報発信者については、当初スノーボール・サンプリングにて対象者を見つけ出してゆく計画であったが、町役場の広報担当者においては該当者を見当たらないとのことであった。このため、研究期間内では行政関係者のみのインタビューとなった。

2. 社会構造の比較

本調査研究では高知県幡多郡黒潮町および同県安芸郡奈半利町を対象としている。両町に共通するのは、太平洋沿岸部に位置する郡部(町)であり、南海トラフ地震の被害想定において、大きな津波被害が予測されているエリアである点である。2011年3月11日の東日本大震災以来、防災は自然環境に密接な郡部コミュニティにおいて重要課題となったことは明らかである。

本章では、両町における社会構造の基礎となる人口や面積などについて記すと同時に、産業構造について概観する。その上、本調査結果より、二町間の社会構造の差異について論じる。

2.1 社会構造の基礎情報

平成27年国勢調査の結果¹より、二町の基礎情報を表にまとめる。

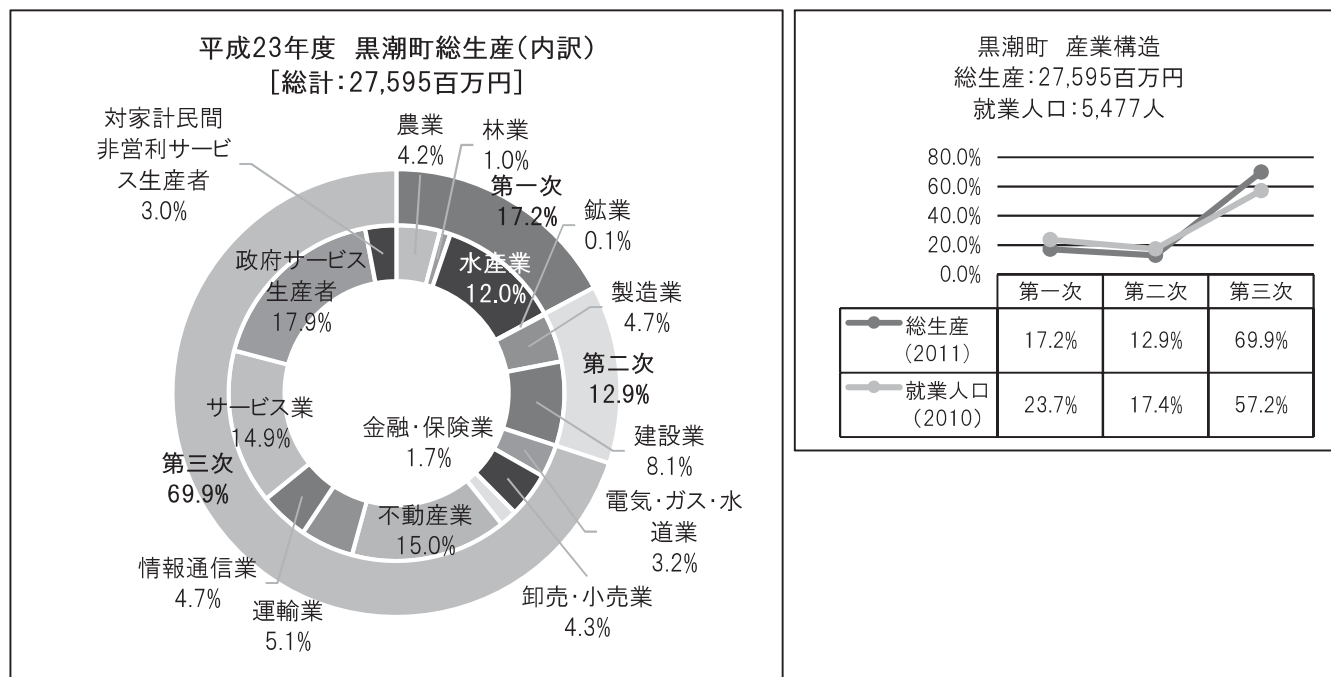
表. 二町の基礎情報

	人口	世帯数	面積(km ²)	人口密度(1km ² 当たり)
黒潮町	11,217 人	4,899	188.59km ²	59.5 人
奈半利町	3,326 人	1,474	28.36km ²	117.3 人

黒潮町は「平成の大合併」として、旧大方町と旧佐賀町とが平成18年3月に合併して登場した新しい町である。やや平地となる太平洋沿岸部から山間部にわたり広大な面積を有するため人口密度は低いが、中心部では集住している。一方の奈半利町も平地となる太平洋沿岸部から山間部にわたる面積を有するが、多くの町民は平地部に集中しているため人口密度は高めである。

次に高知県が平成26年に公表した「平成23年度市町村統計の概要」²より、二町における産業構成を概観していく。同統計資料によると、二町における平成23年度総生産は図のとおりである。

黒潮町の特徴としては、高知県内でも総生産における第一次産業の比率が高い点にある。黒潮町は県内で最も多くのカツオが水揚げされる町として知られ、水産業の比率が高くなっていることがわかる。このことは就業

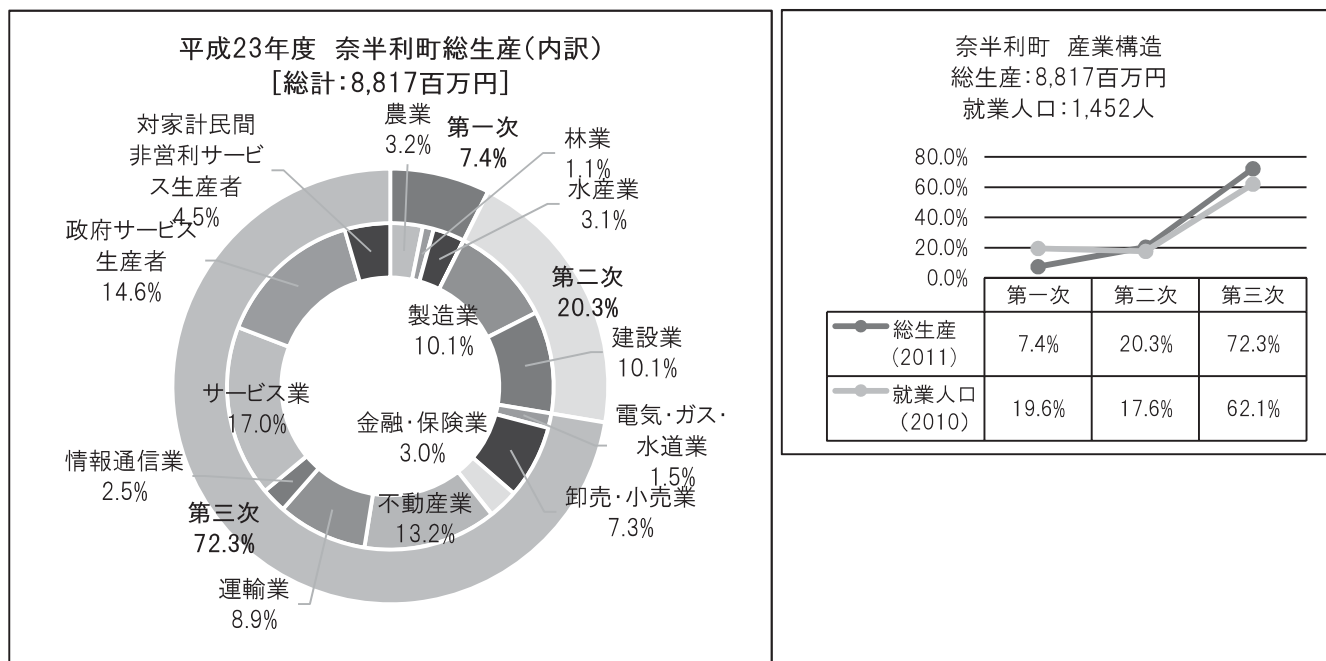


¹ 総務省統計局(2016)「平成27年国勢調査 調査の結果」; <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm> (アクセス: 2017.2.20.)

² 高知県総務部統計課(2014)『平成23年度 市町村経済統計の概要』; <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111901/files/2014061100065/h23keizaitoukei.pdf> (アクセス: 2017.2.20.)

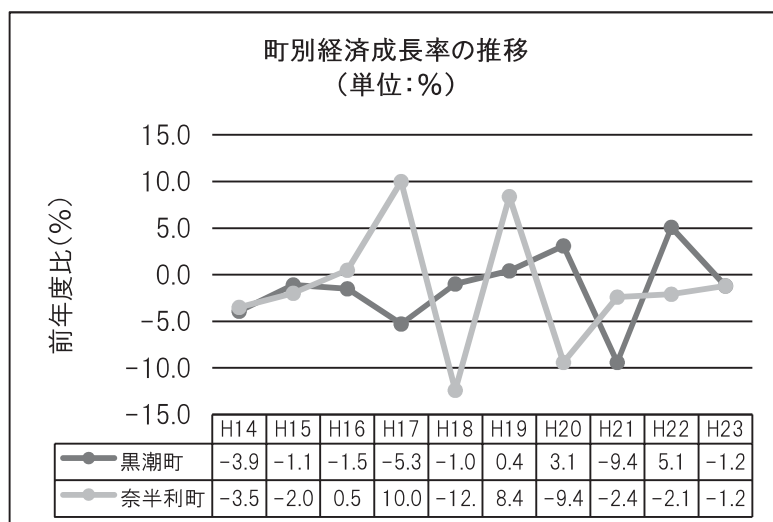
人口比からも確認できよう。第二次産業よりも、第一次産業の就業人口が 5 ポイント以上も多い。

一方、奈半利町では、就業人口では第一次産業が多いが、総生産をみると第二次産業の比率が高く、なかでも製造業の占める割合が高めであるのが特徴といえよう。



各町の就業人口一人あたりの単純総生産額を算出すると、黒潮町では 1 人あたり約 504 万円となる一方で、奈半利町では 1 人あたり約 607 万円と 100 万円近くの差が見られた。

また、二町間の経済成長率をまとめると右図の通りとなった。この期間の平均成長率は、黒潮町で-1.6%、奈半利町で-1.6%と同率であったが、奈半利町のほうが高低の動きが激しいのがよくわかる。また、平成 20 (2008) 年と平成 21 (2009) 年の落ち込みは“リーマンショック”の余波もあると推測される。

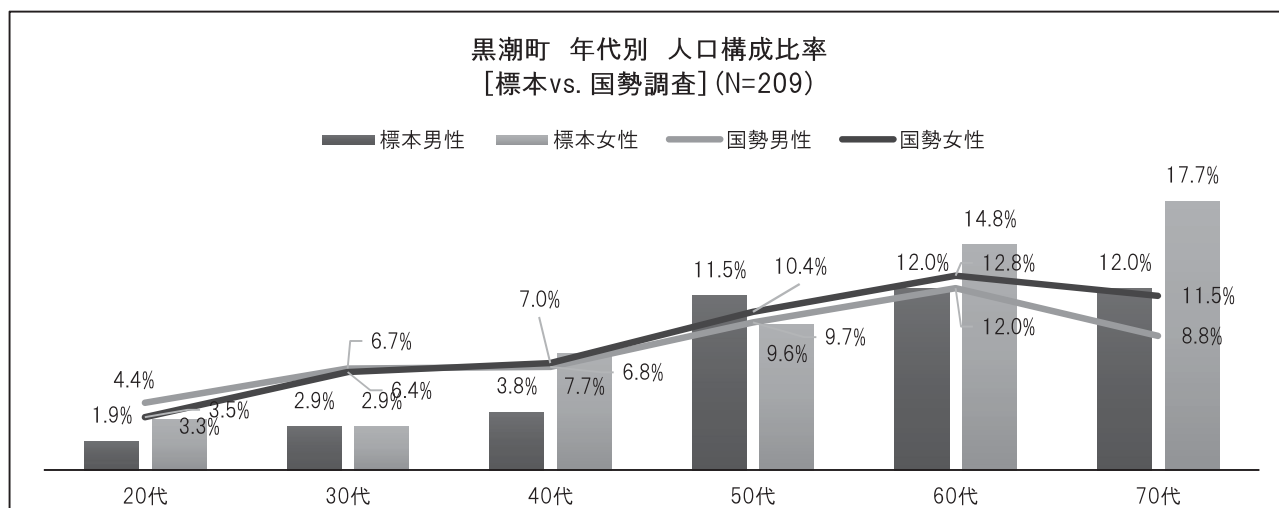


2.2 調査サンプルからみる社会構造

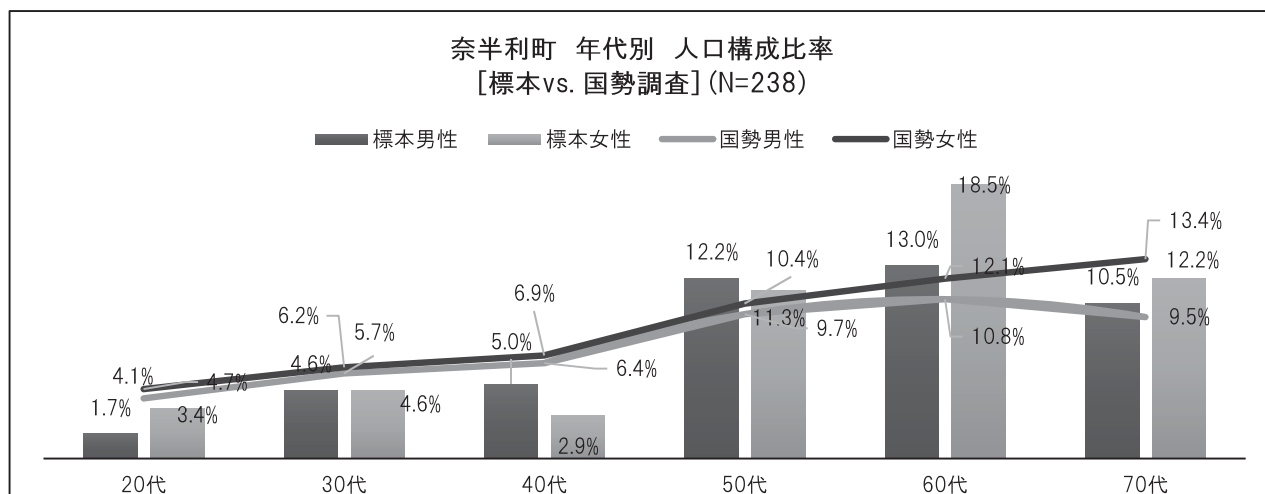
以下では、本調査研究の調査結果より分析した二町の社会構造とその比較を試みる。具体的には、二町の基本的人口構成について、年代、教育、職業、配偶者の有無、家族人数などから比較を試みる。

○年代構成

以下の図は黒潮町調査における調査協力者の人口構成と平成 22 年度国勢調査結果とを比較したものである。調査協力者においては、国勢調査結果よりも 20~30 代が少なく、50 代以上が多いという偏りが見られる。

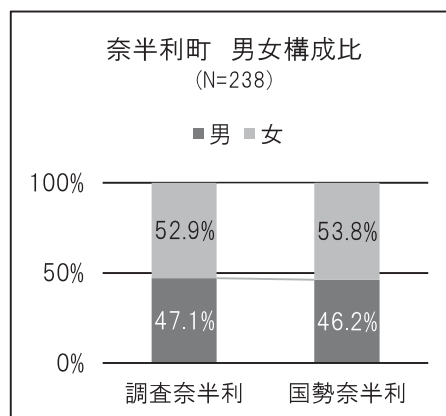
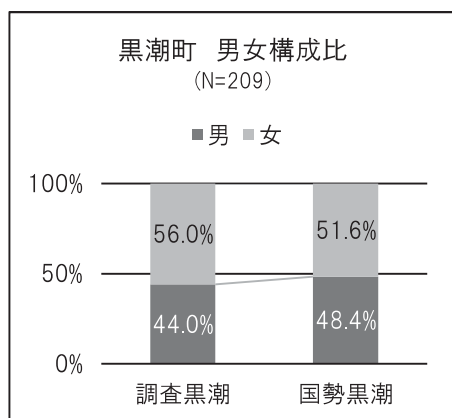


奈半利町調査結果においても、同様の比較をしている。以下の図は奈半利町調査における調査協力者の人口構成と平成 22 年度国勢調査結果とを比較したものである。調査協力者においては、国勢調査結果よりも 20~40 代が少なく、50~60 代が多いという偏りが見られる。



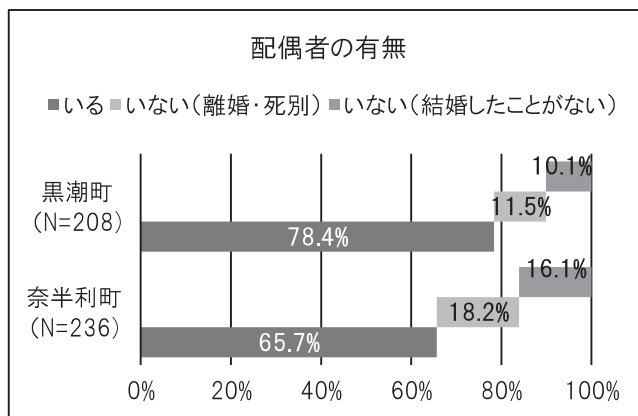
○男女構成

男女構成比においては、二町ともに調査サンプルと国勢調査結果との差はほとんどみられなかった。



○配偶者について

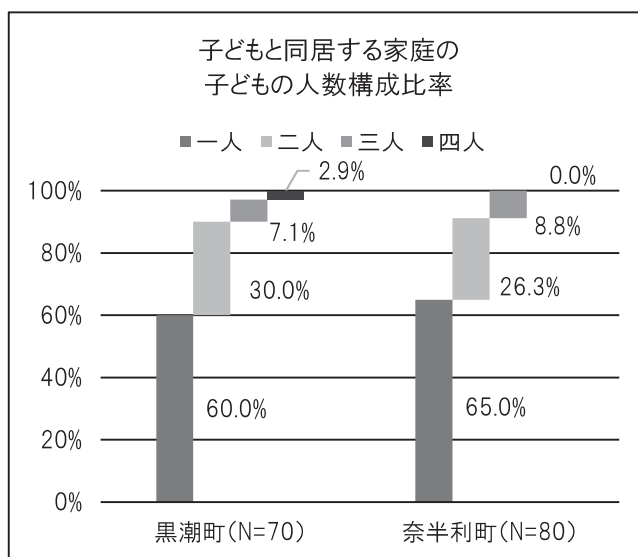
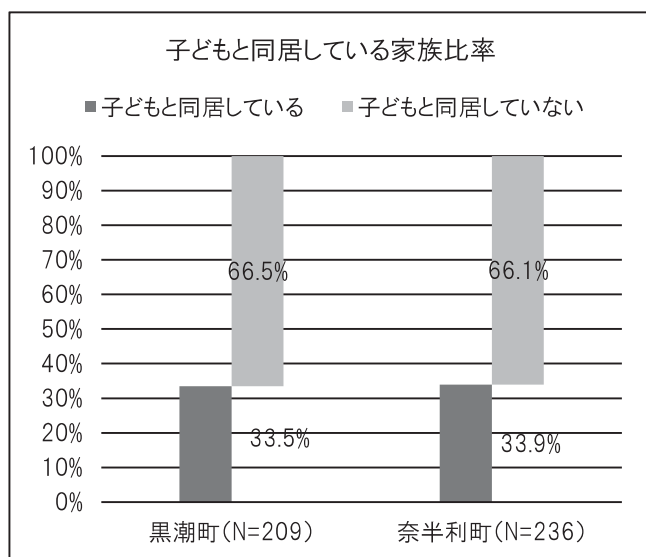
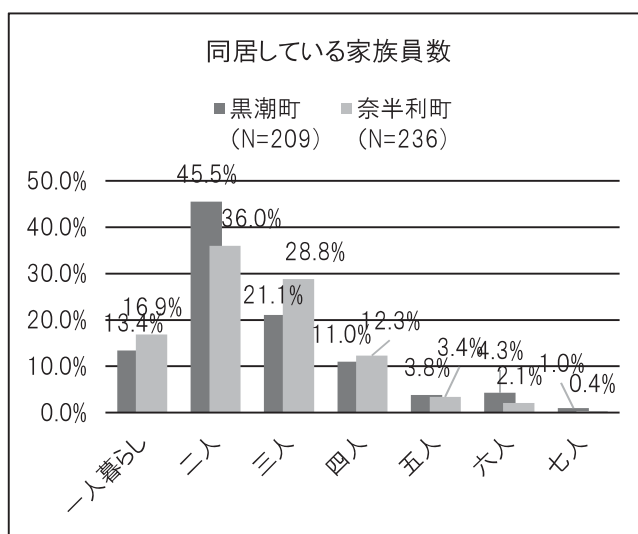
質問票では配偶者の有無について質問している。集計結果は右図の通りである。二町間でカイ二乗検定を実施し、5%水準で統計的な有意差が確認された($\chi^2=8.757$, $df=2$, $p<.05$)。調整済み残差から、配偶者がいる比率は黒潮町のほうが奈半利町よりも多く、配偶者がいない(離婚・死別)の比率は奈半利町のほうが黒潮町よりも多い結果であった。未婚者においては差が認められなかった。



○家族構成について

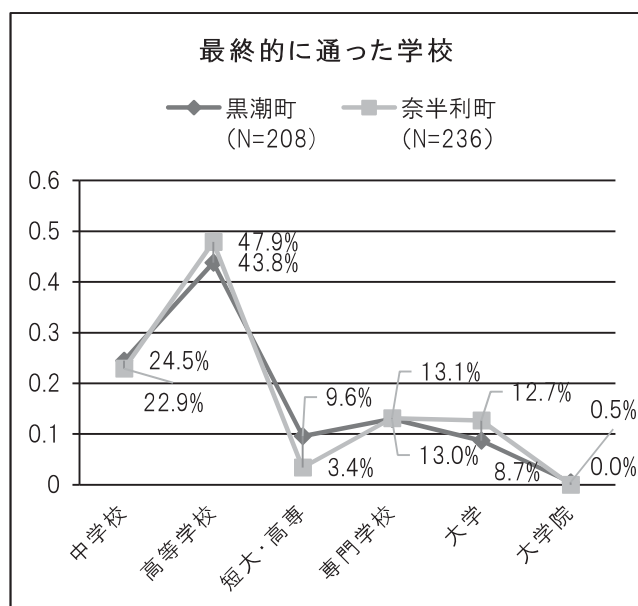
同居家族員数について算出している。家族員数別の比率は右図の通りである。同居家族員数の平均値は、黒潮町で1.63人($SD=1.291$)、奈半利町で1.57人($SD=1.174$)であり、1~2人の家族構成が多いことがわかる。同居している家族員数に二町間で t 検定を行ったが、統計的に有意な差は認められなかった。

子どもと同居している家庭についても比較してみた。二町とも子どもと同居している人は約3割程度であった。子どもと同居している家庭での子どもの平均人数も、黒潮町が1.53人($SD=0.756$)、奈半利町が1.44人($SD=0.633$)であり、 t 検定を行ったが、統計的に有意な差は認められなかった。



○教育

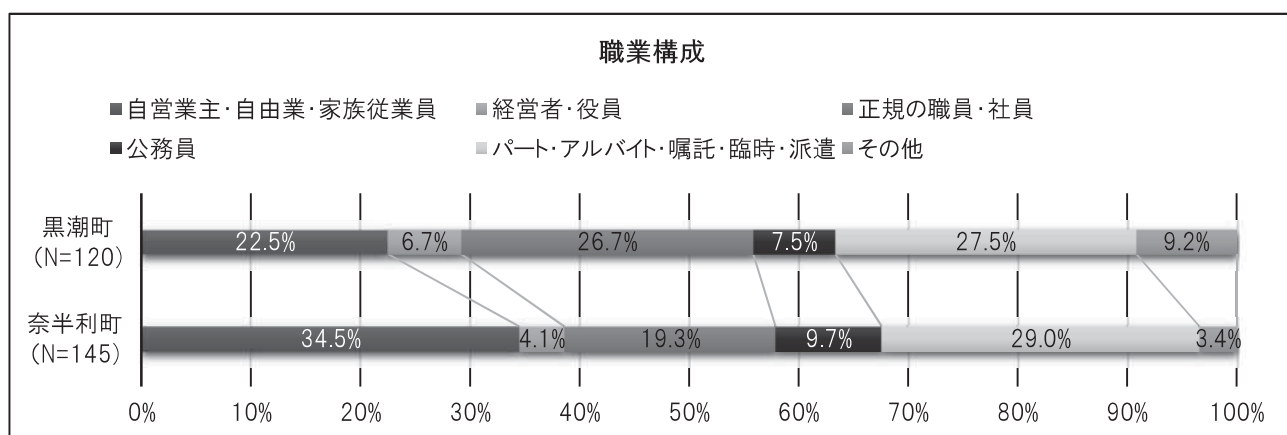
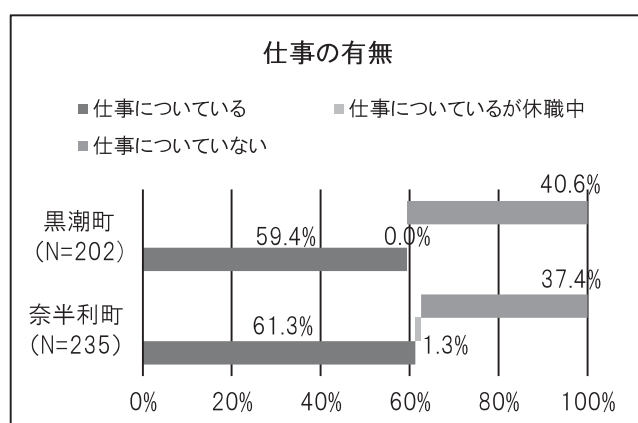
調査サンプルにおける教育歴について、二町間で比較した。教育歴については、最後に在籍していた学校種類について質問している。項目をカイ二乗検定したが有意な差は確認されなかった。また、学校種類を教育年数に換算して t 検定も行ったが、こちらでも有意差はなかった。



○仕事・職業

調査では仕事の有無について質問している。二町間の結果を比較したのが右図である。カイ二乗検定を行ったが、統計的に有意な差は確認されなかった。“就職”状況において特段の差はないようである。

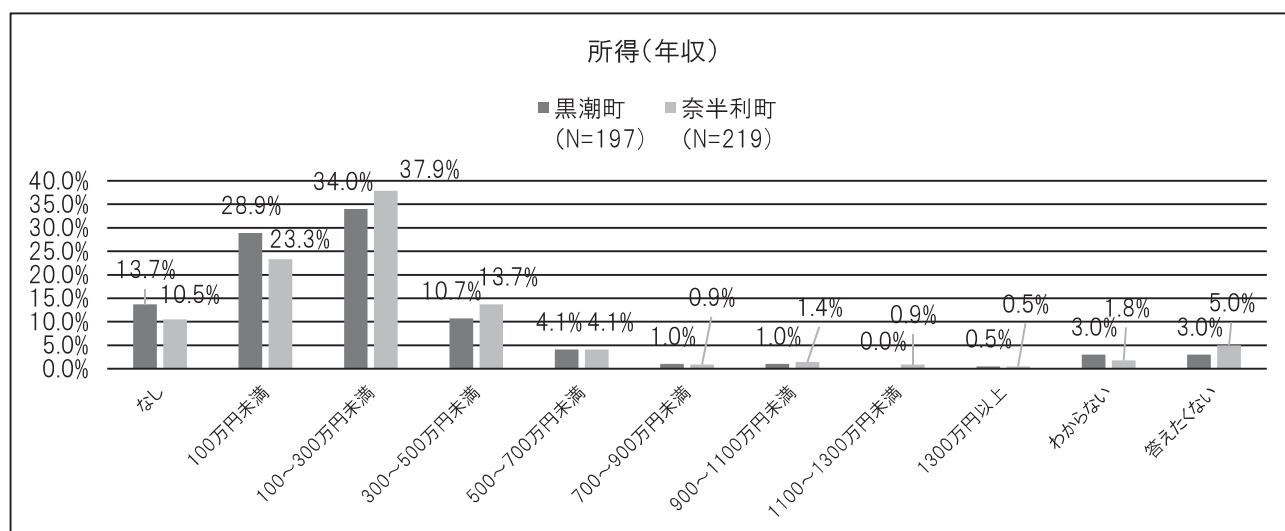
仕事についている人の職業についても質問している。二町の職業構成は下図の通りである。職業構成においてもカイ二乗検定を行ったが、統計的に有意な差はなかった。



市町村統計からは二町間の産業構造の差が見いだされたが、町民が携わる職業については、調査結果からは大きな差を見いだすことはなかった。

○所得について

質問票では所得についても、9段階で尋ねている。調査結果による分布は下図の通りである。



二町間に差があるのかをカイ二乗検定で確認したが、統計的に有意な差は確認されなかった。二町ともに、7割以上の回答者が年収300万円未満に含まれていることがわかる。

2.3 考察

本調査対象となった高知県幡多郡黒潮町および安芸郡奈半利町は、地理的には太平洋沿岸部に位置し、第一次産業就労者が多いという点で共通項の多い郡部コミュニティといえる。本章では二町間の比較をとおして、それぞれの地域コミュニティ構造の特性について明らかにしようと試みた。

地理的条件となる人口規模や面積については黒潮町のほうが大きく、人口密度においては奈半利町のほうが高いという違いも見えた。産業面においても、就労人口構成において差は見られなかったが、総生産における第一次産業および第二次産業の位置づけの違いがあることも判明した。

年齢、性別、家族、教育歴、職業、などの社会的属性に関する人口構成については、サンプル人口においては統計的な差異はほとんど検出されなかった。唯一の差は、配偶者の有無にあり、黒潮町のほうが配偶者のいる人が多く、奈半利町のほうは離婚・死別を理由に配偶者が現在いない人の比率が高い傾向にあった。

本章を通じて検証された二町間のコミュニティ構造における相違点と類似点に留意しつつ、次章以降の分析を試みる。

参考文献

高知県総務部統計課(2014)『平成23年度 市町村経済統計の概要』;

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111901/files/2014061100065/h23keizaitoukei.pdf> (アクセス:2017.2.20.)

総務省統計局(2016)「平成27年国勢調査 調査の結果」; <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm> (アクセス:2017.2.20.)

3. 社会ネットワーク構造の比較

社会ネットワーク論においては、「行為者の行為を決定する重要な要因は、その行為者を取り囲むネットワークである」(安田, 1997:8)という仮説が根底にある。地域コミュニケーション行動や防災準備行動における社会ネットワークの影響を検証するために、質問票では社会ネットワークに関わる質問をしている。本章では回答者の社会ネットワークの特性について分析を試みる。

3.1 社会ネットワーク

調査では、回答者の保持するさまざまな‘つながり’ (いわゆる「社会ネットワーク」)に関する質問をしている。具体的には、質問票では地元コミュニティにおけるいくつかの関係性の人数について質問している。関係性としては、「家族以外で日常的に交友のある親せき」、「仕事の関係上で、プライベートでも親しくしている人たち」、「子どもを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たち」、「地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たち」である。それぞれの関係性における人数は以下の図の通りである。

表. 家族以外で日常的に交友のある親せきの人数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	7.66	6.547	6	0	30	191
奈半利町	6.33	8.178	4	0	80	227

表. 仕事の関係上で、プライベートでも親しくしている人たちの数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	6.65	7.454	5	0	50	174
半利町	5.02	6.759	3	0	40	201

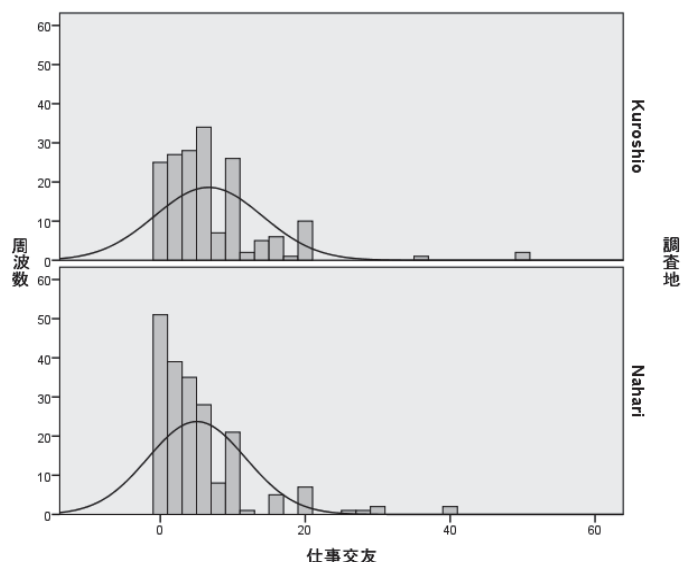
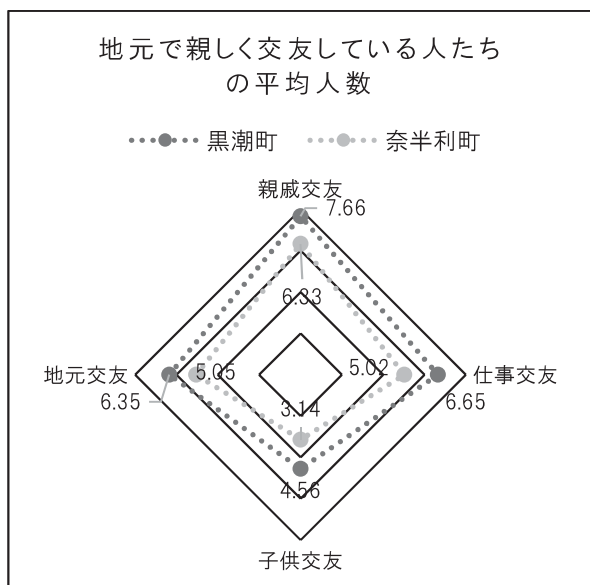
表. 子どもたちを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たちの数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	4.56	5.221	3	0	25	163
奈半利町	3.14	8.123	2	0	100	186

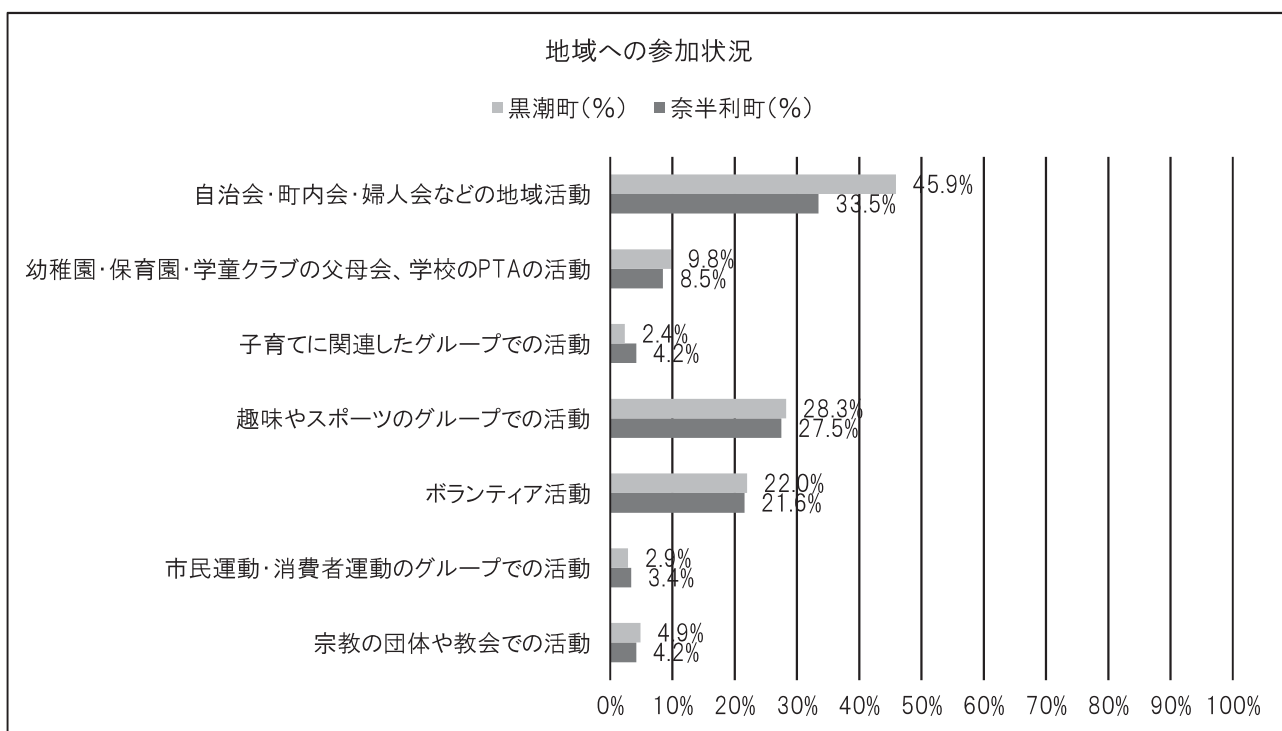
表. 地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たちの人数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	6.35	6.958	5	0	50	178
奈半利町	5.05	9.856	3	0	100	212

地元の交友における4種の関係性の平均値を比較したところ、仕事関係で親しくつきあっている人たちの人数において統計的に有意な差が検出された。 $(t$ 検定の結果: $t=2.213$, $df=373$, $p < .05$)。黒潮町住民のほうが、奈半利町住民よりも、仕事で知り合って親しくしている人の平均人数が多かった。なお、仕事をしている人の割合では、二町間で統計的な差は確認されていない。



地域への様々な活動への参加状況についても質問している。人びとの多くが、地元の活動への参加を契機に、人脈を構築していると想定したためである。活動としては 7 種類を挙げて質問している。回答の集計結果は下図の通りである。



これらの活動において、二町間での比較を試みた。二町間のカイ二乗検定の結果は表の通りである。「自治会・町内会・婦人会などの地域活動」のみで統計的な有意差を確認していて、黒潮町の参加率のほうが奈半利町よりも高い結果となった。黒潮町民のほうが積極的にフォーマルなコミュニティ活動へ参加しているようである。

表. 地域への参加状況

活動内容	黒潮町(%)	奈半利町(%)	[χ^2 検定]
自治会・町内会・婦人会などの地域活動	45.9%	33.5%	*
幼稚園・保育園・学童クラブの父母会、学校の PTA の活動	9.8%	8.5%	
子育てに関連したグループでの活動	2.4%	4.2%	
趣味やスポーツのグループでの活動	28.3%	27.5%	
ボランティア活動	22.0%	21.6%	
市民運動・消費者運動のグループでの活動	2.9%	3.4%	
宗教の団体や教会での活動	4.9%	4.2%	

3. 2 親密な人たちのネットワーク

質問票では「あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする人たち」(ここでは「親密な人たち」)について質問している。各町における親密な人たちの人数は以下の通りである。二町間における平均値を t 検定で比較したが、統計的に有意な差は確認されなかった。

表. 「親密な人たち」の人数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	2.8	1.36	3	0	15	192
奈半利町	3.3	2.84	3	0	25	235

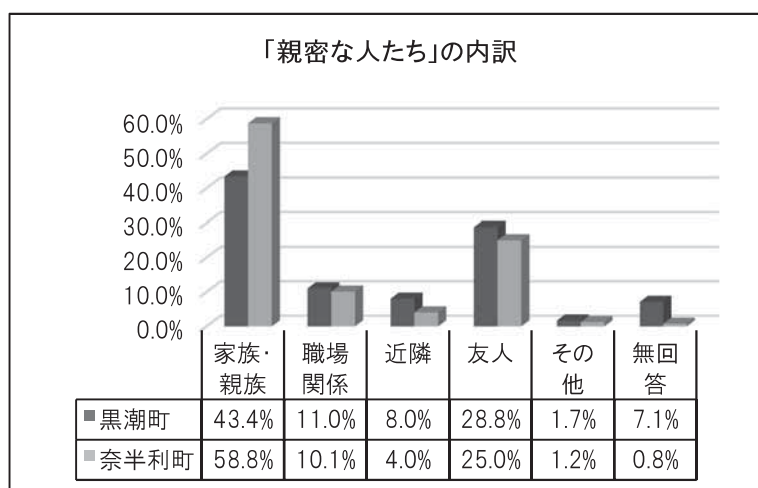
質問票では「親密な人たち」の詳細について最大 4 人まで尋ねている。これら 4 人の間の紐帯の有無について算出した結果は以下の表の通りである。なお、4 人の間には最大で 6 つの紐帯が可能である。二町間における平均値を t 検定で比較したが、統計的に有意な差は確認されなかった。

表. 「親密な人たち」の間の紐帯数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	2.43	2.21	2	0	6	209
奈半利町	2.55	2.30	2	0	6	235

両町民において、「親密な人たち」はおおよそ 3 人で、それら 3 人のなかで 2 つの紐帯が存在しているというのが標準的な関係性として浮かび上がった。

また、「親密な人たち」の続柄の内訳は右図の通りである。奈半利町における親族率が黒潮町と比べて 10 ポイント以上高いの
がわかる。



3.3 地元情報を提供してくれる人たちのネットワーク

質問票では「あなたが地元の町内の詳しい情報について知りたい場合に、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たち」（ここでは「地元情報提供者たち」）について質問している。各町における地元情報提供者たちの人数は以下の通りである。二町間における平均値を t 検定で比較したが、統計的に有意な差は確認されなかった。

表. 「地元情報提供者たち」の人数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	3.7	3.49	3	0	20	169
奈半利町	3.3	4.84	2	0	50	235

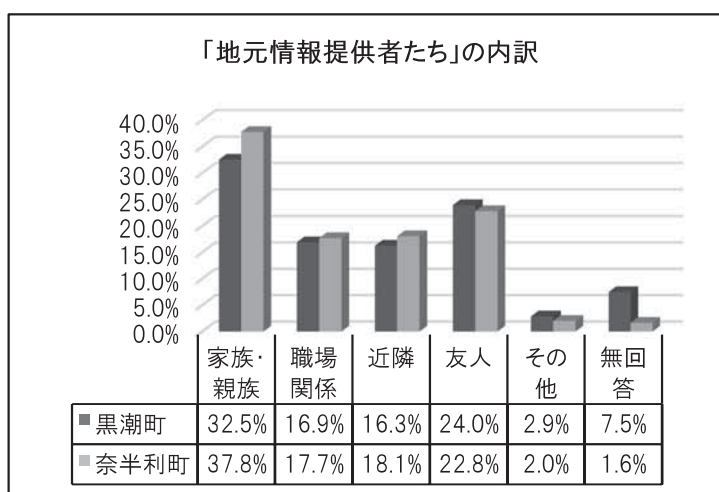
質問票では「地元情報提供者たち」の詳細について最大 4 人まで尋ねている。これら 4 人の間の紐帯の有無について算出した結果は以下の表の通りである。なお、4 人の間には最大で 6 つの紐帯が可能である。二町間における平均値を t 検定で比較したが、統計的に有意な差は確認されなかった。

表. 「地元情報提供者たち」の間の紐帯数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	2.32	2.38	1	0	6	169
奈半利町	2.19	2.35	1	0	6	236

両町民において、「地元情報提供者」はおおよそ 3 人で、それら 3 人のなかで 1 つの紐帯が存在しているというのが標準的な関係性として浮かび上がった。

また、「地元情報提供者たち」の続柄の内訳は右図の通りである。二町間で特に大きな差は見られない。



3.4 防災について相談できる人たちのネットワーク

質問票では「あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たち」（ここでは「防災相談者たち」）について質問している。各町における防災相談者たちの人数は以下の通りである。二町間における平均値を t 検定で比較した結果、黒潮町のほうが奈半利町よりも統計的に有意に多いことが確認された ($t=2.875$, $df=239.256$, $p<0.01$)。

表. 「防災相談者たち」の人数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	4.2	5.61	3	0	30	162
奈半利町	2.8	3.28	2	0	20	236

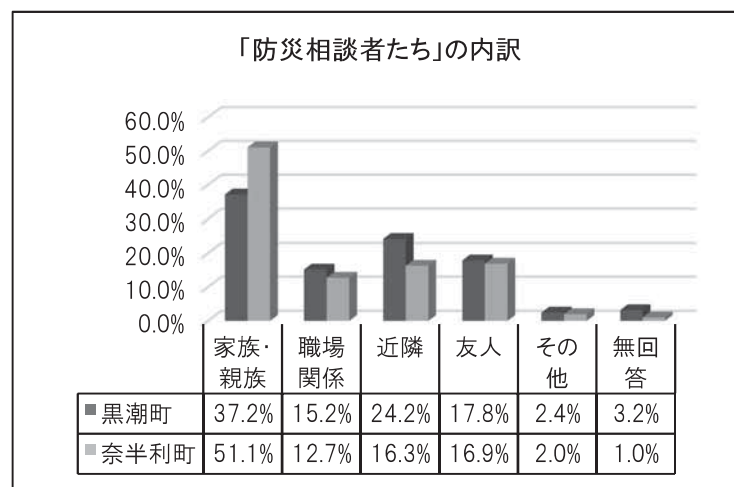
質問票では「防災相談者たち」の詳細について最大 4 人まで尋ねている。これら 4 人の間の紐帯の有無について算出した結果は以下の表の通りである。なお、4 人の間には最大で 6 つの紐帯が可能である。二町間における平均値を t 検定で比較したが、統計的に有意な差は確認されなかった。

表. 「防災相談者たち」の間の紐帯数

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	2.32	2.35	1	0	6	162
奈半利町	1.90	2.19	1	0	6	236

両町民において、「防災相談者たち」はおおよそ 3 人で、それら 3 人のなかで 1 つの紐帯が存在しているというのが標準的な関係性として浮かび上がった。

また、「防災相談者たち」の続柄の内訳は右図の通りである。奈半利町における親族率が黒潮町と比べて 10 ポイント以上高いのがわかる。



3.5 統合した社会ネットワークについて

ここでは、上で取り上げた「親密な人たち」、「地元情報提供者たち」、「防災相談者たち」を統合した社会ネットワークの特性について考察していく。社会ネットワーク特性を考察する上で使用するのが、社会ネットワーク分析における各種指標である。なお、パーソナル・ネットワーク(エゴセントリック・ネットワーク)分析では、分析の中心となる行為者を「エゴ(Ego)」と呼び、つながりを持つ相手を「アルター(Alter)」と呼ぶ。Crossley et al. (2015)はパーソナル・ネットワーク分析の代表的指標として、中心性(centrality)、紐帯異質性(tie dispersion)を示す異質性係数 H (Blau's H) および係数 H を標準化した質的変動指数(IQV)、エゴ-アルター類似性(Ego-Alter Similarity)を示す EI Index、ネットワークの構造的形状を示すネットワーク密度、最適サイズ(Effective Size)、拘束性(Constraint)などを挙げている(Crossley et al., 2015:76-85)。本稿では「次数中心性」、「異質性係数 H」、「拘束性」、「ネットワーク密度(エゴを除く)」、「E-I Index (性別)」、「E-I Index (親族)」を取り上げる。

◇「次数中心性」(degree centrality)

中心性(centrality)とは、当該ネットワークにおいて行為者がどの程度中心的であるかを測る指標であり、行為者が直接つながっている人の数を次数中心性という(安田, 1997: 82-84)。二町にお

表. 次数中心性(degree centrality)

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	9.93	9.207	8	0	55	198
奈半利町	9.61	9.081	8	0	75	230

ける次数中心性の測定値は表のとおりである。これらの平均値を t 検定で比較したところ、有意差は確認されなかった。

◇「質的変動指標」(IQV)

多様性の尺度としては、Blau の H (異質性係数 H) や、その正規化した Agresti の IQV (質的変動指標) が用いられる (Crossley et al. 2015: 78-79)。本研究では、三種類の関係性について質問して

いる。一つの関係性のみの紐帯しか保持していない場合、IQV は「0」となる。一方、三種類すべての関係性において同数の紐帯を保持している場合は、「完全な」多様性を保持することを意味し、IQV は「1」になる。二町における IQV 値は表のとおりである。これらの平均値を t 検定で比較したところ、黒潮町のほうが奈半利町よりも IQV 値が大きく、関係性の多様性が高いことが示された ($t=2.872$, $df=414.523$, $p<.01$)。

表. 質的変動指標(IQV)

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	.672	.4150	.938	0	1	209
奈半利町	.779	.3599	.960	0	1	236

◇「拘束性」(constraint)

Burt (1995) が唱えた「構造的空隙」理論に
関係する指標である。構造的空隙とは、「ネットワークを構成する人々の間に相互関係がないゆえに生じる関係

の隙間である。互いに知り合いではない人々は異なった集団に所属するゆえ、行為者に重複しない、より多くの情報をもたらすというのが Burt の視点である」(石田, 2001: 126-27)。行為者のネットワークに構造的隙間が多くあると、多様な情報が流入すると同時に、つながっていないアルターたちを結びつける橋渡し機能(ブリッジ)となる機会を有し、ネットワーク内で有利な立場になると考えられている。指標として、拘束性が低いほど、構造的隙間を多く含むことになる。二町における拘束性の値は表のとおりである。これらの指標において二町間に平均値の差は確認されなかった。

表. 拘束性(constraint)

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	.323	.2342	.271	0	1.125	209
奈半利町	.345	.2209	.290	0	1.125	236

◇ネットワーク密度(エゴを除く) (density without ego)

ネットワーク密度とは「ネットワークにおいて行為者同士の関係が、どのくらい密接であるのか、その程度」(安田,2001;39)を示している。密度が高いほど、回答者の保持するネットワークの結束

力が高いことを示している。「密度は、理論的に存在可能な紐帯の数で実際にネットワークに存在する紐帯の数を除して計算する」(安田,2001: 39)。エゴセントリック・ネットワーク分析の場合、エゴは全てのアルターと直接つながっているため、エゴを除いたアルター同士のみの紐帯を対象にする場合が多い。この指標の測定値は表のとおりである。これらの指標において二町間に平均値の差は確認されなかった。

表. 密度(エゴ除く)(density without ego)

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	.212	.2015	.200	0	1	209
奈半利町	.236	.2306	.220	0	1	236

◇「E-I Index (性別)」と「E-I Index (親族)」

つながりのあるアルターの属性傾向も、エゴの態度や行動へ影響を与えると考えられている。アルターがエゴとどの程度同じグループに帰属するか(internal)か否か(external)を示す尺度に E-I Index (External-Internal index)がある。本研究では、アルターの性別および親族の比率を意味する尺度で使用している。E-I Index は-1 から+1 までの値をとり、-1 であればすべてのアルターはエゴと同じ集団

表. E-I Index 性別

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	-.331	.5126	-.400	-1	1	209
奈半利町	-.292	.4878	-.333	-1	1	236

表. E-I Index 親族

	平均値	標準偏差	中央値	最小値	最大値	N
黒潮町	.198	.5805	.250	-1	1	209
奈半利町	-.007	.6072	.000	-1	1	236

に属する(本研究ではアルター全員が同性、もしくは、親族を意味する)となり、+1 であれば全てのアルターはエゴと別の集団に属すること(本研究ではアルター全員が異性、もしくは、親族以外の関係)を意味する。二町間において、「E-I Index (親族)」においてのみ統計的な有意差を確認した。平均値の比較を t 検定にて行った結果($t=3.626$, $df=443$, $p<.001$)、奈半利町民のほうが黒潮町民よりも、より親族とのつながりが多かった。

3. 6 考察

黒潮町は、人口が多いが面積も大きいので人口密度は小さい。一方、奈半利町は人口が少ないが面積も小さいため人口密度は高い。産業構造としては、両町とも第三次産業に従事する人の数が大きく、次に第一次産業従事者が続く。しかしながら、総生産においては、黒潮町では第一次産業の比率は高く、県内でも有数の第一次産業比率となっている。一方で奈半利町では、2 割程度の第一次産業従事者がいるにもかかわらず、総生産に占める割合は 1 割を切っていて、第二次産業のほうの比率が高い。両町にも漁港があるが、黒潮町のほうが県内のカツオ漁の拠点であることの影響が大きいようである。しかしながら、就労人口一人あたりの総生産を算出すると、黒潮町で一人当たり約 504 万円、奈半利町で一人当たり約 607 万円と、奈半利町のほうが高い。これは第二次産業比率が高いことが影響していると推測される。

政府統計からみると上述のような差が二町には見られるが、本調査研究におけるサンプル人口においては次のような差異が見られた。少なくともサンプル人口構成においては、国勢調査との比較において、若年層が少なく、高齢層が多いという偏りが見られた。男女構成については、国勢調査との間においても、二町間においても、統計的な有意差は確認されなかった。配偶者の有無においては有意差が認められたが、同居家族員数については二町間で差は認められなかった。また、教育、職業、所得においても二町間には差が見られなかった。就労人口一人あたりの総生産という指標では差が見られたが、所得においては差が確認されなかった。

人びとの日常的なつながりにおいても、二町間で多くの差が認められなかった。ただし、仕事上で知り合ってプライベートでも親しくしている人の人数については、黒潮町民のほうが、奈半利町民よりも多かった。

地域の様々な活動への参加状況においても、二町間であまり差が見られなかった。ただし、「自治会・町内会・婦人会などの地域活動」においてのみ、黒潮町民のほうが奈半利町民よりも多く活動している結果となった。黒潮町のほうが共助への参加率が高いことになる。

回答者が保持する社会ネットワークについて、三種類の関係性について質問している。三つの関係性とは、「親密な人たち」、「地元情報提供者たち」、「防災相談者たち」である。これら各関係性の社会ネットワークの規模や相手の続柄などについては、二町間で統計的な有意差が認められなかった。

回答者が保持するパーソナル・ネットワークの特性をいくつかのエゴセントリック・ネットワーク指標において比較検討した。結果的に、多様性の指標である質的変動指標(IQV)、および、直接つながっている相手における親族比率を示した E-I Index 親族の2指標において統計的な有意差が確認された。質的変動指標(IQV)においては、黒潮町のほうが奈半利町よりも値が大きく、社会ネットワークにおける多様性が高いことが示された。また、回答者の社会ネットワークにおける親族比率は、奈半利町のほうが黒潮町よりも高く、より多くの親族とつながっていることが判った。

推測としては、多くの親族が地元に残っていて、人口密度の高い奈半利町民のほうが、日常的に親族とのつながりが強いのではないだろうか。一方で、人口の多い黒潮町のほうがある種の「都市化」が進んでいて、仕事を契機とする親密な関係性をより多く保持しつつ、多様な関係性を含んだ社会ネットワークを形成していると考えられる。

参考文献

Burt, R.S. (1995) *Structural Holes: The Social Structure of Competition*, Harvard University Press

Crossley, N., Bellotti, E., Edwards, G., Everett, M.G., Koskinen, J., Tranmer, M. (2015) *Social Network Analysis for Ego-Nets*, SAGE Publications Ltd.

石田光規(2001)「パーソナルネットワークの多様性:その構造と機能」、『年報社会学論集』、第 14 号、pp.126-138.

安田雪(1997)『ネットワーク分析—何が行為を決定するか』新曜社

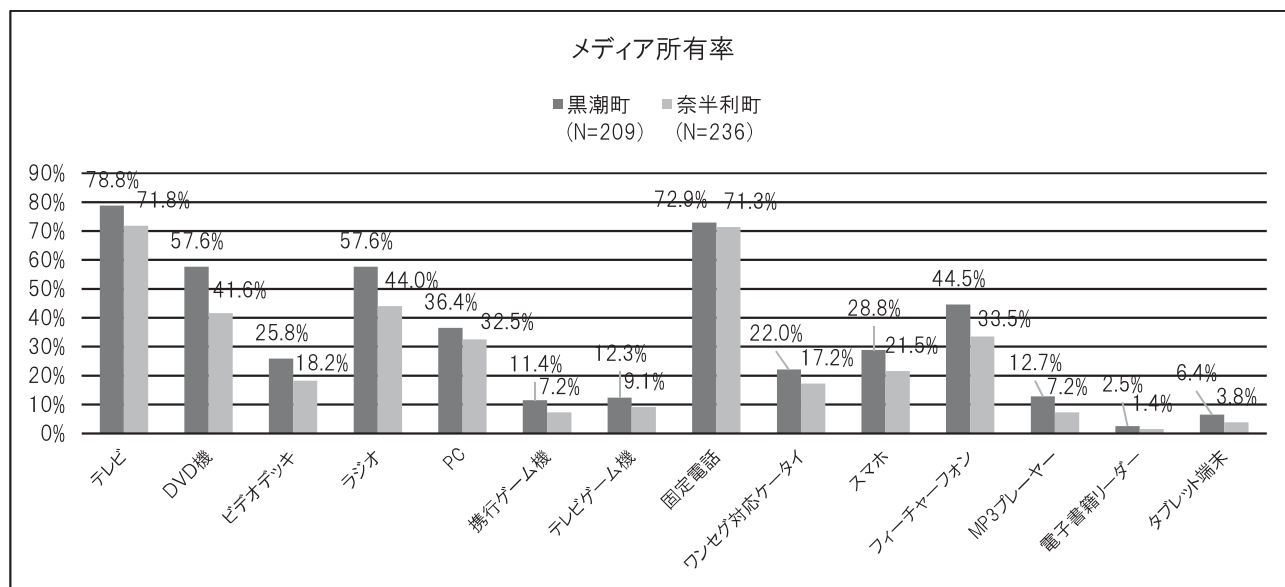
安田雪(2001)『実践ネットワーク分析:関係を解く理論と技法』新曜社

4. コミュニケーション構造の比較

本章では、黒潮町と奈半利町におけるコミュニケーション構造の比較をととして、その特性を検証する。

4.1 メディア所有

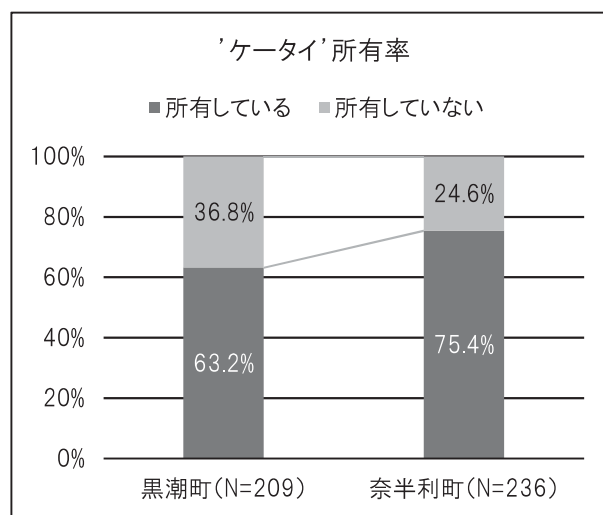
質問票では、回答者が保有する各種メディアについて質問している。集計結果は下図のとおりである。



テレビ受信機および固定電話は7割以上の回答者が所有している。DVD録画機($\chi^2=11.351$, $df=1$, $p < .01$)およびラジオ($\chi^2=8.215$, $df=1$, $p < .01$)において、統計的に有意な差が認められた。いずれにおいても、奈半利町のほうが黒潮町よりも所持者が多い。

ワンセグ対応携帯電話、スマートフォン、フィーチャーフォンなど、いずれか1つ以上の‘ケータイ’を所有している人の比率においても、二町間で統計的な有意差が確認された($\chi^2=7.891$, $df=1$, $p < .01$)。奈半利町のほうが、黒潮町よりも、より多くのケータイ所持者がいることになる。

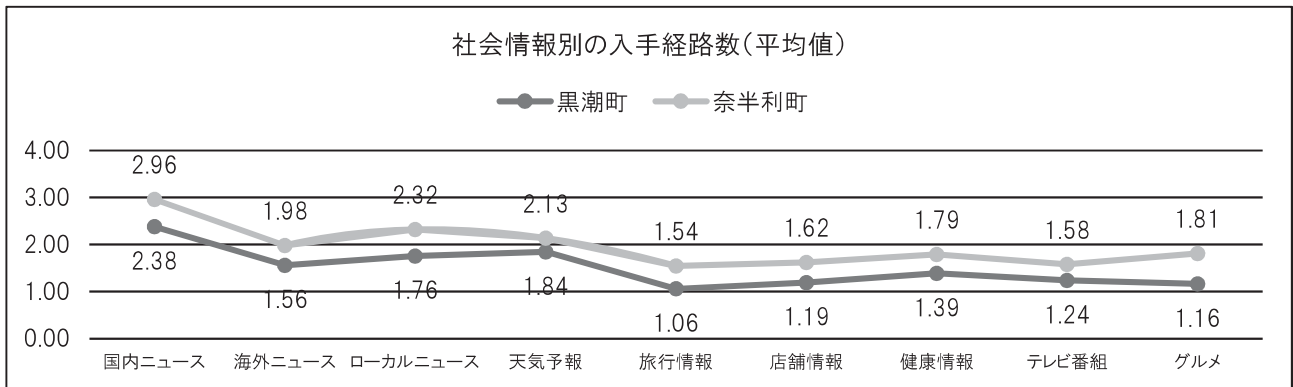
全体としても、なぜか奈半利町のほうが黒潮町よりも各種メディアの所持率が高い。調査時期に半年のズレがあり、奈半利町のほうが遅く調査を実施したため、スマートフォンなどの普及においてはやや説明がつくが、DVD録画機やラジオについては十分な説明がつかない。



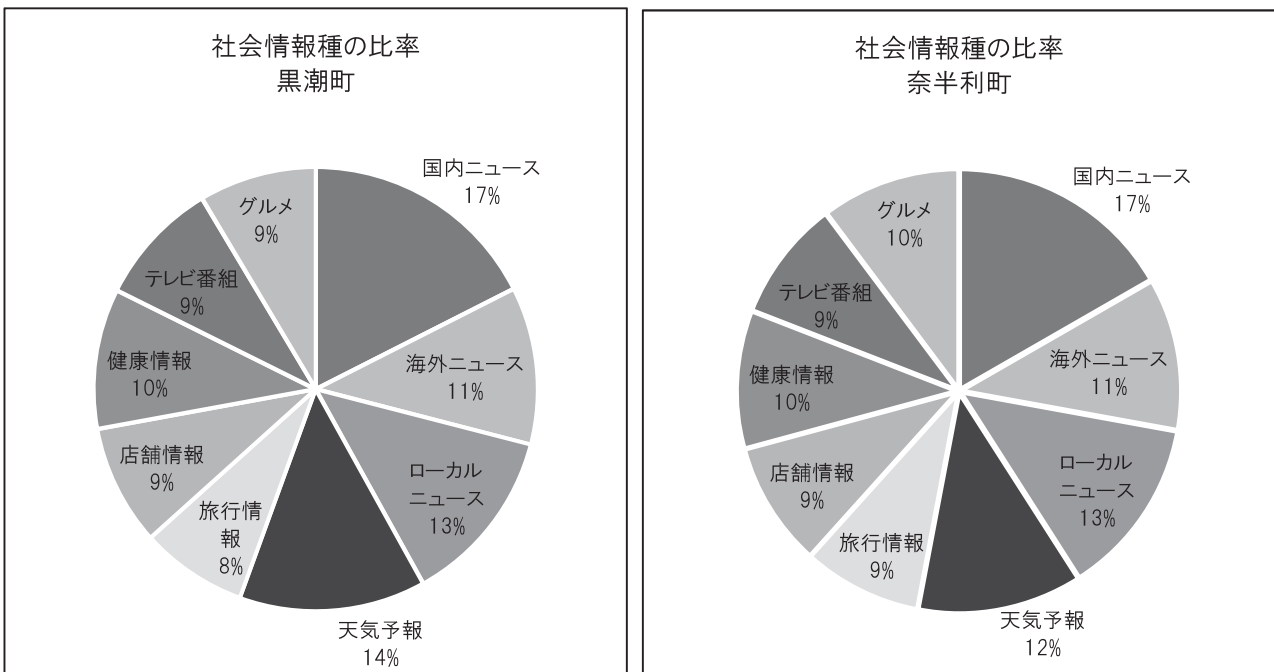
4.2 社会情報コミュニケーション

ここでは一般に流通する「社会情報」のコミュニケーション経路などについて論じる。質問票では、社会情報を「国内ニュース」、「海外ニュース」、「地域(ローカル)ニュース」、「天気予報」、「旅行、観光情報」、「ショッピング、商品情報」、「健康、医療情報」、「テレビ番組情報」、「グルメ情報」の9種類に区分し、それぞれの情報入手経路について該当するもの全てを選択してもらっている。情報入手経路としては11手段を列挙していて、それぞれ「友人・家族と直接会って聞く」「友人・家族からの電話やメール」「テレビ放送」「ケーブルテレビ」「ラジオ放送」「新聞」「雑誌」「町の広報誌」「掲示板、ポスター、チラシなど」「パソコンのウェブサイト」「携帯情報サイト」である。各種の社会情報において、どのようなメディア経路で情報を入手しているのかについて、各情報経路を1

ポイントとし、社会情報種類ごとに積算した平均値(最小が 0 で最大で 11 ポイント)を記したのが下図である。情報入手経路数が多いほど、関心の高い社会情報種類と考えられる。



また、社会情報全体において、各種情報がどの程度の比率で使用されているのをまとめたのが下図である。二町間で大きな差異は見当たらない。



各種社会情報の入手経路ポイントにおける二町間を t 検定で比較したところ、9 種すべてにおいて統計的な有意差が確認され、奈半利町のほうが黒潮町よりも高い平均値であった(下表を参照)。

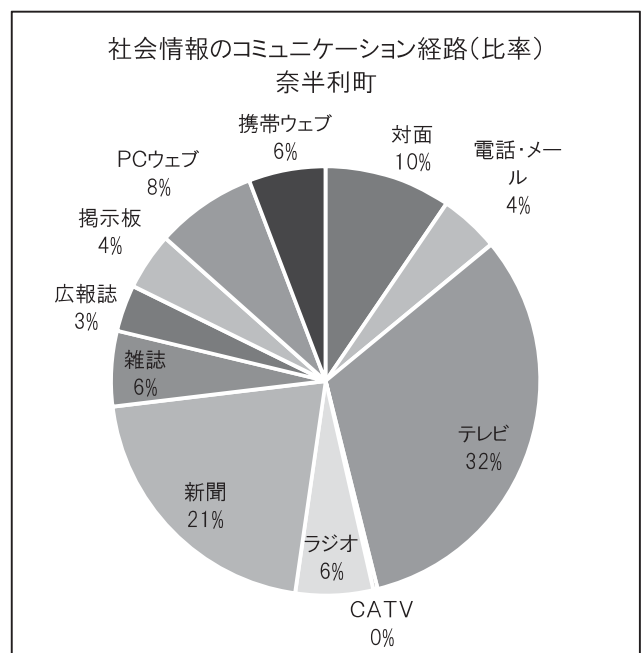
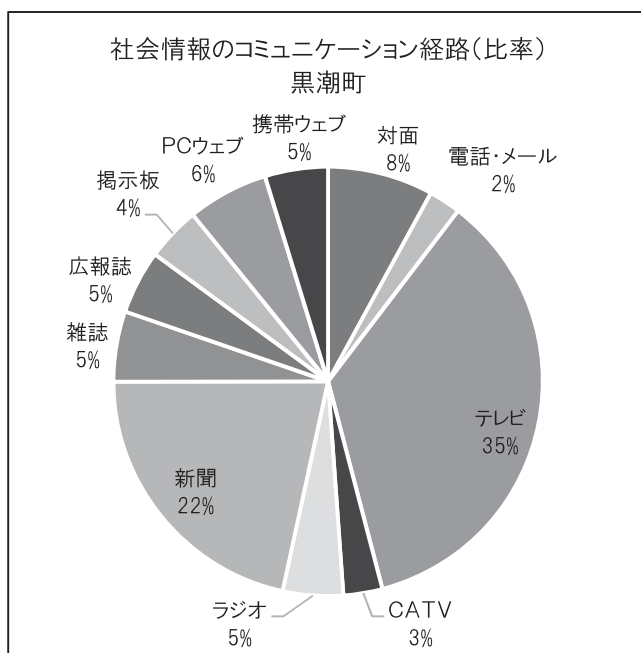
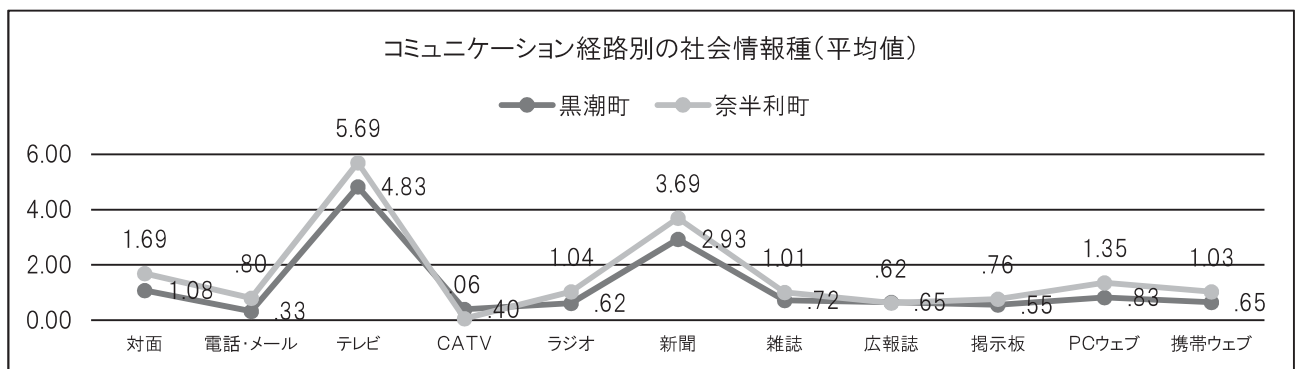
表. 各種社会情報別の情報入手経路ポイントの比較(*t*検定)

	黒潮町(N=186)		奈半利町(N=215)		<i>t</i> 値	<i>df</i>	
	平均値	<i>SD</i>	平均値	<i>SD</i>			
国内ニュース	2.38	1.604	2.96	1.510	-3.734	399	***
海外ニュース	1.56	1.230	1.98	1.397	-3.189	399	**
ローカルニュース	1.76	1.407	2.32	1.656	-3.680	398.874	***
天気予報	1.84	1.082	2.13	1.105	-2.654	399	**
旅行情報	1.06	1.222	1.54	1.628	-3.399	391.454	**
店舗情報	1.19	1.362	1.62	1.563	-2.910	398.978	**
健康情報	1.39	1.403	1.79	1.558	-2.708	399	**
テレビ番組	1.24	1.089	1.58	1.120	-3.072	399	**
グルメ情報	1.16	1.432	1.81	1.722	-4.144	398.388	***

注: ***: $p < .001$, **: $p < .01$, *: $p < .05$

メディア所有および社会情報関心においては、奈半利町のほうが黒潮町よりも高い数値を示していた。

次は逆に、各種社会情報を1ポイントとして、各情報経路を通る社会情報ポイントを加算して平均値を求めたのが下図である(最小0で、最大が9ポイント)。平均値が高いほど、よく利用されている情報経路と考えられる。



二町に共通しているのは、マス・メディア(テレビ放送や新聞)の比率が高い点であろう。

下表では、各種情報入手経路における社会情報ポイントを t 検定で比較し、統計的に有意差があった項目についてまとめている。「対面での会話」「電話・メール」「テレビ放送」「ラジオ放送」「新聞」「PC ウェブサイト」においては、奈半利町のほうが黒潮町よりも社会情報ポイントが高い傾向にあった。ただし、「ケーブルテレビ」においては、町営ケーブルテレビのある黒潮町のほうが奈半利町よりも高いポイントであった。

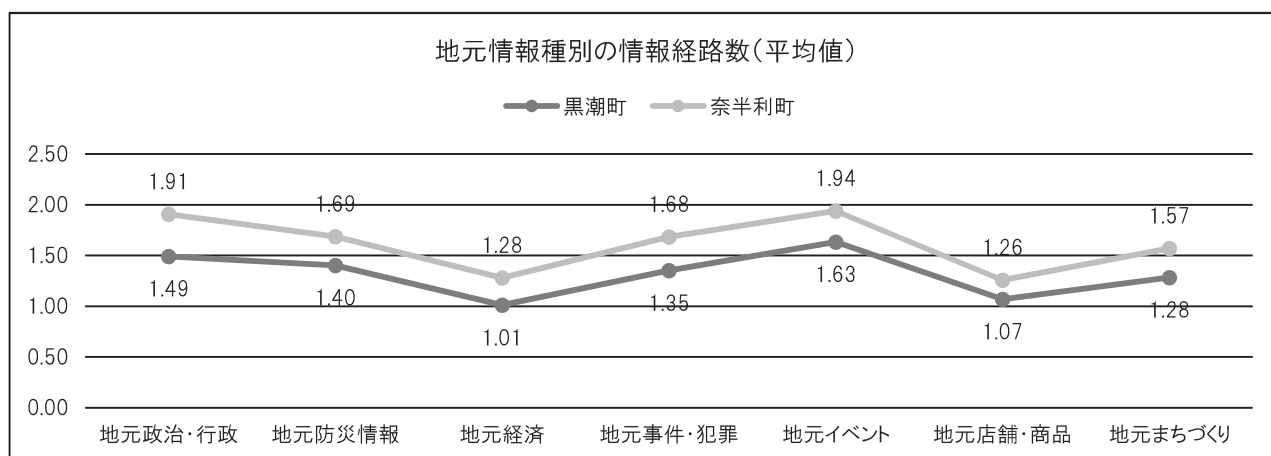
表. 各種情報入手経路別の社会情報ポイントの比較 (t 検定)

	黒潮町 (N=186)		奈半利町 (N=215)		t 値	df	
	平均値	SD	平均値	SD			
対面での会話	1.08	1.948	1.69	2.487	-2.741	395.199	**
電話・メール	0.33	0.891	0.80	1.669	-3.596	336.071	***
テレビ放送	4.83	2.494	5.69	2.194	-3.662	371.618	***
ケーブルテレビ	0.40	1.291	0.06	0.383	3.482	213.101	**
ラジオ放送	0.62	1.467	1.04	1.923	-2.470	392.976	*
新聞	2.93	2.753	3.69	2.795	-2.745	399	**
PC ウェブサイト	0.83	2.025	1.35	2.551	-2.298	396.141	*

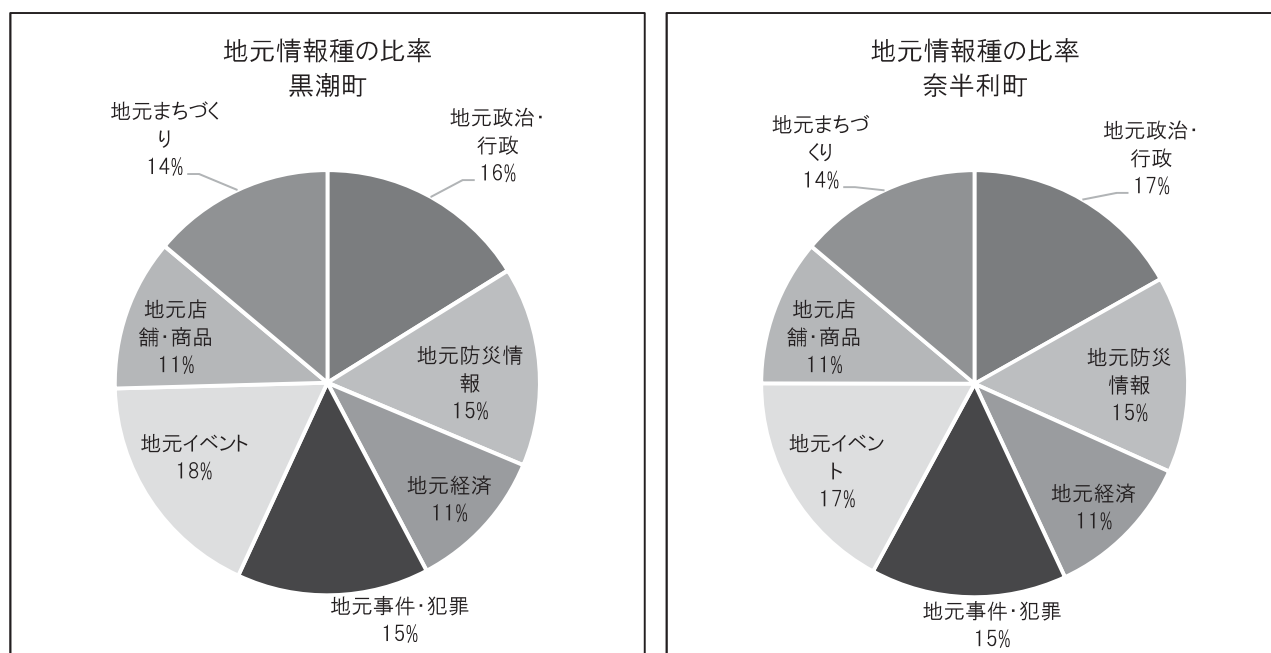
注: ***: $p < .001$, **: $p < .01$, *: $p < .05$

4.3 地元情報コミュニケーション

ここでは、町内に関する「地元情報」のコミュニケーション経路などについて論じる。質問票では、地元情報を「政治・行政に関する情報」、「災害・防災に関する情報」、「地元経済に関する情報」、「事故・事件に関する情報」、「催し物やイベントなどの情報」、「新規店舗やセールなどの情報」、「まちづくり活動などの情報」の7種類に区分し、それぞれの情報入手経路について該当するもの全てを選択してもらっている。情報入手経路としては11手段を列挙していて、それぞれ「友人・家族と直接会って聞く」「友人・家族からの電話やメール」「テレビ放送」「ケーブルテレビ」「ラジオ放送」「新聞」「雑誌」「町の広報誌」「掲示板、ポスター、チラシなど」「パソコンのウェブサイト」「携帯情報サイト」である。各種の地元情報において、どのようなメディア経路で情報を入手しているのかについて、各情報経路を1ポイントとし、地元情報種類ごとに積算した平均値(最小が0で最大で11ポイント)を記したのが下図である。情報入手経路数が多いほど、関心の高い地元情報種類と考えられる。



また、地元情報全体において、各種情報がどの程度の比率で使用されているのをまとめたのが下図である。二町間で大きな差異は見当たらない。



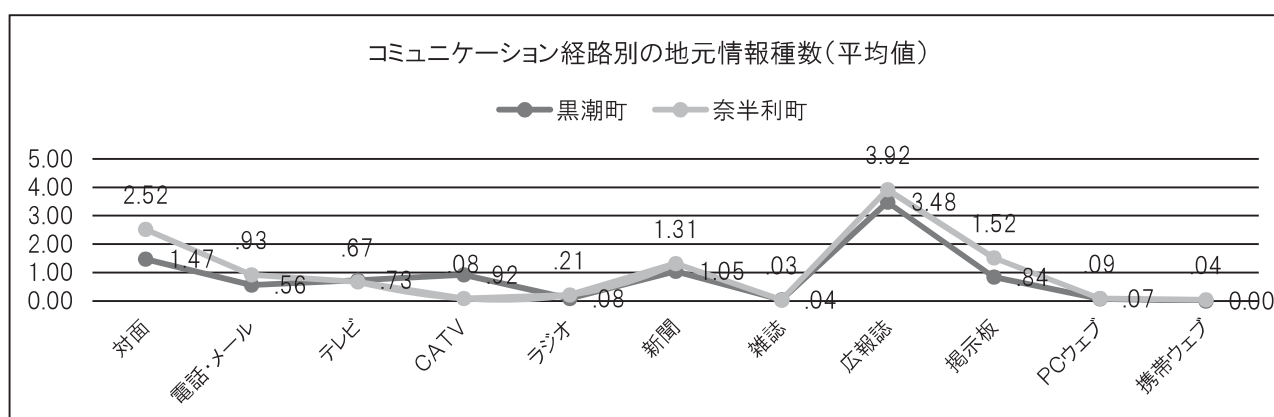
各種地元情報の入手経路ポイントにおける二町間を t 検定で比較したところ、「新規店舗・セールなどの情報」を除いた 6 種において統計的な有意差が確認され、奈半利町のほうが黒潮町よりも高い平均値であった（下表を参照）。地元情報についても、奈半利町のほうが黒潮町よりも高い平均値を示していた。

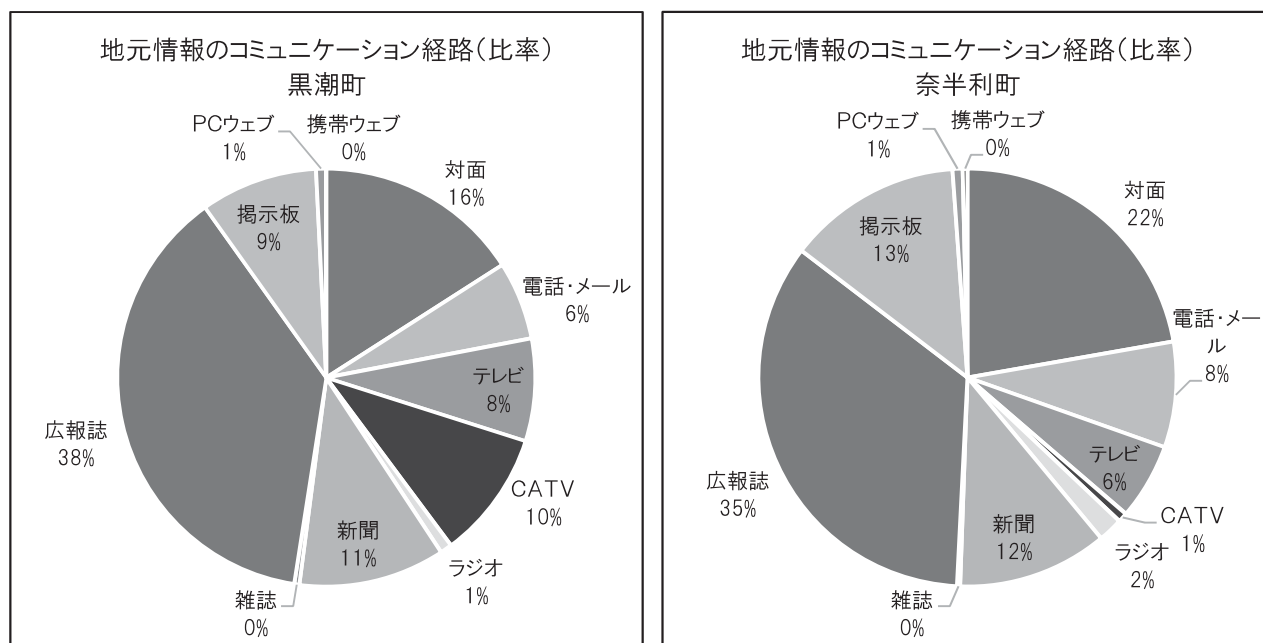
表. 各種地元情報別の情報入手経路ポイントの比較（ t 検定）

	黒潮町 (N=191)		奈半利町 (N=214)		t 値	df	
	平均値	SD	平均値	SD			
政治・行政	1.49	1.151	1.91	1.195	-3.545	403	***
災害・防災	1.40	1.100	1.69	1.066	-2.634	403	**
地元経済	1.01	0.864	1.28	0.981	-2.942	402.932	**
事件・事故	1.35	1.014	1.68	1.275	-2.909	397.878	**
イベント情報	1.63	1.278	1.94	1.354	-2.330	403	*
まちづくり	1.28	1.144	1.57	1.192	-2.469	403	*

注： ***: $p < .001$, **: $p < .01$, *: $p < .05$

下図は各種地元情報を 1 ポイントとして、各情報経路を通る地元情報ポイントを加算して平均値を求めたものである（最小 0 で、最大が 7 ポイント）。平均値が高いほど、よく利用されている情報経路と考えられる。





地元情報についてはマス・メディアの比率が下がる一方で、広報誌と掲示板などの比率が高くなり、さらに対面や電話・メールといったパーソナル・コミュニケーション比率が高まっている点で共通していることがわかる。

各種情報入手経路における地元情報ポイントを t 検定で比較し、統計的に有意差があった項目についてまとめたのが下表である。

表. 各種情報入手経路別の地元情報ポイントの比較 (t 検定)

	黒潮町 (N=191)		奈半利町 (N=214)		t 値	df	
	平均値	SD	平均値	SD			
対面での会話	1.47	2.176	2.52	2.708	-4.311	398.735	***
電話・メール	0.56	1.359	0.93	1.845	-2.283	389.421	*
ケーブルテレビ	0.92	1.831	0.08	0.515	6.072	216.825	***
広報誌	3.48	2.332	3.92	2.017	-1.992	378.034	*
掲示板など	0.84	1.384	1.52	1.735	-4.417	398.112	***

注: ***: $p < .001$, **: $p < .01$, *: $p < .05$

「対面での会話」「電話・メール」「広報誌」「掲示板や回覧板など」においては、奈半利町のほうが黒潮町よりも高い平均値となっている。一方で、「ケーブルテレビ」に関しては、町営ケーブルテレビのある黒潮町のほうが高い平均値を得ている。

地元情報の入手に最も使用されていた「広報誌」について、どのような社会的属性をもつ住民が利用する傾向にあるのか、その要因について分析を試みた。具体的には、「広報誌」を使用して収集している地元情報の種類を合算したポイント(最小 0 から最大 7 ポイント)を目的変数に、社会的属性(性別、年齢、教育年数、仕事の有無、同居家族の有無、所得)を従属変数にした重回帰分析を実施した。結果は以下の表のとおりである。

黒潮町においては、高所得層は「広報誌」をあまり利用しない傾向が見られた。奈半利町では年齢が高くなるほど、教育年数が長いほど「広報誌」を利用する傾向が見られた。

表. 地元情報収集「広報誌」に与える社会的属性の重回帰分析(ステップワイズ法)

	黒潮町			奈半利町		
	B	SE	β	B	SE	β
年齢				.035	.010	.262 **
教育年数				.138	.067	.152 *
所得ダミー(700 万以上)(参照ダミー:所得なし)	-2.599	1.161	-.167 *			
定数	3.599	.175	***	.298	1.174	**
R2		.028	**		.062	**

注: ***: $p < .001$, **: $p < .01$, *: $p < .05$

4. 4 クチコミ・モバイル・ウェブ

本項では、クチコミに関する項目、モバイル・コミュニケーションに関する項目、そしてウェブサイトに関する項目を集約して、それぞれにおける特徴について検証していく。

4. 4. 1 クチコミ

地域情報流通において、いわゆるクチコミの重要性については遠山(2013)においても確認されている。本調査において、パーソナル・コミュニケーションとなる「対面での会話」および「電話・メール」を合算した“クチコミ”の特性について考察した。

社会情報における“クチコミ”経路について二町間を t 検定で比較したところ、統計的に有意差が確認された($t=-3.530$, $df=377.881$, $p < .001$)。また、地元情報における“クチコミ”経路について二町間を t 検定で比較したところ統計的に有意差が確認された($t=-4.294$, $df=399.340$, $p < .001$)。いずれにおいても奈半利町のほうが黒潮町よりも、よりクチコミを活用していた。

地域情報収集において「クチコミ」の利用度が高いため、「クチコミ」利用に影響を与える社会的属性について分析を試みた。ここでは地元情報の「クチコミ」の平均ポイントを目的変数に、住民の社会的属性(性別、年齢、教育年数、所得)を従属変数とする重回帰分析を行った。黒潮町においては以下の回帰モデルが成立し、年齢のみがマイナスに有意な関係性をもっていた。つまり、年齢が若いほど、クチコミをしている傾向にある。一方の奈半利町では回帰式が成立しなかった。

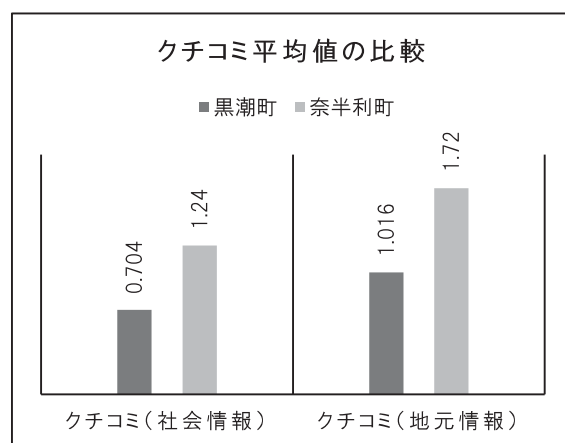


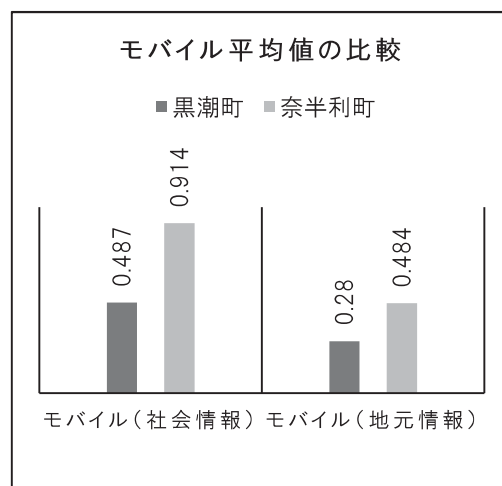
表. 「クチコミ」平均ポイントに与える要因(黒潮町)の重回帰分析(ステップワイズ法)

	B	SE	β	
年齢	-.025	.519	-.234	**
所得ダミー(500-700 万円)	1.496	.519	.205	ns
[参照ダミー:所得なし]				
定数	2.469	.467		**
R2	.105	***		

注: **: $p < .01$, ***: $p < .001$

4. 4. 2 モバイル

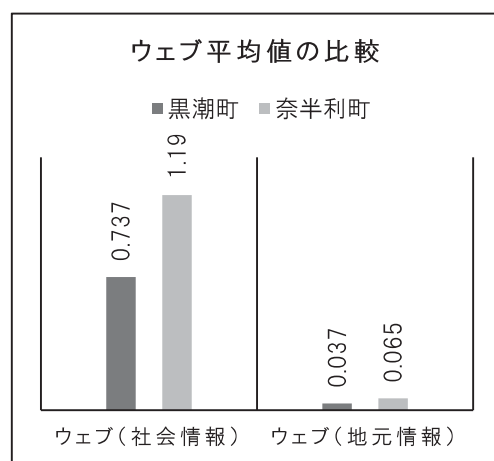
高い‘ケータイ’普及率を鑑み、情報経路における「電話・メール」と「携帯ウェブ」を合算した“モバイル”使用について、二町間で比較を試みた。二町間の t 検定の結果、社会情報 $t=-3.492$, $df=385.658$, $p<.01$ と地元情報 ($t=-2.480$, $df=383.585$, $p<.05$) の両方において統計的に有意差が認められた。いずれにおいても、奈半利町のほうが黒潮町よりもより多くモバイルを利用していた。



4. 4. 3 ウェブ

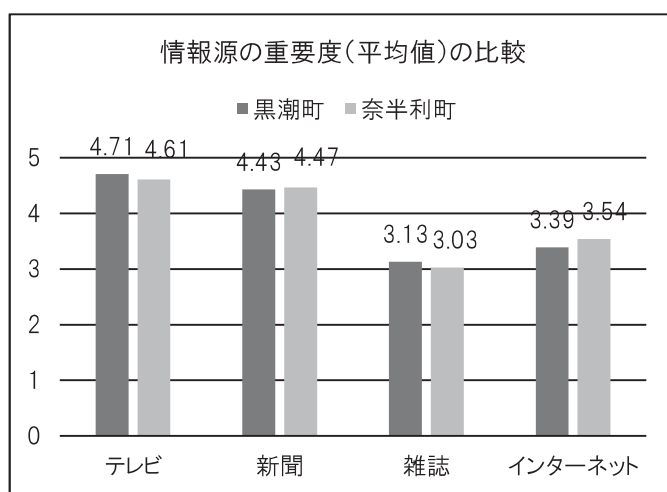
インターネットの普及を鑑み、情報経路における「PC ウェブ」と「携帯ウェブ」を合算した“ウェブ”使用について、二町間で比較を試みた。二町間の t 検定の結果、社会情報 ($t=-2.716$, $df=394.358$, $p<.01$) においては統計的に有意差が認められた。地元情報については統計的な有意差は確認されなかった。社会情報においては、奈半利町のほうが黒潮町よりもより多くウェブを利用していた。

しかしながら、地元情報の収集においてウェブを利用する割合は非常に低く、ほとんどの住民は活用していないこともわかる。

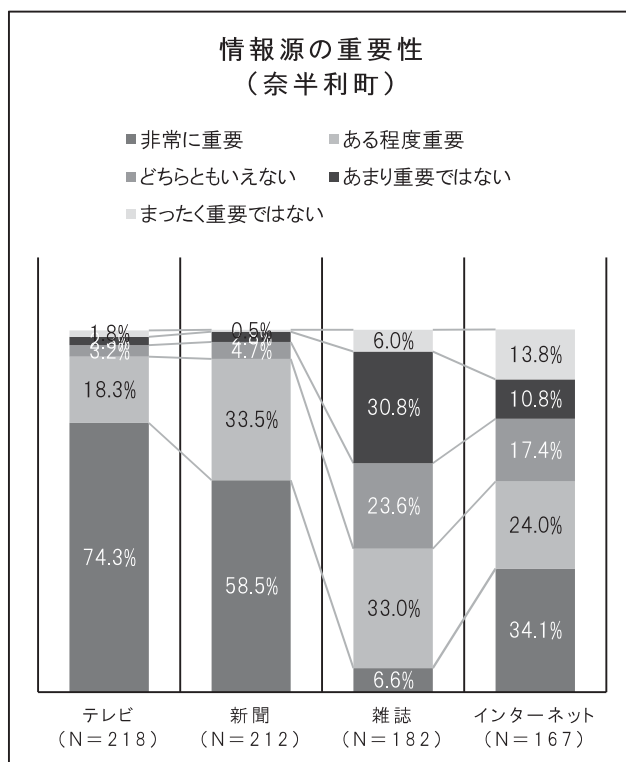
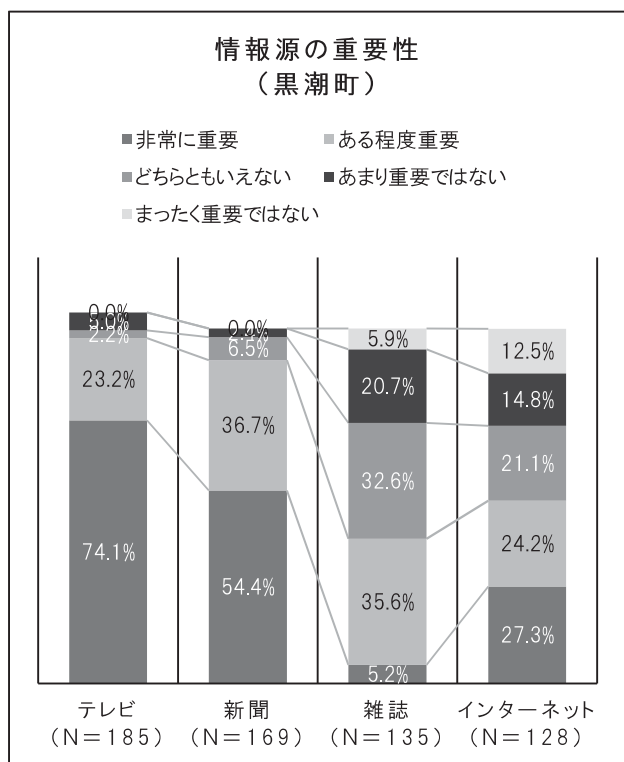


4. 5 メディアの重要性

質問票において、主要なメディアであるテレビ、新聞、雑誌、インターネットといった情報源の重要性について「非常に重要」(5 ポイント)から「まったく重要でない」(1 ポイント)の 5 件法で質問している。この項目の平均値は下図の通りである。二町間には統計的な有意差は確認されなかった。情報源の重要性という点では、テレビと新聞が際立っている。



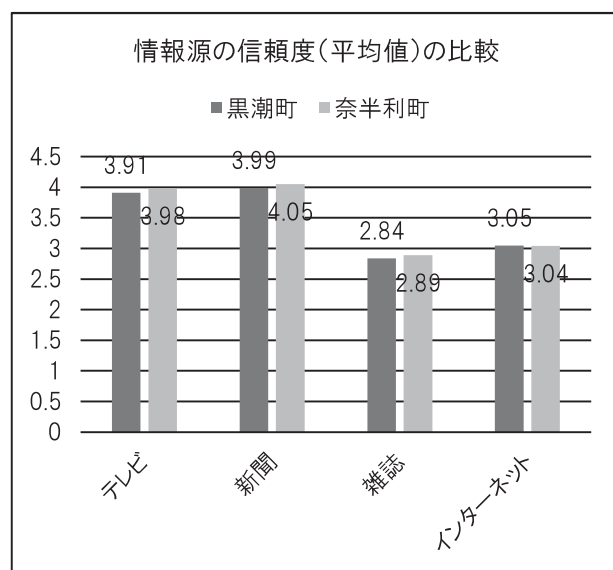
以下は町別の詳細についてまとめたグラフである。



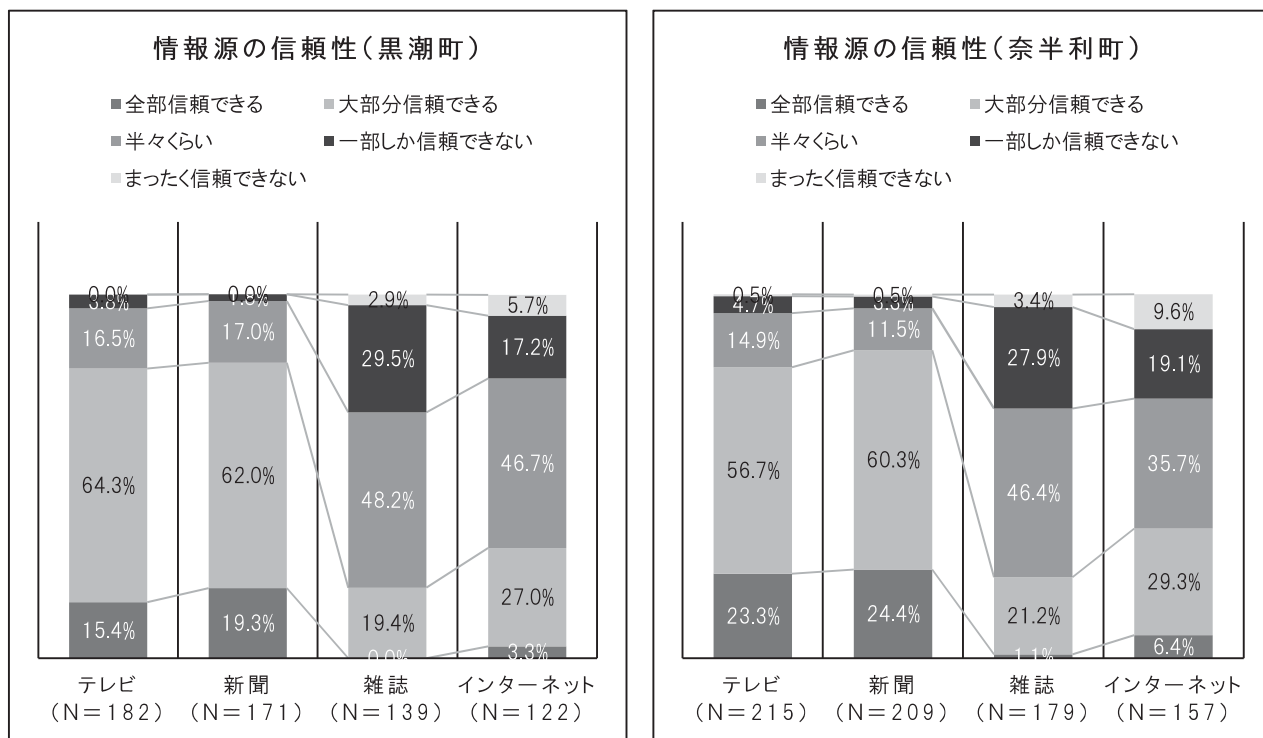
主要メディアにおいて、テレビと新聞の重要性および信頼性が非常に高いことが判明した。ただし、この傾向は二町ともに変わらなかった。

4.6 メディアの信頼性

主要な情報源と考えられるテレビ、新聞、雑誌、インターネットの信頼性を5件法で質問している。各メディアの信頼性ポイントの平均値は下図のとおりである。なお、二町間に統計的に有意な差は確認されなかった。情報源の信頼性においても、テレビと新聞が非常に高い。



以下は町別の詳細についてまとめたグラフである。



4.7 考察

メディア・コミュニケーション関連の質問項目においては、調査対象となった二町間に大きな差が出ることとなった。傾向としては、奈半利町のほうが黒潮町よりも各種メディア所有率も利用率も高い傾向が見られた。特に現代のパーソナルメディアの中心である“ケータイ”の所有率において奈半利町のほうが高く、「モバイル」や「ウェブ」を利用した情報収集においても奈半利町の利用率が高い傾向にあることが判明している。しかしながら、情報源としてのインターネットの重要性や信頼性において二町間に差はない。この差の要因としては、“ケータイ”利用環境の差異、特に携帯電話の不感知エリアの大きさが反映しているのかもしれないと推測する。

一般的な社会情報を9つに区分した各種情報においては、それほど大きな差はなく、まんべんなく社会への関心がある傾向が見て取れた。社会情報の情報源としてはマス・メディア、なかでもテレビと新聞が圧倒的であり、メディアとしての重要性や信頼性においても同様の傾向が見られた。現代社会における情報源として、依然としてテレビと新聞の影響力が強いことを再確認した。

地元に関する情報においても、内容面から7つに区分したが、いずれに対しても関心はもたれていた。地元情報の収集においては、局所的メディアともいえる自治体広報誌が圧倒的に利用されていると同時に、「クチコミ」や街角の「掲示板・ポスター・チラシなど」も多く活用されている傾向が見られた。「広報誌」については年齢が高いほど、教育年数が長いほど、よく利用される傾向にあった。また、「クチコミ」については年齢が若くなるほど利用している傾向も見えてきた。

社会情報および地元情報の収集に利用するメディア数においても、奈半利町のほうが黒潮町よりも多い傾向が見られた。これらの違いを生み出しているのは、情報環境の違いなのか、町民のパーソナリティの違いなのか、今回の調査分析でははっきりしていない。しかしながら、奈半利町において「クチコミ」が黒潮町よりも多く利用されている要因として、人口密度が影響している可能性もある。人口密度の高い奈半利町のほうが他の住民と直接会って話す機会が多いのかもしれない。

参考文献

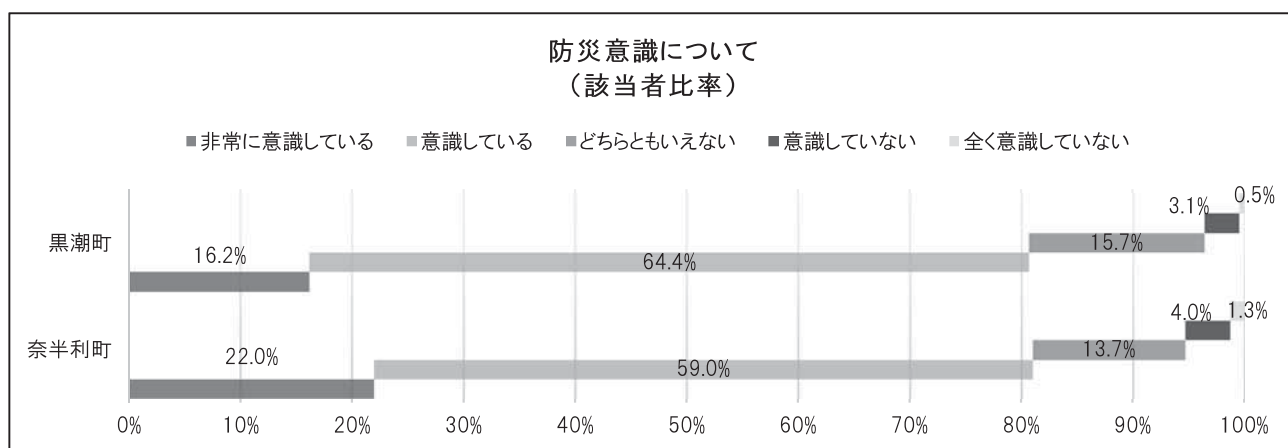
遠山茂樹(2013)「地方大学生における地域コミュニケーション状況に関する調査研究: 高知県下の大学生を対象に」『情報文化学会誌』第20巻第2号、pp.43-50.

5. 防災準備の比較

2011 年の東日本大震災、さらに、その後の政府による南海トラフ地震シミュレーションにおける最大 34.4m の津波が黒潮町に到達するという予想結果は、それまでの想定を大きく超えたものとなり、高知県全域に大きなインパクトを与えた。同じく太平洋沿岸に位置する地域も同様の高い津波予想がなされ、沿岸部コミュニティは防災に対する意識を高めざるを得ない状態になったといえよう。このような状況下において、本研究では、質問票において防災意識や防災準備状況について質問している。

5.1 防災意識について

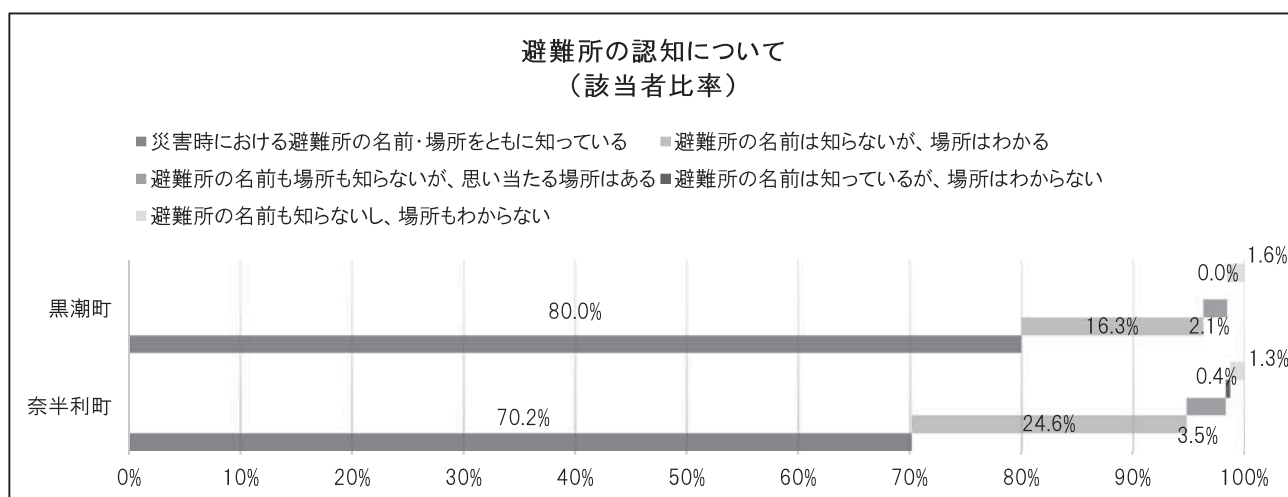
防災意識に対する自己評価を 5 件法で尋ねている。集計結果は下図のとおりである。両町ともに 8 割以上が意識していると回答していて、防災意識が高いことがわかる。



防災意識について二町間で Mann Whitney の U 検定を行っているが、統計的な有意差は確認されなかった。

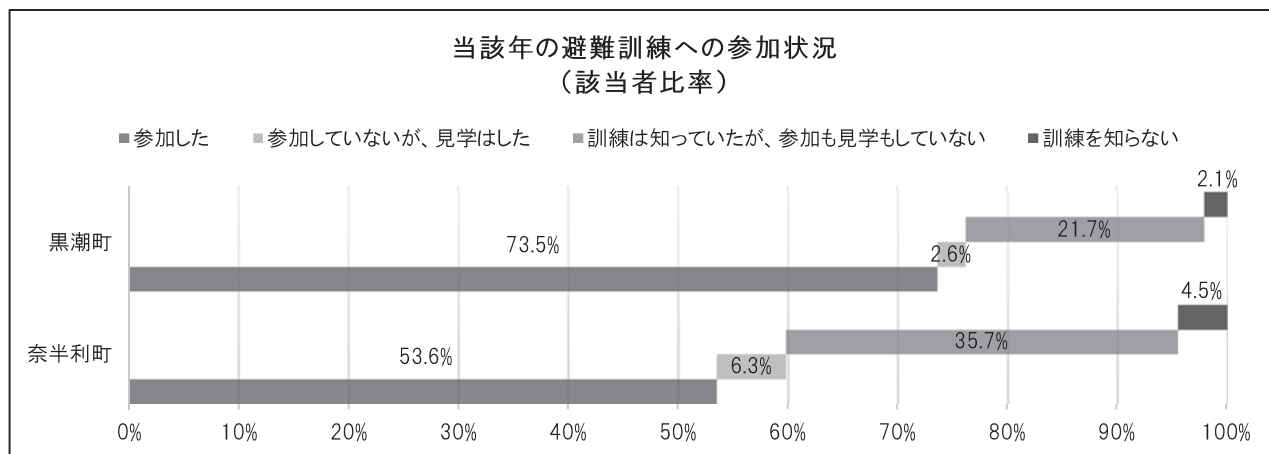
5.2 避難所の認知、および、避難訓練参加について

質問票では避難所に関する知識や避難訓練参加状況について尋ねている。避難所の認知については、「災害時の避難所の名前・場所ともに知っている」「避難所の名前は知らないが、場所はわかる」「避難所の名前も場所も知らないが、思い当たる場所はある」「避難所の名前は知っているが、場所はわからない」「避難所の名前も知らないし、場所もわからない」の 5 択から当てはまるものを 1 つ選択してもらった。集計結果は下図のとおりである。黒潮町では 8 割が避難所の名前と場所を認知していて、奈半利町でも 7 割が同様であった。避難所の場所の認知においては、両町とも 9 割を超えている。



避難所の認知について二町間で Mann Whitney の U 検定を行っているが、統計的な有意差は確認されなかった。

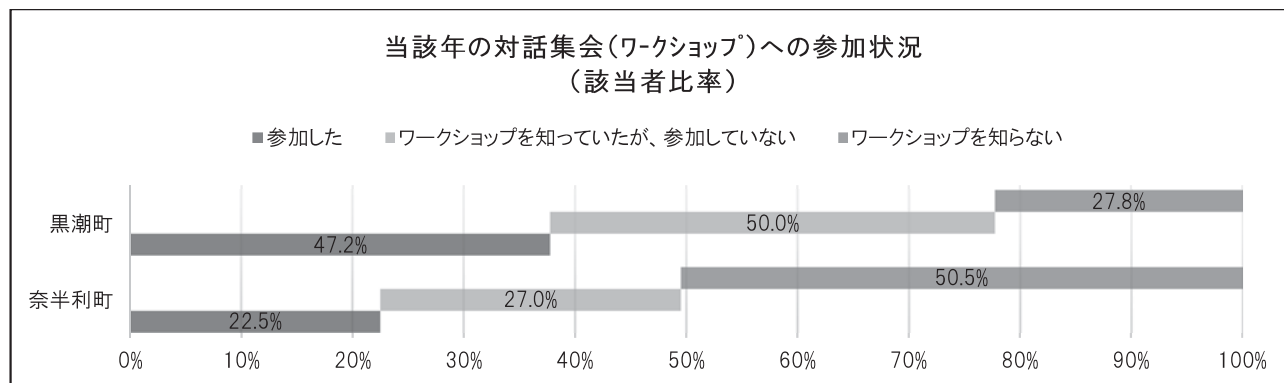
避難訓練への参加状況は下図のとおりである。黒潮町では7割以上が参加していて、奈半利町では5割以上の参加状況であった。ただし2~4%程度の人たちは訓練そのものを知らないと回答している。



避難訓練の参加について二町間で Mann Whitney の U 検定を行い、統計的な有意差が確認された ($U=21509.000$, $Z=-2.634$, $p < .01$)。黒潮町のほうが奈半利町よりも訓練への参加率が高かった。

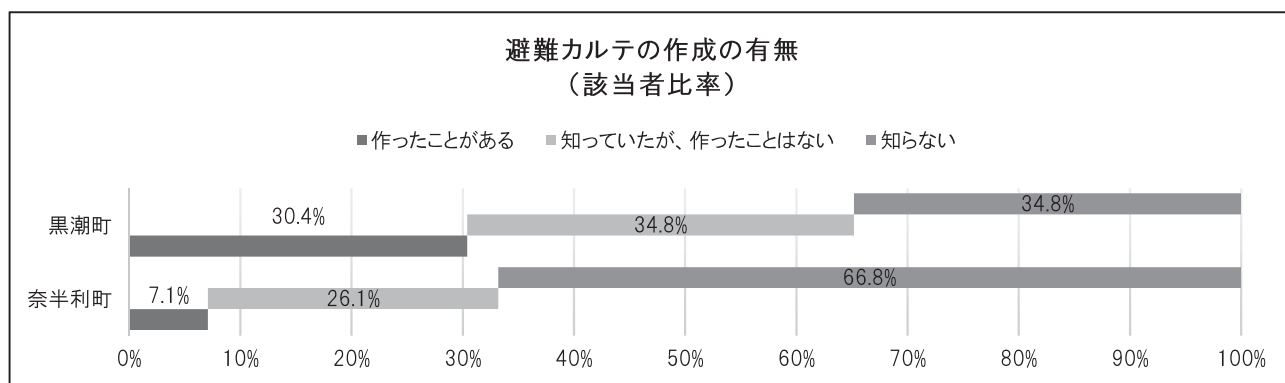
5.3 ワークショップ参加と避難カルテ作成について

地域の防災意識の高まりに合わせ、各地域で防災ワークショップが開催されるようになっている。特に黒潮町では、町役場が主導して各地区において対話集会(ワークショップ)を積極的に開催していると聞いている。このため、ワークショップへの参加状況について質問している。集計結果は下図のとおりである。



二町間の比較のため、ノンパラメトリック検定の Mann-Whitney の U 検定を行った。結果として、黒潮町のほうが奈半利町よりもワークショップへの参加率が高いことが統計的に有意であった ($U=19392.000$, $Z=-4.194$, $p < .001$)。町役場の積極的な取り組みの成果が、このような差につながっていると推測される。

また、東日本大震災の教訓から、各家庭独自に災害時の対応をまとめる「避難カルテ」を作成する取り組みも全国的に増加している。このため、質問票では避難カルテ作成体験の有無について尋ねている。集計結果は下図のとおりである。



二町間の比較のため、ノンパラメトリック検定の Mann-Whitney の U 検定を行った。結果として、黒潮町のほうが奈半利町よりも避難カルテの作成率が高いことが統計的に有意であった ($U=17013.000$, $Z=-6.377$, $p<.001$)。この項目においても、黒潮町役場の積極的な取り組みの成果が現れている。

5. 4 防災準備行動について

自然災害時において被害を抑えるための有効手段として、防災準備が挙げられる。つまり、どれだけ事前に準備したかによって、災害直後の対応行動の差を生み出し、被害を最小限に抑えられるか否かへ影響を与えるのである。本調査では、内閣府が 2015 年に実施した「防災に関する世論調査」¹を参考に、防災準備行動について質問している。集計結果は次頁図のとおりである。

「避難する場所を決めている」、「防災訓練への参加」、「携帯ラジオ・懐中電灯・医療品の準備」、「貴重品などの持出し準備」、「自動車の燃料を満タンにする」、などにおいては両町とも全国値よりも高い傾向にあることがわかる。一方で、「家具の固定」や「風呂の水の貯め置き」については両町ともに全国値を下回っている。また、奈半利町においては「食料・飲料水の準備」、「持出し用の衣類・毛布の準備」、「消火活動のための準備」において相対的に低い値となっていることもわかる。

5. 5 防災における自助と共助

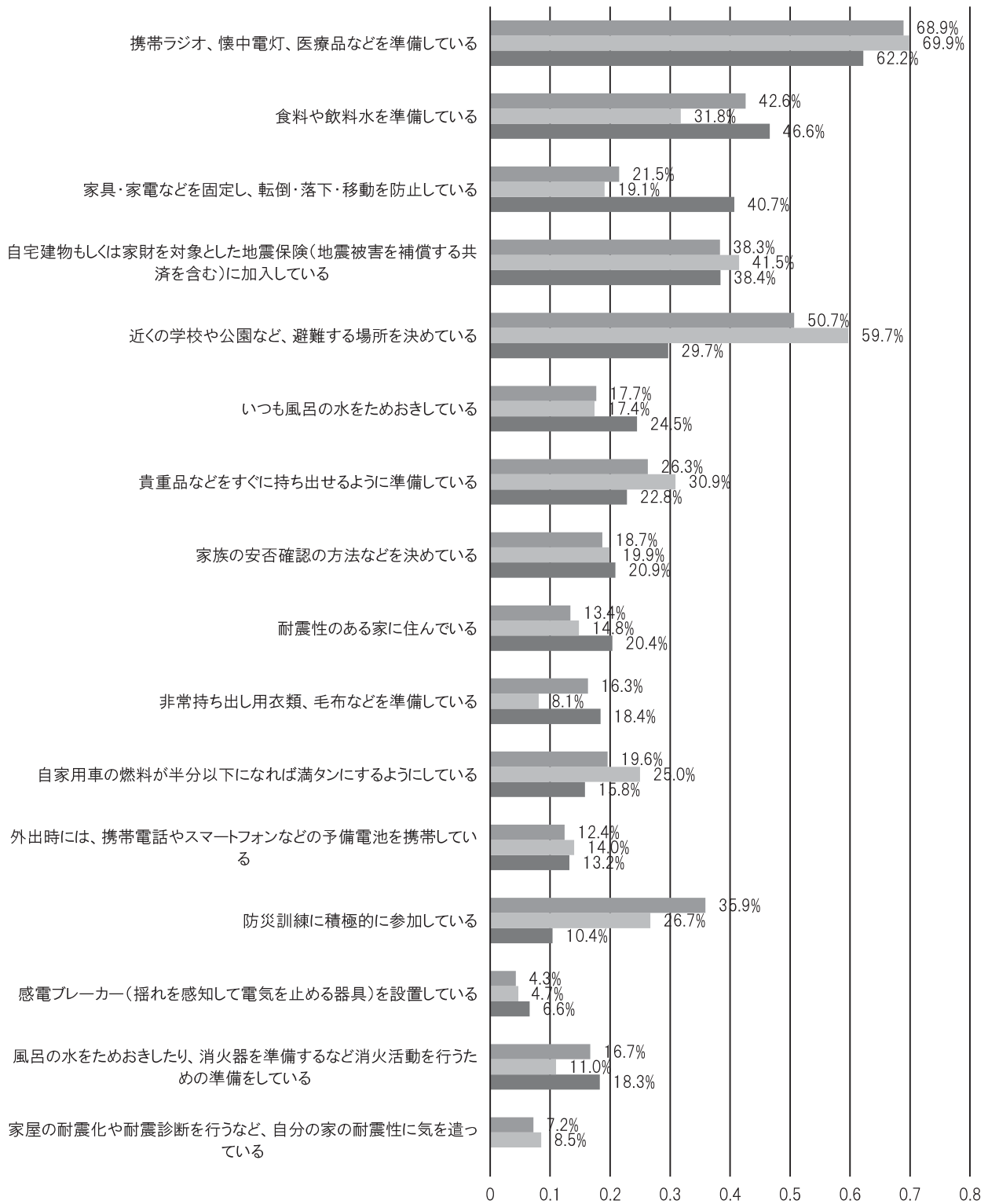
自分と家族に直接かかわる防災準備行動をここでは「自助」とする。「自助」の項目としては、「避難カルテの作成有無」(これは家族レベルでの防災準備)、および、防災訓練の項目を除いた「自然災害への備え」の15項目が相当すると考える。これらにおける二町間の比較においては、「避難カルテの作成有無」、「食料や飲料水の準備」、「非常持ち出し用衣類、毛布などの準備」の項目において黒潮町のほうが奈半利町よりも高い数値を示していた。

コミュニティに関わる防災準備行動を、本稿では「共助」とする。本調査項目では、「避難所の認識」、「避難訓練への参加」、「ワークショップへの参加」、「防災訓練に積極的に参加している」の4項目が該当すると考える。これらにおける二町間の比較においては、「避難訓練への参加」、「ワークショップへの参加」、「防災訓練に積極的に参加している」の項目において黒潮町のほうが奈半利町よりも高い数値を示していた。つまり、「自助」と「共助」の両方においても、黒潮町のほうが防災準備をしている住民の比率が高かった。

¹ 内閣府大臣官房政府広報室「防災に関する世論調査」の HP を参照 (HP: <http://survey.gov-online.go.jp/h25/h25-bousai/index.html>; アクセス:2016 年 4 月 22 日)

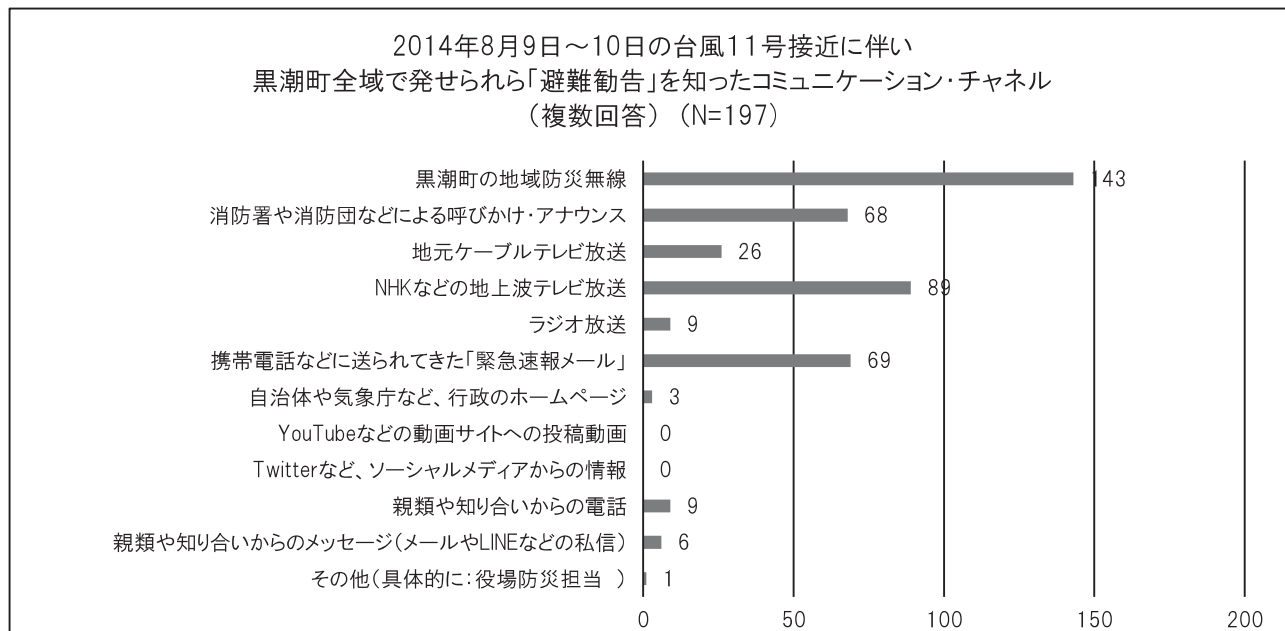
自然災害への備え
(該当者比率)

■黒潮町(N=198) ■奈半利町(N=228) ■内閣府(N=3110)



5.6 黒潮町におけるケーススタディ: 実際の大雨のときの対応

黒潮町調査を予定していた 2014 年の夏に、高知県は台風 11 号の接近に伴う大雨の被害を被っていた。このため黒潮町調査における質問票でのみ、この時の体験について質問した。質問では、台風接近にともなう「避難勧告」について知ったコミュニケーション・チャンネルについて尋ねている。集計結果は下図のとおりである。



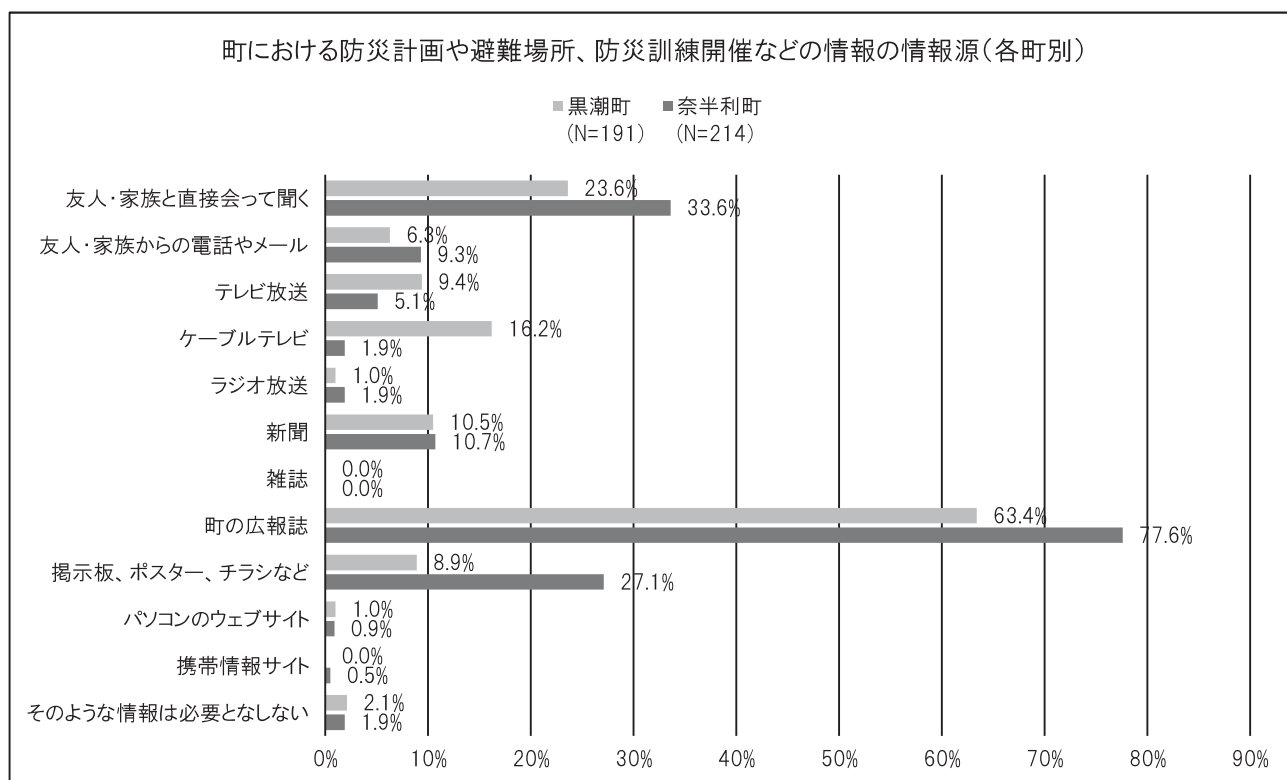
町内に積極的に導入している防災無線による告知が最も使われたコミュニケーション・チャンネルであった。次に多かったのが NHK などの地上波テレビ放送で、携帯電話への「緊急速報メール」および「消防署や消防団などのアナウンス」が続いている。基礎自治体が情報発信する防災無線、消防による呼掛け、町営ケーブルテレビなどのローカルなコミュニケーション・チャンネルが、実際にも積極的かつ有効的に使用されていることがわかる。

5.7 防災コミュニケーション

ここでは、町の防災に関する情報へどのように住民がアクセスしているのかを分析した。質問票では、地元情報の1つとして「町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報」の入手経路について尋ねている。回答の集計結果は下図のとおりである。

地元の防災関連情報の入手経路としては、町の広報誌が最も多く利用されていて、友人・家族からのクチコミが続く。黒潮町においてはケーブルテレビの自主放送番組から入手する割合も高い。

二町間において、防災関連情報の入手経路において差があるのかをカイ二乗検定にて検証した。結果として、「友人・家族と直接会って聞く」($\chi^2=4.996$, $df=1$, $p < .05$)、「町の広報誌」($\chi^2=9.883$, $df=1$, $p < .01$)、「掲示板・ポスター・チラシなど」($\chi^2=22.160$, $df=1$, $p < .001$)においては奈半利町のほうが黒潮町よりも使用率が高かった。「ケーブルテレビ」($\chi^2=26.364$, $df=1$, $p < .001$)のみ黒潮町のほうが奈半利町よりも使用率が高かった。



二町のデータを統合して、郡部コミュニティにおける防災情報への関心度について分析を試みた。まず、町の防災情報への関心の高低を、防災情報を入手する経路数とみなし、防災情報ポイントを算出した。この防災情報ポイントを目的変数とし、社会的属性となる性別、年齢、教育年数、仕事の有無、同居家族の有無、所得を説明変数とする重回帰分析を試みた。結果として、性別のみが統計的に有意な変数であった（下表を参照）。つまり、男性のほうが女性よりも町の防災情報への関心が高く、多くのコミュニケーション・チャネルから情報収集している傾向がわかった。

表. 「町の防災情報」の重回帰分析（ステップワイス法）

	B	SE	β	
性別ダミー（参照ダミー：女性＝0）	0.306	0.111	0.142	**
定数	1.431	0.075		***
R2	0.02	*		

注： **： $p < .01$, ***： $p < .001$

次に、地元の防災情報入手経路として使用頻度の高いコミュニティ・メディアである広報誌および掲示板・ポスター・チラシをよく読む人の属性の分析を試みた。具体的には、「町の広報誌をよく読むか否か」を目的変数とし、社会的属性となる性別、年齢、教育年数、仕事の有無、同居家族の有無、所得を説明変数とするロジスティック帰分析を試みた。結果は下表のとおりである。統計的に有意であった変数は年齢と教育年数であった。つまり、他の変数が一定の場合、年齢が1つ増えると広報誌を読む確率が 2.8 倍増加し、教育年数が1つ増えると広報誌を読む確率が 3.4 倍増加することになる。年齢が高く、教育年数の長い人が、より町の広報誌を読んでいる傾向にあることがわかる。

表. 「町の広報誌を良く読むか否か」のロジスティック回帰分析

	B	SE	Exp β	95%CI	
年齢	0.028	0.009	1.029	1.01	1.047 **
教育年数	0.197	0.063	1.218	1.076	1.379 **
定数	-3.009	1.108	0.049		**
Nagelkerke 決定係数	0.054				
モデル適合度	0.001				
モデルの正解率	73.2%				
N	377				

注: **: $p < .01$; 尤度比変数増加法

次に「町の掲示板・ポスター・チラシなどをよく見るか否か」を目的変数とする同様のロジスティック回帰分析を試みた。結果は下表のとおりである。

表. 「町の掲示板・ポスター・チラシなどをよく見るか否か」のロジスティック回帰分析

	B	SE	Exp β	95%CI	
年齢	0.027	0.01	1.027	1.006	1.048 *
所得ダミー700 万円以上 (参照ダミー: 所得なし)	1.146	0.604	3.145	0.963	10.267
定数	-3.081	0.653	3.145		***
Nagelkerke 決定係数	0.044				
モデル適合度	0.005				
モデルの正解率	81.2%				
N	377				

注: *: $p < .05$, ***: $p < .001$; 尤度比変数増加法

結果として、年齢変数のみが統計的に有意であった。つまり他の変数が一定の場合、年齢が1つ増えると掲示板・ポスター・チラシなど見る確率が 2.8 倍増することになる。こちらでも年齢が上がるほど、閲覧する傾向が見られた。

町の防災情報に対して、男性のほうが女性よりも関心が高い傾向にある。しかしながら、防災情報源としてよく使用される広報誌や掲示板では性別間の差はなく、年齢層が上がるほど読んで／見ている比率が高くなる傾向にあった。また、教育年数が長いほど広報誌をよく読む傾向も明らかになった。つまり、これらの逆の傾向をもつ女性と若年層が「防災情報弱者」となっている可能性も示唆されたといえよう。

5.8 考察

防災意識や避難所の知識においては二町間に差はなかったが、避難訓練参加、ワークショップ参加、避難カルテ作成においては黒潮町のほうが奈半利町よりも積極的である傾向が明らかとなった。おそらくこの差は、黒潮町役場職員全員が防災担当となり、職員が地域に張り付く「地域担当制」を導入して、区レベルの細やかな防災普及活動に取り組んできた成果だと考えられる(『高知新聞』2016.3.8.朝刊記事「【いのぐ】最大津波と付き合う高知県黒潮町 諦めない思想紡ぐ」)。

具体的な防災準備行動については、二町と内閣府による世論調査結果との比較を行った。調査対象の二町

は、自然災害直後に必要となる項目においては世論調査結果よりも高い傾向にあり、災害時にまず生き残るための準備に注力しているのではないかと考えらえる。一方で、食料や飲料水、風呂の水や持ち出し用の衣類毛布など、ある意味で防災準備としての備蓄に関わる部分においては世論調査結果よりも低い傾向にあった。この傾向の要因は家計にあるのかもしれない。黒潮町の 2014 年の平均所得は約 227 万円、奈半利町の平均所得は約 230 万円であった²。同年の全国平均所得の 415 万円(国税庁長官官房企画課, 2015)と比較するとその格差がみえる。ただし、本調査ではこれらの差については十分な分析ができておらず、短絡的な結論付けには慎重になるべきであろう。

参考文献

国税庁長官官房企画課(2015)『平成 26 年分 民間給与実態統計調査:調査結果報告』; 国税庁 (<https://www.nta.go.jp/kohyo/tokei/kokuzeicho/minkan2014/pdf/001.pdf>; アクセス 2017.3.6.)
内閣府大臣官房政府広報室「防災に関する世論調査」の HP を参照 (HP: <http://survey.gov-online.go.jp/h25/h25-bousai/index.html>; アクセス:2016 年 4 月 22 日)

² ここでの平均所得は、2014 年の課税対象所得を納税義務者数(所得割)で除した金額である。算出の基になった統計データは「都道府県・市区町村のすがた」『e-Stat 政府統計の総合窓口』(<http://www.e-stat.go.jp/SG1/chiiki/Welcome.do>; アクセス 2017.3.6.)より取得した。

6. 地域情報発信について

本章では、地域情報発信者として自治体広報誌および町営ケーブルTVの現状と課題について、担当者へのインタビューを通して分析を試みる。担当者へは半構造化インタビューを実施している。広報誌担当者への主な質問項目は、担当体制、制作過程、町民からのフィードバック、目的・目標と成果評価、防災情報の取り扱い、課題についてである。一方、町営ケーブルTVの担当者に対しては、沿革、組織体制、加入状況、自主制作番組、防災情報の扱い、課題について質問している。

6.1 基本情報

町役場発行の広報誌に関する基本情報をまとめたのが以下の表である。二町における大きな違いは、発行月であり、黒潮町は毎月、奈半利町は隔月の奇数月となっている。

表. 町役場発行の広報誌に関する基本情報

	黒潮町	奈半利町
広報誌名	『広報 くろしお』	『広報 なはり』
発行部数	6,100 部	1,300 部
発行月	毎月	奇数月
担当体制	総務課広報誌担当1名	総務課広報誌担当1名
世帯配布体制	区長へ配送後、区長から班長経由で世帯配布 町外へは役場が郵送	(株)高知新聞総合印刷に委託
HP 公開	PDF で公開	PDF で公開

住民票の住所や選挙人名簿の住所においてさえ、実際に住民が住んでいないケースもある。このため広報誌の各戸への配布が大きな課題であると考えていたが、インタビューによってその謎は少し解けた。黒潮町では広報誌を区長へ配送し、あとは区内での配布となっている。多くのケースでは区長から班長へ配布され、班長から各戸へ配布されているようである。地元住民が直接配布するため、居住の有無については十分に把握しており、配布漏れがないと推測される。一方、奈半利町においては(株)高知新聞総合印刷へ編集・印刷から配布まで委託していて、恐らく委託企業のほうで居住について十分に把握していると推測される。

なお、両町において広報誌をそのまま PDF 化して、公式 HP にて公開しており、いつでもバックナンバーを読むことができる状態にある。

6.2 黒潮町広報誌の発行まで

ここでは黒潮町広報誌担当者へのインタビューをもとに、広報誌発行までの詳細について論じる。

6.2.1 広報誌担当者インタビューより

以下では、取材・情報収集、編集作業、印刷・配布、目的などの項目ごとにインタビューの内容をまとめる。

○取材・情報収集

担当者は月末から月初めにかけて次号のための原稿を集め始める。具体的には庁舎内や町役場の各部署から原稿を募集する。また、連載記事もいくつかあるので、こちらの原稿集めも開始する。取材については、広報担当者がイベントなどに出向いて行う場合もあるという。ときには、IWKTV が取材した映像から画像提供を受ける場合もあるという。

○編集

原稿が集まると、担当者がマイクロソフト・ワードを使用して記事をレイアウトする。基本的には 11 ポイントのフォントで4段組みのレイアウトとなっている。これは読みやすさを求め、フォントの大きさを以前よりも大きくしているとのことである。

すべての原稿がそろい、レイアウトが終わると、そのファイルを印刷会社へ入稿し、校正を経た上で印刷に入ることになる。

なお、掲載する内容等に関する編集会議に類するものは特になく、担当者が編集長の役割を果たしている。ただし、実際には、広報誌を管轄する総務課長および他部署の課長などと相談しながら編集を進めている。さらに、各部署から1名参加した広報委員会を開催し、誌面の読み合わせをし、内容面のチェックを行っている。校正原稿を入手すると、全庁舎につながる町役場のイントラネットに掲載し、関係者に内容の確認を依頼している。この点で、広報誌面の作成においては担当者が主導するが、内容面においては関係者の確認を取る体制になっているのがわかる。

○印刷・配布

担当者からワードファイルとして入稿された原稿は、印刷会社で版(印刷データ)が生まれ、印刷され、校正原稿として返される。その後、役場で最終校正を終えた原稿が印刷会社へ渡り、広報誌として印刷・製本され、役場へ納品されてくる。

担当者は納品された広報誌を各区長宛てに配送している。これは、毎週決まった曜日に郵便物をまとめて各区長に渡すというシステムがあり、これを利用している。広報誌掲載が間に合わないような情報については、必要に応じて各戸にチラシを配布する場合もあるという。

○広報誌の目的や方向性

『広報くろしお』の発行目的としては、主に行政情報をまとめて住民に伝えることであるという。住民とのコミュニケーションという視点からすれば、双方向性は高いものになっていない。

住民から記事の掲載依頼がときどき来るが、役場から住民に対して記事を公募することはしていない。『広報くろしお』では有料広告も扱っているので、住民による情報発信機会は確保されているといえよう。ただし、有料広告の件はあまり住民に知られていないのではないか、という話しでもあった。

○その他

担当者レベルでは、広報誌がどれほど町内で読まれているかについてアンケート調査などはしたことはないという。ただし、住民に話しかけられたりするときに、広報誌が読まれていることを実感するケースはあるという。

6. 2. 2 テキスト分析

テキスト分析ソフトの KH Coder(樋口, 2014)を使用して、インタビュー内容のテキスト分析を試みた。以下ではテキスト分析結果について記す。

○頻出語

KH Coder の抽出語の機能では、品詞別に語の頻出回数を計算してくれる。以下では、黒潮町広報誌担当者の発言のなかの名詞、サ変名詞、登録語において、出現回数の多い上位 15 までをリストアップしている(下表参照)。サ変名詞とは動詞の“する”を付けると動詞の働きをする名詞である。登録語とは、事前に分析者が専門的用語としてシステムに登録した語を指す。

これらのなかでは、サ変名詞の「広報」「お知らせ」「担当」という語が 20 回以上も登場し、よく使われているのがわかる。名詞においても、「ページ」「情報」「役場」「記事」「区長」が 10 回以上登場しているのがわかる。

表. 黒潮町広報誌担当者発言における名詞・サ変名詞・登録語の抽出語(上位 15)

順位	名詞	出現回数	サ変名詞	出現回数	登録語	出現回数
1	ページ	16	広報	36	IWKTV	5
2	情報	15	お知らせ	24	Word	5
3	役場	15	担当	23	Facebook	4
4	記事	14	印刷	12	Twitter	4
5	区長	10	一緒	8	Illustrator	2
6	ホームページ	9	防災	8	A4	1
7	自分	9	研究	6	C タイプ	1
8	地区	8	配布	6	Excel	1
9	カラー	7	募集	6	LINE	1
10	黒潮	7	協力	5	PDF	1
11	原稿	6	合併	5	アウトソーシング	1
12	誌面	6	取材	5	アプリ	1
13	住民	6	放送	5	デスクトップパブリッシング	1
14	先生	6	連載	5	ブラウザ	1
15	個人	5	レイアウト	4		

○共起ネットワーク分析

KH Coder を使用して、共起ネットワーク分析を実施した。共起ネットワークとは、「データ中でよく一緒に使用される概念を線で結んでネットワークを描く方法」(樋口, 2014:11)であり、単語間の結びつきの強さを表している。ここでの条件としては、最小出現数 5 の名詞、サ変名詞、登録語のみを対象としている。分析結果は右図のとおりである。

ネットワーク図では、強い共起関係ほど太い線で表し、出現数の多い語ほど円が大きくなる設定となっている。また、媒介性によるサブグラフ抽出も行っており、サブグラフのかたまりごとに色が異なる設定になっている。

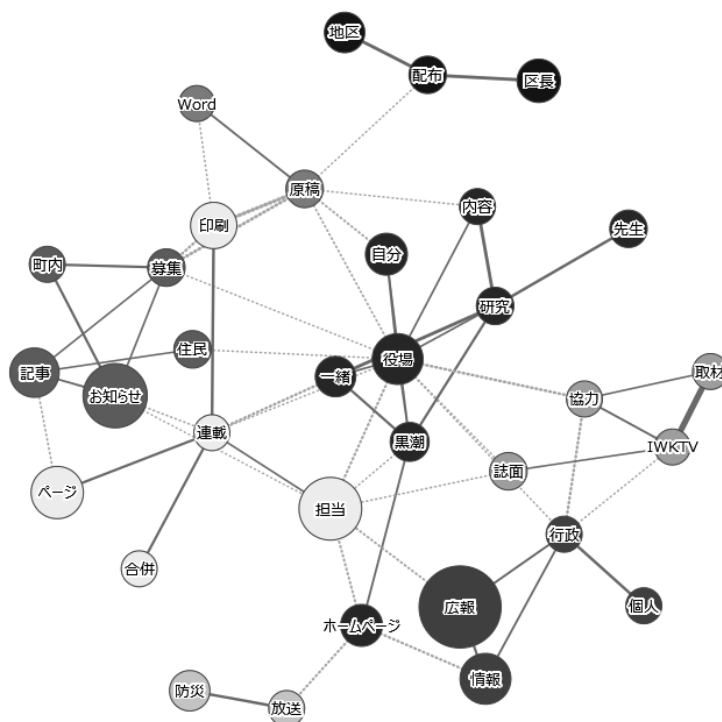
中央下の「担当」では、「役場」「広報」「連載」「お知らせ」「誌面」「ホームページ」などとのつながりが確認される。まさに広

報担当が役場の各部署にお知らせなどの問い合わせをして記事を募集し、さらに連載記事の収集を行っているという、担当者の仕事の核となる作業と関連する名詞が連なっているといえる。

右端のサブグラフでは、一部の取材において、町営ケーブル TV の自主制作番組を担当する IWKTV と協力して誌面をつくる、ということを表している。

左端の「お知らせ」を中心とするサブグラフでは、広報誌の重要なコンテンツはさまざまな「お知らせ」であり、町の「お知らせ」を記事にする一方で、住民からの記事募集は特にしていない、との発言に対応している。

右下の「広報」を中心とするサブグラフは、行政の情報を発信するのが主目的であるが、情報発信はホーム

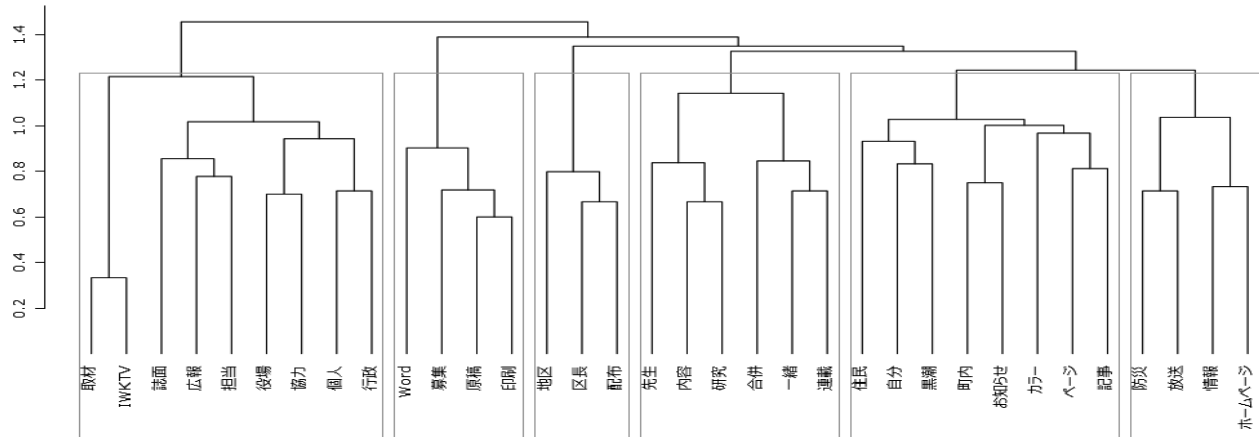


ページ上でもしている旨の発言に対応していると考えられる。

上部の「地区」「配布」「区長」のサブグラフは、広報誌の各戸への配布についての発言であろう。

○階層クラスター分析

上の共起ネットワーク分析結果を確認するため、階層クラスター分析(条件は上と同じ)を実施した。結果は下図のとおり6つのクラスターを抽出した。



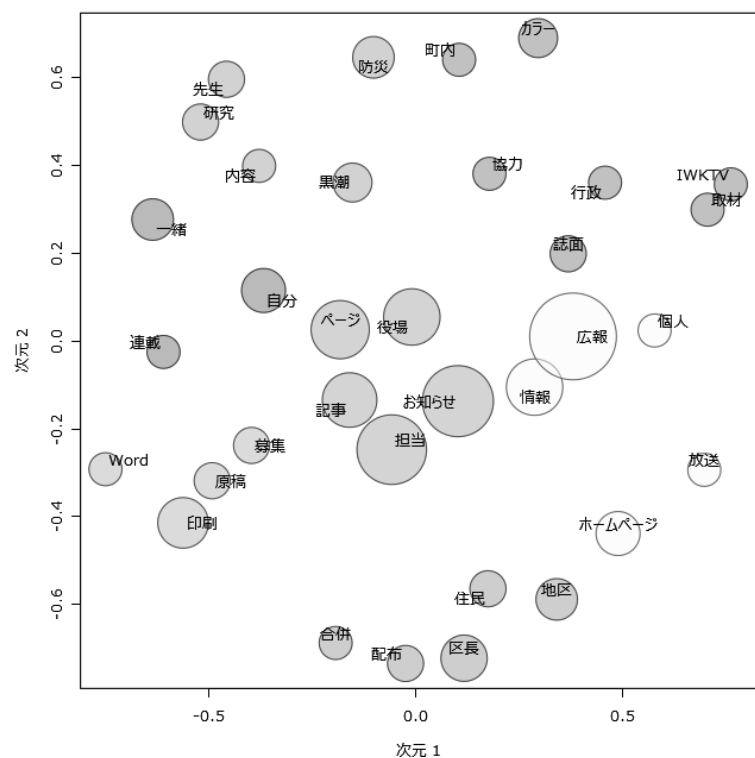
最左のクラスターは、誌面作りのための取材や記事集めに関する語であり「取材クラスター」といえよう。左から二番目は広報紙の編集に関わる内容のため、「編集クラスター」と名付ける。左から三番目は広報誌の各戸への配布に関する語のため「配布クラスター」とする。左から四番目は、防災などに関して合併後に連載してきた記事に関する語であるため「連載クラスター」と名付ける。右から二番目は広報誌に関わる語のため「雑誌クラスター」とする。最右は防災などの情報発信に関わる語のため「情報発信クラスター」とする。

今回のクラスター分類では、主に調査者の質問項目に対応する形となっている傾向が読み取れる。広報誌発行までの一連の作業について深く関わる名詞群であることは確かであろう。

○多次元尺度構成法

ここでは多次元尺度構成法(MDS)を用いた分析結果を2次元の散布図として表現している(右図参照)。この図は出現パターンの似かよった語の組み合わせを示すものである。ここでの条件もこれまで同様に、名詞・サ変名詞・登録語で最小出現数5の語が対象となっている。

右図においても、共起ネットワーク図や階層クラスター分析のデンドログラムと共通する傾向が読み取れる。



6.3 奈半利町広報誌の発行まで

ここでは奈半利町広報誌担当者へのインタビューをもとに、広報誌発行までの詳細について論じる。

6.3.1 広報誌担当者インタビューより

以下では、取材・情報収集、編集作業、印刷・配布、目的などの項目ごとにインタビューの内容をまとめる。

○取材・情報収集

奈半利町役場における広報誌担当は総務課員1名である。広報誌作成の最初のステップは、掲載する記事の収集から始まる。まず、担当者は地元住民で構成される文化団体に対して、掲載する短歌や俳句について問い合わせをする。これは広報誌が当団体の発表の場の一つになっているためであり、団体メンバーの作品が広報誌に掲載されるのが恒例になっているからである。その他、町役場の各部署からのイベント情報や出先機関からの各種情報などを収集している。さらに、県や国からのお知らせが来るので、それらをまとめ、整理し、掲載する記事をまとめている。議会が開催されている時期は議会報告の記事を受け取る。広報誌に掲載する「お知らせ」は役場内では2種類に区分されていて、(1)町の職員募集やイベント開催など、直接町に関わるお知らせ、および、(2)年金問題や自衛官募集、就労関係など一般的なお知らせである。ただし、誌面上では明確に区分されているわけではない。実際には、県や病院といった各種機関からの記事掲載要望は案外多く来るため、誌面の制約から断ることもあるという。

○編集

担当者は広報誌に掲載する記事を収集したら、それらを委託先である(株)高知新聞総合印刷へ受け渡す。総合印刷のほうでレイアウトなどを組み、初稿を作成する。その後、初稿に対し修正・構成を担当者のほうで行う。また、初稿原稿は各課に回覧してチェックしてもらい、訂正があれば、その旨を総合印刷へ伝え、原稿を訂正してもらうという。編集の多くの作業については外部委託して効率化を図っている現状が見える。

○印刷・配布

(株)高知新聞総合印刷が編集・印刷から全戸配布までを担当している。町外の高知奈半利会や関東奈半利会、ふるさと納税者などへは、町担当者が宛名を準備して、総合印刷から発送している。

○広報誌の目的や方向性

広報誌の目的としては行政からののお知らせを住民へ伝達することが主であるように理解した。イベントなどについては、毎年同じようなサイクルで開催されているものが多いので、ややルーティンのような扱いになっているという。

行政からの伝達が主目的であるため、住民との双方向性は高くない。しかしながら、現状では住民側から広報誌への要望について特段に聞こえてこないとのことである。

○その他

防災情報の扱いについて、特に取り決めはなく、専用の誌面などは準備していない現状にある。ただし、町役場のほうで防災マップなど作成したら、折り込みとして入れることはあるという。

また、広報誌担当者が、町のホームページ管理者でもある。掲載依頼のあった情報を担当者自身がホームページを更新している。つまり、広報誌を担当している職員が町からの情報発信の中心的役割を担っている現状にあり、担当者が1名のため業務量としては限界があるのも事実である。1名体制ということもあり、現在の課題としては、「五月雨式」に由来する記事掲載依頼をいかに調整していくのか、という点を担当者は指摘していた。

6.3.2 テキスト分析

奈半利町の広報誌担当者の発言についても、KH Coder を使用したテキスト分析を試みた。以下に分析結果を記す。

○頻出語

ここでは、奈半利町広報誌担当者の発言のなかの名詞およびサ変名詞において、出現回数の多い上位15までをリストアップした(下表参照)。

表. 奈半利町広報誌担当者発言における名詞・サ変名詞の抽出語(上位 15)

順位	名詞	出現回数	サ変名詞	出現回数
1	部分	20	広報	24
2	記事	16	お知らせ	16
3	イベント	15	担当	13
4	内容	13	関係	9
5	自分	12	発行	9
6	委員	10	編集	9
7	折り込み	8	訂正	6
8	団体	8	依頼	5
9	ページ	6	委託	4
10	ホームページ	6	印刷	4
11	一般	5	活動	4
12	奇数	5	教育	4
13	便り	5	調整	4
14	役場	5	提出	4
15	各課	4	配布	4

名詞においては、「部分」「記事」「イベント」「内容」「自分」「委員」が出現回数 10 回以上の語として抽出されている。サ変名詞においては、「広報」「お知らせ」「担当」が出現回数 10 回以上の語として抽出されている。

○共起ネットワーク分析

KH Coder を使用して、共起ネットワーク分析を実施した。ここでの条件としては、最小出現数 4 の名詞とサ変名詞のみを対象としている。分析結果は右図のとおりである。

右上のサブグラフは、お知らせのページとして、住民の文化団体から俳句・短歌といった原稿の依頼・回収に関するものと認識できる。

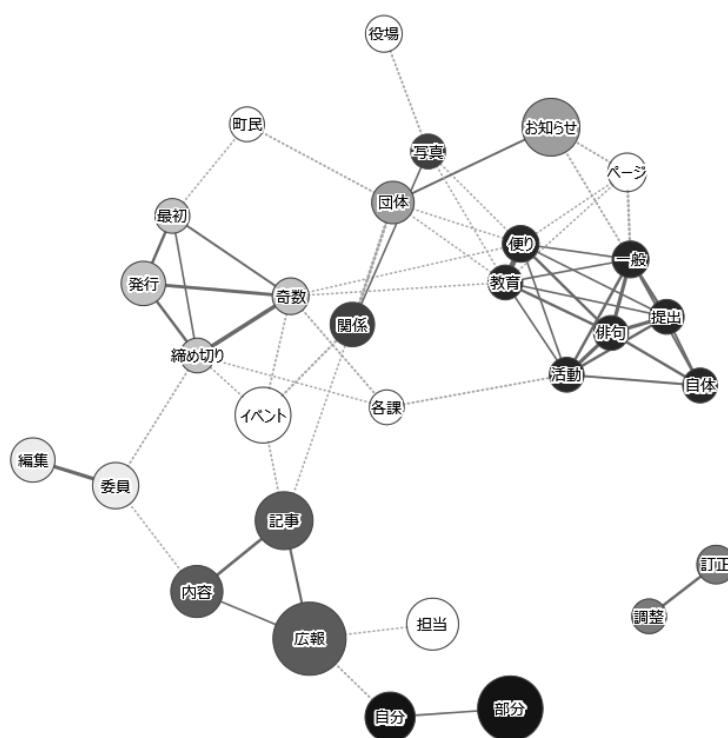
左上の「発行」を軸とするサブグラフは、広報誌発行に関する用語である。

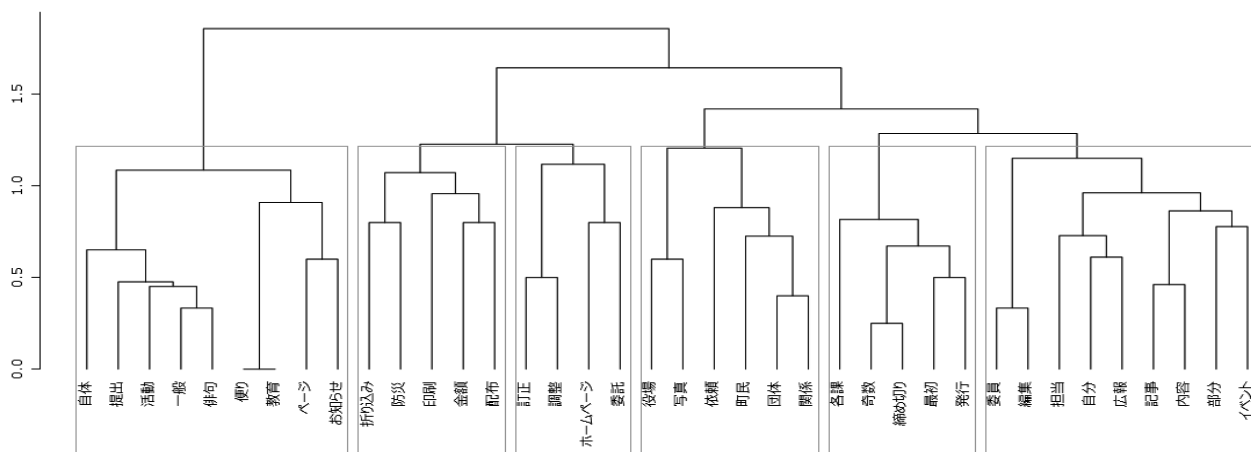
左側の「編集」「委員」は、数年前まで機能していた広報誌編集委員会について言及した箇所に相当しよう。

最下のサブグラフは、広報誌担当としての作業に関わる発言が反映されていると考えられ、右下はその作業のなかでも記事の訂正や各部局や団体との掲載記事の調整という趣旨の発言を反映したものと考えられる。

○階層クラスター分析

上の共起ネットワーク分析結果を確認するため、階層クラスター分析(条件は上と同じ)を実施した。結果は下図のとおり6つのクラスターを抽出した。



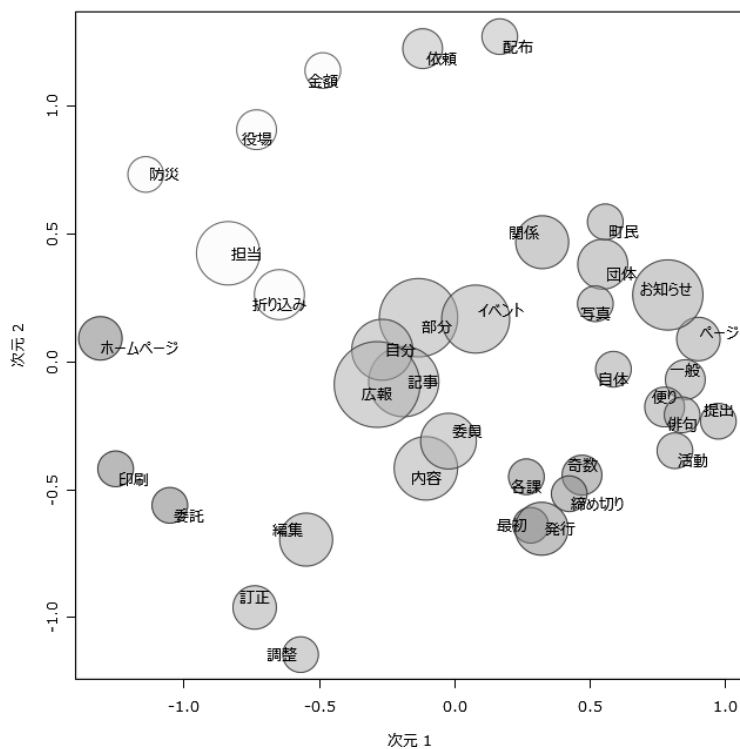


最左の第1クラスターは広報誌に掲載する記事の内容に関する語であるため、「記事内容クラスター」とする。となりの第2クラスターは広報誌の委託先である(株)高知新聞総合印刷に関わる語のため「委託クラスター」と名付ける。さらに左から3つ目の第3クラスターはインタビュー協力者の担当業務に関わる語のため、「担当クラスター」とする。左から4つ目は記事の依頼に関する語のため「記事依頼クラスター」とする。右から2つ目は広報誌の発行に関わる語のため「発行クラスター」とする。最右は広報誌担当者の主な作業に関わる語のため「業務クラスター」とする。

○多次元尺度構成法

右図は、多次元尺度構成法(MDS)を用いた分析結果を2次元の散布図として表現したものである。ここでの条件もこれまで同様に、名詞・サ変名詞で最小出現数4の語が対象となっている。

右の散布図においても、上で分析した傾向を再確認できよう。



6.4 黒潮町ケーブルTVについて

黒潮町では国の助成を受けながら平成21年から町内全域に光ケーブルネットワークを敷設し、公設公営のケーブルTV局およびインターネット接続サービスを展開している。これらの拠点として平成23年に「黒潮町光ネットワークサービスセンター」(通称 IWK (IT'S WONDERFUL KUROSHIO TOWN))を設置し、住民の窓口として機能している。

IWKに関する基本情報は下表の通りである。

センター名称	黒潮町光ネットワークサービスセンター (略称: IWK(IT'S WONDERFUL KUROSHIO TOWN))
設立	平成 23(2011)年 4 月
事業内容	告知放送 黒潮町ケーブル TV インターネットサービス 黒潮町自主放送番組作成 光ケーブル保守・運営
ケーブル TV チャンネル一覧	IWK テレビ [自主制作番組] 高知放送(RKC) [日本テレビ系] 高知さんさんテレビ(KSS) [フジテレビ系] テレビ高知(KUTV) [TBS 系] 愛媛朝日テレビ(eat) [テレビ朝日系] NHK 総合 NHK 教育
料金	告知端末: 町民には 1 世帯 1 台無料 ケーブル TV: 月額¥1,080 ※町民は工事費無料 インターネット: 月額¥4,320 FTTH 100Mbps

出典: 黒潮町光ネットワークサービス HP より(<http://www.iwk.ne.jp/>)

なお、本稿では地域情報発信の観点から、ケーブル TV に焦点を絞って論じていく。

6. 4. 1 ケーブル TV 担当者インタビューより

以下では、ケーブル TV に関する組織・体制、加入・視聴状況、自主制作番組について、課題などの項目ごとにインタビューの内容をまとめる。

○組織・体制

町ケーブル TV に関わる人員としては、町役場ケーブル TV 担当が 3 名(正規職員)で、さらに課金担当が 2 名(嘱託職員)の体制となっている。正規職員は、営業から著作権団体やケーブル TV 連盟、他民間地上波や NHK との交渉、関連省庁との折衝などを担当している。サービスセンターでは職員 4 名(外部委託)を新規雇用して、主に住民に対する窓口業務を担当している。自主制作番組については地元の NPO 砂浜美術館へ委託していて、実際には NPO のスタッフ 4 名が担当しているという。

○加入・視聴状況

ケーブル TV への加入率は、インタビュー当時(2015 年 2 月)で 40%弱という発言であった。筆者が実施した質問票調査(2016 年 12 月)では 49.5%であった。視聴状況についてはわからないとのことである。これは“放送”というシステムには視聴状況がわかるような機能がついていないためであり、視聴率調査を実施している民間企業のビデオリサーチ社が設置しているような装置がない限り把握できないという。

○自主制作番組について

自主番組制作は外部委託先の NPO 砂浜美術館が担当している。自主放送スケジュールは、4 時間 30 分のプログラム・パッケージを朝の 6 時から 4 回繰り返して放送し、一週間同じ番組を流している。毎週水曜日の 3 時に番組パッケージを新しい内容のものに差し替えている。深夜帯にはショップチャンネルを放映し、24 時間放送を実現している。ちなみに、質問票調査結果では、ケーブル TV に加入している住民のなかで、月に 1 回以上は自主制作番組を視聴していると答えた人は 45.1%であった。

○課題

ケーブル TV の付加価値を高めて加入率を上げるためにも、隣県の愛媛朝日テレビの放送がケーブル TV

で放映できるよう長年交渉しているとの担当者からの発言があった。結果として2015年6月1日から当該チャンネルの放送を開始している。また、番組のパッケージとして現在は4時間30分を1単位としているが、この時間を6時間まで拡張したいとの発言もあった。また、住民の視点からの映像制作のためにも「地域特派員」のような形で募集をしているのだが、なかなか応募がないとの発言もあった。

○その他

町のケーブルTVシステムでは、自然災害などの緊急時には、役場側で入力した情報を自動的にデータ放送として放送できる仕組みになっている。このため、きめ細やかな情報提供がリアルタイムに近い状態で可能になっている。

6.4.2 テキスト分析

以下ではKH Coderを使ったテキスト分析の結果について記す。

○頻出語

KH Coderの頻出語計算機能を使用して、名詞・サ変名詞・登録語において出現回数の多い語の上位15をまとめたのが下表である。

表. 黒潮町ケーブルTV担当者発言における名詞・サ変名詞・未知語の抽出語(上位15)

順位	名詞	出現回数	サ変名詞	出現回数	登録語	出現回数
1	情報	37	放送	62	FM	18
2	行政	26	サービス	20	NTT	10
3	インターネット	22	告知	20	Wi-Fi	10
4	自分	22	設定	17	IP	7
5	テレビ	20	防災	17	STNet	7
6	事業	19	携帯	16	クラウド	5
7	役場	18	通信	15	トランジット	5
8	インフラ	17	利用	14	ADSL	3
9	災害	17	話	11	IWK	3
10	無線	17	管理	10	NHK	3
11	有線	17	意味	9	UPS	3
12	ケーブル	15	契約	9	アンサー	3
13	地域	15	制作	9	グルーピング	3
14	一般	13	展開	9	デジ	3
15	番組	13	避難	9	デジアナ	3

名詞については「情報」「行政」「インターネット」「自分」「テレビ」が20回以上出現していて、サ変名詞では「放送」「サービス」「告知」が同じく20回以上出現している。ケーブルTVが担っている機能・サービスを端的に表す語であることがわかる。

○共起ネットワーク分析

KH Coder を使用して、共起ネットワーク分析を実施した。ここでの条件としては、最小出現数8の名詞、サ変名詞、登録語を対象としている。分析結果は右図のとおりである。

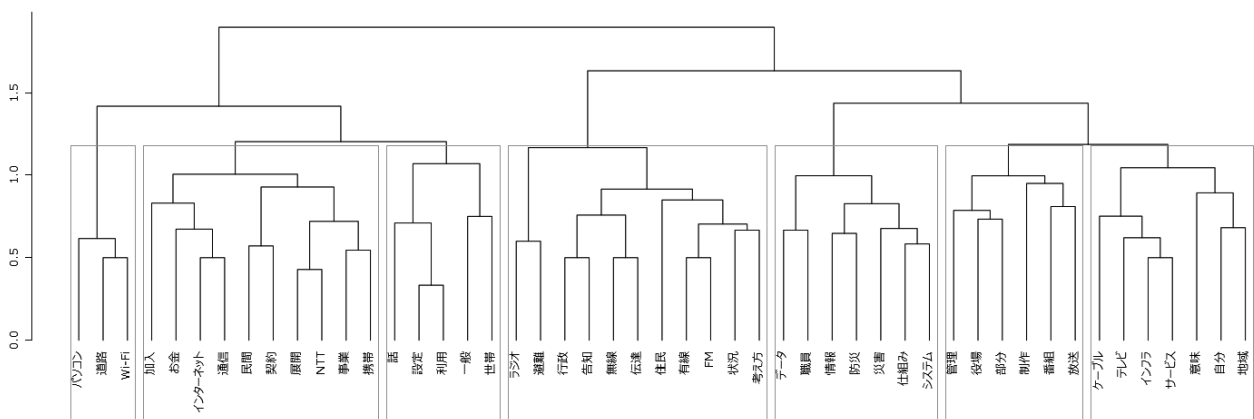
最左上の「放送」「ケーブル」「テレビ」「役場」のサブグラフは、まさにケーブルTV に関する発言のかたまりといえる。その横の多くの語がつながっているサブグラフは、町の光ケーブル網のインフラに関する発言であることがわかる。左下の「避難」「ラジオ」が「FM」とつながっているのは、行政は配布している告知端末がFM波を使っている、避難を呼びかけたりするという災害時利用についての発言を示している。さらに最下のサブグラフが、まさに防災・災害情報を住民へ流す仕組みの説明に対応しているのがわかる。

一方、右端の離れ小島になっている「Wi-Fi」「パソコン」「道路」とは、町の光ケーブル網が情報の「道路」となっているという「例え話」の発言に対応している。

インタビュー全体としては、町全体に敷設した光ケーブル網インフラと、その活用としてのケーブルTV、インターネット接続サービス、さらに災害情報のための告知端末やその他の仕組みという内容に対応しているのがわかる。

○階層クラスター分析

上の共起ネットワーク分析結果を確認するため、階層クラスター分析(条件は上と同じ)を実施した。結果は下図のとおりに7つのクラスターを抽出した。



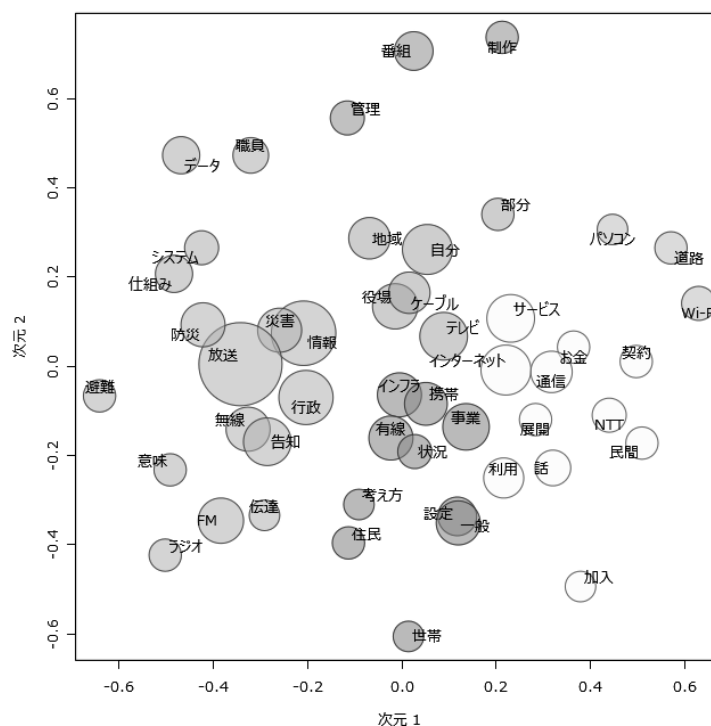
最左の第1クラスターは、光ケーブル網が「情報の道路」との発言に対応しているため、「情報ハイウェイ・クラスター」とする。次の第2クラスターは、インフラ整備に関わる発言における語と考えられるため「情報インフラ・クラスター」とする。左から3番目の第3クラスターは、各戸への接続工事などのサービスに関わる語のため「世帯サービス・クラスター」とする。次の第4クラスターは、告知端末に関わる語のまとまりであるため、「告知端末クラスター」とする。右から3番目の第5クラスターは、防災や災害の情報に関わる語のまとまりであるため「災害情報システム・クラスター」とする。第6クラスターはケーブルTVに関わる語のため「ケーブルTVクラス

ター」とする。最右の第7クラスターは担当者の業務範囲に関わる語のため「情報業務クラスター」とする。

○多次元尺度構成法

右図は、多次元尺度構成法(MDS)を用いた分析結果を2次元の散布図として表現したものである。ここでの条件は、名詞・サ変名詞・登録語で最小出現数8の語が対象となっている。

対象語が多い散布図となっているが、上の分析結果と同様の傾向が見て取れる。



6.5 考察

広報誌担当者へのインタビューにおいて共通していたのは、一人体制であり、行政からの「お知らせ」が中心コンテンツである点であった。また、担当者が雑誌記者のように小まめに取材をするというよりも、イベント主催者や関係部署からの記事を集めて掲載記事を取捨選択して編集する過程も共通するものであった。

しかしながら、黒潮町では担当者がレイアウト作成といった編集機能まで担当するのに対し、奈半利町では(株)高知新聞総合印刷に編集から印刷、発送までを委託しているという作業分担の形態の違いが見られた。

住民からのフィードバックという点では、両町ともマンパワーの制約があつてか、積極的な取り組みまではなかった。しかしながら住民から不満や要望の声もあがっているわけではなく、住民側も広報誌を行政からののお知らせとして認識し、貴重な情報源として活用しているのではないかと推測される。町役場も住民からの声を聞かないわけではなく、要望があれば対応する姿勢であった。黒潮町では有料広告という枠も準備しており、住民の発言する機会は担保されていると考える。

KH Coder によるテキスト分析の結果を二町間で比較してみると、頻出語においては、名詞で「ページ」「記事」「役場」「ホームページ」「自分」が、サ変名詞で「広報」「お知らせ」「担当」「印刷」「配布」が共通して出現回数の多い語になっていた。広報誌の基本的な内容に関わる語の出現回数が多いことが確認できる。また、階層クラスター分析結果においても、記事を集める作業である「取材クラスター」(黒潮町)と「記事依頼クラスター」(奈半利町)とでは同様の仕事をしているし、広報誌作成において取り組むべき作業に対応したクラスターが形成されているのがわかる。

共起ネットワーク図を比較してみると、「広報」や「お知らせ」の円が大きい点は共通しているが、直接つながっている語には二町間の作業工程の差が表れている。黒潮町では「お知らせ」を住民から直接募集していないという文脈でつながっているが、奈半利町では団体からのお知らせを収集している文脈でつながっている。「広報」という語においても、黒潮町では「行政」「情報」とつながり、行政情報の提供という広報誌の位置づけとつながっているが、奈半利町での「広報」は広報誌に掲載する「記事」「内容」の文脈でつながっている。また、黒潮町では誌面のレイアウトまで担当者が行っているため、「誌面」の語が登場しているが、奈半利町ではむしろ「イベント」の記事がルーティンとして重要であることが見えてくる。

黒潮町のケーブル TV の特徴の一つが公設公営である。黒潮町は情報通信基盤としての光ケーブル網を

町が自前で整備し、ケーブル TV とインターネット接続事業も自前で運営するという公設公営という体制をとっている。この取り組みは負担も大きいようだが、災害情報発信等においては複合メリットが大きいことがわかった。また、町内ブロードバンド網を通じた全戸への告知端末設置を目指し、役場からの防災コミュニケーションの強化を目指していた。インターネット回線を使用して役場職員が端末に入力した情報がリアルタイムでケーブル TV の文字放送として流すことができるなどは、迅速な情報発信として非常に有益であろう。

黒潮町ケーブル TV では自主放送チャンネルを放映していて、番組制作については NPO 法人に委託している。ケーブル TV の視聴率などは測定する方法がないため把握していないという。筆者の実施した質問票調査によれば、町議会中継や町の行事・イベントの番組が人気のようである。やはり地元住民が映し出されるコンテンツは人気があるということはインタビューにおいても指摘されていた。この点からも、住民の視点からの映像作品のニーズの潜在的な高さなどは認識していて、地域特派員の募集・育成などにも関心はもっていた様子であった。ただし、担当者自身の業務負担からも、現状から新しい取り組みをすることは、なかなか難しいと感じた。コンテンツの充実という点では、財政的にも人材面でも大きな課題を抱えている現状が見えてきた。

参考文献

樋口耕一(2014)『社会調査のための計量テキスト分析』ナカニシヤ出版

7. 結語

本調査研究では、太平洋沿岸に位置する郡部コミュニティである高知県幡多郡黒潮町および同県安芸郡奈半利町の二つの町を対象とした社会調査をつうじて、地域コミュニケーションの実態および防災準備や防災コミュニケーションの実態の把握を目的とした。さらに、これらの実態の分析結果から得られた知見をもとに、地域コミュニケーション・モデルを提言することまでを目指した研究であった。

7.1 分析結果より

地域コミュニケーションの現状については、右図のような結果が得られた。図はマス・メディア(テレビ・新聞)、局所的メディア(広報誌・掲示板等)、クチコミ、ウェブに整理した場合の地元情報入手経路の利用度を示したものである。地元情報に関する地域コミュニケーションの特性としては、広報誌の利用が非常に高く、クチコミ、掲示板等、新聞についてもよく利用されている。一方、ウェブはほとんど利用されておらず、これまでの情報環境整備の遅れやインターネット上に地元情報が少ないことなどが背景にあると推測される。

その他にも、本調査研究における分析結果より、地域コミュニケーションに関する以下の知見が得られた。

○社会情報の入手経路について

社会全般に関わる社会情報については従来のテレビや新聞といったマス・メディアが多く使用されていた。

○地元情報の入手経路について

地元の情報については従来からの局所的メディアである自治体広報誌が圧倒的に利用されている現状が明らかとなった。さらにクチコミと街角の掲示板・ポスター・チラシなども非常に重要な情報経路になっていることも確認された。

○地域コミュニケーション・チャネルにおける住民特性の傾向

地元情報の主要な情報源となっている広報誌の閲読傾向としては、女性よりも男性が、そして年齢が高くなるほど、教育歴が長くなればなるほど、よく読んでいることがわかった。街角の掲示板・ポスター・チラシについても、年齢が高くなるほどよく利用している傾向がわかった。つまり、地元情報強者は、年齢が高くて教育歴の長い男性ということになり、逆に地元情報弱者は若年層と女性ということになる傾向が見られた。

クチコミにおいては、黒潮町のみであったが、年齢が若い住民ほど利用している傾向が見られた。これは人口密度や住民の空間移動傾向の差が反映されているのかもしれない。

○防災準備における特性

本調査の対象地では、全国平均よりも「携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などの準備」「避難場所を決めている」「防災訓練への参加」などの項目で高い比率を示していて、自然災害発生直後に自身の身を守るための防災準備行動において意識が高い。しかしながら、「食料や飲料水の備蓄」「持ち出し用の衣料・毛布の準備」「家具の固定」「風呂の水の貯め置き」「耐震性のある家」などの項目では全国平均よりも低い傾向にあった。家屋の対策や物品の備蓄など、家計に負担のかかる項目において準備不足が発生しているとも考えられる。

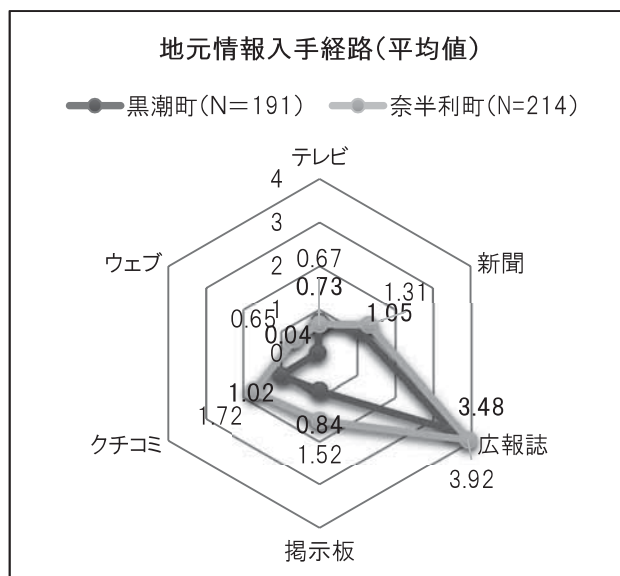
また、地元の防災情報収集においては、男性のほうが女性よりも関心が高い傾向が見られた。

○行政による積極的な関与

防災訓練や防災ワークショップ、あるいは避難カルテ作成などの項目では、黒潮町のほうが奈半利町よりも高い参加率を示していた。その理由のひとつとして、町役場による積極的な関与が挙げられよう。特に共助にあたる領域への役場の介入は重要な推進要因となっていると考えられる。

○地域広報における特性

自治体広報誌は主に行政からの情報提供が主目的となっていて、その制作においては一人担当制で運営し



ている現状があった。財政面や人材面からも大きな制約の下で現状が維持されている。

本調査の対象地において共通するのは、国の助成を得て全町域に光ケーブル網を整備した点である。つまり、この数年間で町内のブロードバンド環境が整い、これらの情報通信基盤の利活用についてはこれから、という状況にある。

7.2 検討すべき課題

これまでの本調査分析結果から有益な知見が得られたと考える。しかしながら、政策提言となるレベルでの地域コミュニケーション・モデルの開発・提示までには至っていない。本項では、得られた知見から導き出した検討すべき課題についていくつか指摘するに留めたい。

○地域コミュニケーション・チャンネルに対して

基本的には、現状の改善と新規開拓が、状況を変えるための戦略であると考ええる。

既存のコミュニケーション・チャンネルにおいては、クチコミによる拡散効果を狙い、“つきあい”の多い社会ネットワークを保持している住民へ積極的に情報を提供するなどは検討してもよいと考える。また、住民の社会ネットワークの拡張をめざして、住民の集まる様々な機会を創出していくことについても検討に値しよう。

さらに、地域コミュニケーションの中心チャンネルとなっている広報誌、掲示板等、クチコミ、新聞とは異なる新たなチャンネル開拓についても検討する余地があろう。

○防災準備行動に対して

防災情報強者である年齢の高い男性を、地元の防災活動へ積極的に動員することも検討課題となろう。一方で、防災情報弱者である若年層や女性に対する地元情報コミュニケーション・チャンネルについて重点的に検討することも必要であると考ええる。

○地域広報に対して

地元情報の中心的な情報源である自治体広報誌についても改善の余地があろう。これは掲示板・ポスター・チラシについても同様であろう。一つの方向性としては、外部機関の活用や地元住民の積極的参加といった方向性について模索してよいであろう。

7.3 今後に向けて

本調査結果においては、対象地におけるインターネット利用やケータイ利用の比率が低い状況にあり、特に地元情報収集においてはほとんど活用されていない現状であった。一方で、対象となった二町とも、国の助成を受けて全町域において光ケーブル網を敷設し、ブロードバンド環境がここ数年で著しく進展した。デジタルメディアは、アナログメディアに比べて情報伝達費用が明らかに安価になる。またテキスト、音声、映像など多様な情報形態を一括処理できるため表現力の向上が期待でき、さらに大容量の情報を安価に保管できるため地元情報のアーカイブ化もやり易い。デジタル情報環境の整備に伴い、デジタル・コミュニケーションの有効活用について検討を始めるのも無駄にはならないであろう。既に『広報なほり』はスマートフォン・アプリの「マチイロ」に対応し、スマートフォンやタブレット端末でどこからでも閲覧できるようになっている。このような取り組みやサービス普及率に注視しながら、デジタル化への展開についての検討も今後は重要となろう。ただし、安易に都市型の情報提供サービスを検討するのではなく、あくまでも地元の状況に沿ったコミュニケーション・チャンネルを模索していくことこそが有意義であると考ええる。

本調査研究では、対象地における地域コミュニケーションの全貌を明らかにすることを目指したが、様々な制約のため、補足できたデータの範囲は限定的であった。特に地域情報発信者として行政のみに限定されたことは、地域に流通する情報コンテンツの発信面については十分に解明できなかったと考える。また、クチコミにおける社会ネットワークの重要性は把握できたが、地域住民の社会ネットワークの把握という点においても十分ではなく、調査方法も含めて課題が残ったと考えている。住民の社会ネットワークの特性と地域コミュニケーションや防災準備行動との関連性について、今後詳細な分析を進めて、論文等で公表していきたい。

【付 録】

付録 A 「地域コミュニケーション調査 調査票」(黒潮町編)および単純集計A-1

付録 B 「地域コミュニケーション調査 調査票」(奈半利町編)および単純集計A-34

地域コミュニケーション調査 調査票

(2014 (平成 26) 年 11 月～12 月)

この調査票は、沿岸郡部コミュニティ住民の日常的な情報行動をあきらかにするためにおこなうものです。対象者は、黒潮町におすまいのかたのなかからくじびきの方法で選ばせていただきました。皆さんの日頃のおつきあいや会話などについておききしています。この調査結果は、防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発・提言に役立てていく予定です。

お時間をとらせて申し訳ありませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。

研究代表 高知大学人文学部准教授 遠山茂樹

ご記入上のお願い

- ・ あなたご自身がお答えください。
- ・ ご記入は鉛筆または黒・青のボールペンでお願いいたします。
- ・ 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は (→) などの指示にそってお願いいたします。
- ・ お答えは、あてはまる回答についている数字を○で囲んでいただく場合と、回答欄に数字をご記入いただくものがあります。「その他」にあてはまる場合は、その数字を○で囲み、() の中に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 「○は1つだけ」という場合には1つだけ、「○はいくつでも」という場合にはいくつでも○印をつけてください。
- ・ お答えになりにくい質問には無理にご回答いただかなくてもかまいません。
- ・ ご回答は統計処理され、決して個人名が出るようなことはありません。また、プライバシーにかんする情報はインターネット等から切り離して管理し、調査終了後、責任をもって破棄しますので、安心してご回答ください。
- ・ ご回答いただきました調査票は、次回調査員がお伺いしたときに返却ください。次回の訪問予定日は12月13日(土)もしくは12月14日(日)です。
- ・ なお、上の両日で調査員が訪問できなかった場合は、別の日程で質問票の回収にお伺いすることもありますので、ご了承ください。
- ・ 調査に関するご質問は、下記の電話番号または電子メールにてお問い合わせください。

※調査に関するお問い合わせ

電話&FAX : 088-844-8183 (高知大学人文学部遠山研究室)

※月曜日～金曜日 : 10 : 00～17 : 00

E-MAIL: s-toyama@kochi-u.ac.jp

第1部 あなたについておうかがいします。

問1 (Q01AGE) あなたの年齢をご記入ください。(N=209)

満 歳 (平均年齢：59.8 歳、SD=14.34)

問2 (Q02SEX) あなたの性別にあてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=209)

1 男 2 女 (男：92 名 (44.0%)、女：117 名 (56.0%))

問3 (Q03YRLV) あなたは、現在と同じ市町村に何年くらいお住まいですか。(N=209)

約 年 (平均年：39.7 年、SD=20.90)

問4 (Q04STTLV) あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(親など家族名義の場合は自己所有としてお答えください) (N=209)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1 持ち家（一戸建て・集合住宅・分譲マンション） | (196 (93.8%)) |
| 2 賃貸住宅（一戸建て・集合住宅・賃貸マンション） | (10 (4.8%)) |
| 3 公団・県営・町営住宅 | (1 (0.5%)) |
| 4 官舎・社宅・寮（借上げ社宅を含む） | (0 (0.0%)) |
| 5 その他（具体的に) | (1 (0.5%)) |
| 〔無回答〕 | (1 (0.5%)) |

問5 あなたのご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=209)

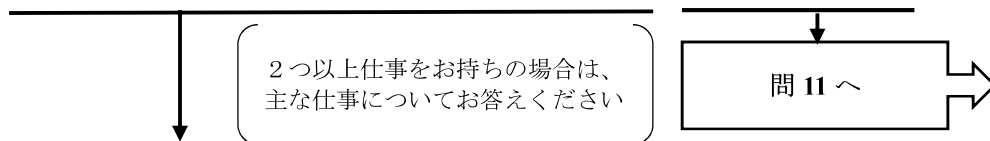
	お父さま (Q05FTLV)	回答数	お母さま (Q05MTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	19 (9.1%)	1	37 (17.7%)
あなたと同じ小学校区	2	2 (1.0%)	2	8 (3.8%)
あなたと同じ市町村内	3	8 (3.8%)	3	16 (7.7%)
高知県内	4	13 (6.2%)	4	25 (12.0%)
高知県以外の四国地方内（愛媛県・香川県・徳島県）	5	1 (0.5%)	5	1 (0.5%)
上記以外の地域	6	0 (0.0%)	6	1 (0.5%)
いない（死亡など）	7	142 (67.9%)	7	113 (54.1%)
わからない	8	0 (0.0%)	8	0 (0.0%)
〔無回答〕		24 (11.5%)		8 (3.8%)

問6 (Q06EDU) あなたが最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。(N=209)

1 中学校（旧制小学校）	51 (24.4%)	4 専門学校	27 (12.9%)
2 高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	91 (43.5%)	5 大学（旧制高校・大学）	18 (8.6%)
3 短大・高専	20 (9.6%)	6 大学院	1 (0.5%)
		7 〔無回答〕	1 (0.5%)

問 7 (Q07WORK) あなたは、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=209)

1	2	3	〔無回答〕
ついている 120 (57.4%)	ついているが休職中 0 (0.0%)	ついていない 82 (39.2%)	7 (3.3%)



問 8 (Q08OCCU) その仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=120)

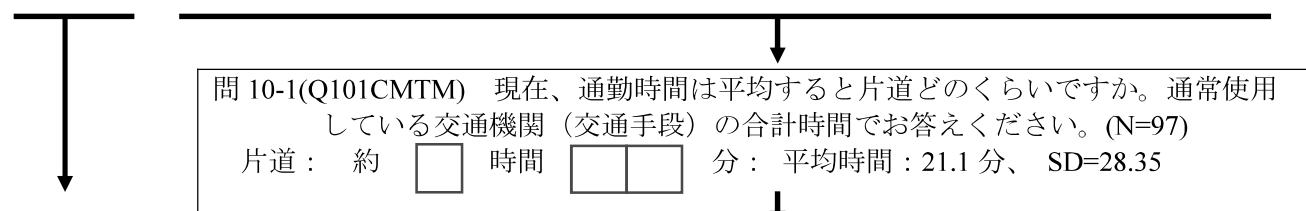
1 自営業主・自由業・家族従業員	27 (22.5%)	5 パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	33 (27.5%)
2 経営者・役員	8 (6.7%)	6 学生	0 (0.0%)
3 正規の職員・社員	32 (26.7%)	7 その他（具体的に ）	11 (9.2%)
4 公務員	9 (7.5%)		

問 9 (Q09TYPJB) その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=120)

1 上級管理職（経営者・役員・部長など）	5 (4.2%)	7 運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	4 (3.3%)
2 中間管理職（課長・店長など）	5 (4.2%)	8 保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	1 (0.8%)
3 専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	14 (11.7%)	9 製造・建設（工業作業・建築作業員など）	14 (11.7%)
4 事務（総務・経理・企画・営業事務など）	10 (8.3%)	10 農林漁業・鉱業	28 (23.3%)
5 販売（小売店主・店員・外交員など）	11 (9.2%)	11 その他（具体的に ）	18 (15.0%)
6 サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	7 (5.8%)	〔無回答〕	3 (2.5%)

問 10 (Q10PLWK) あなたが主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=120)

1	2	3	4	5	〔無回答〕
自宅 12 (10.0%)	お住まいと同じ 小学校区内 11 (9.2%)	お住まいと同じ 市町村内 60 (50.0%)	高知県内 34 (28.3%)	その他の都道府県 （具体的に ） 1 (0.8%)	2 (1.7%)



問 11 (Q11INCM) あなたの昨年 1 年間（1 月～12 月）の収入（税込み）は、次のうちどれに近いですか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=209)

1 なし：27 (12.9%)	5 500～700 万円未満：8 (3.8%)	9 1300 万円以上：1 (0.5%)
2 100 万円未満：58 (27.5%)	6 700～900 万円未満：2 (0.9%)	10 わからない：6 (2.8%)
3 100～300 万円未満：67 (31.8%)	7 900～1100 万円未満：2 (0.9%)	11 答えたくない：6 (2.8%)
4 300～500 万円未満：21 (10.0%)	8 1100～1300 万円未満：0 (0.0%)	〔無回答〕：12 (5.7%)

問 12 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの 1 つに○ をつけてください。
(N=209)

兄(Q12ELBR) [N=75] : 平均人数=1.31 人、SD=0.59 1 人 (56; 26.8%)、2 人 (16; 7.7%)、3 人 (2; 1.0%)、4 人 (1; 0.5%)
姉(Q12ELST) [N=80] : 平均人数=1.48 人、SD=0.84 1 人 (54; 25.8%)、2 人 (17; 8.1%)、3 人 (8; 3.8%)、6 人 (1; 0.5%)
弟(Q12YGBR) [N=77] : 平均人数=1.39 人、SD=0.71 1 人 (54; 25.8%)、2 人 (18; 8.6%)、3 人 (4; 1.9%)、5 人 (1; 0.5%)
妹(Q12YGST) [N=81] : 平均人数=1.23 人、SD=0.51 1 人 (64; 30.6%)、2 人 (16; 7.7%)、4 人 (1; 1.2%)

第 2 部 あなたのご結婚・配偶者・ご家族についておうかがいします。

※結婚には、婚姻届を出していない関係も含みます。
※配偶者とは、あなたのご主人、パートナーの方などをさします。

問 13(Q13SPSE) あなたには、現在、配偶者の方がいますか。 (N=209)

1	2	3	[無回答]
配偶者がいる	いない (離別・死別)	いない (結婚したことがない)	
163 (78.0%)	24 (11.5%)	21 (10.0%)	1 (0.5%)



問 24 へ

問 14(Q14SPAG) 配偶者の方の年齢をご記入ください。

満 歳 平均年齢 : 66.5 歳、SD=66.07 (N=163)

問 15(Q15SPED) あなたの配偶者が最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。
(N=163)

1	中学校 (旧制小学校)	43 (26.4%)	5	大学 (旧制高校・大学)	11 (6.7%)
2	高校 (旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	83 (50.9%)	6	大学院	0 (0.0%)
3	短大・高専	10 (6.1%)	7	わからない	1 (0.6%)
4	専門学校	14 (8.6%)		無回答	1 (0.6%)

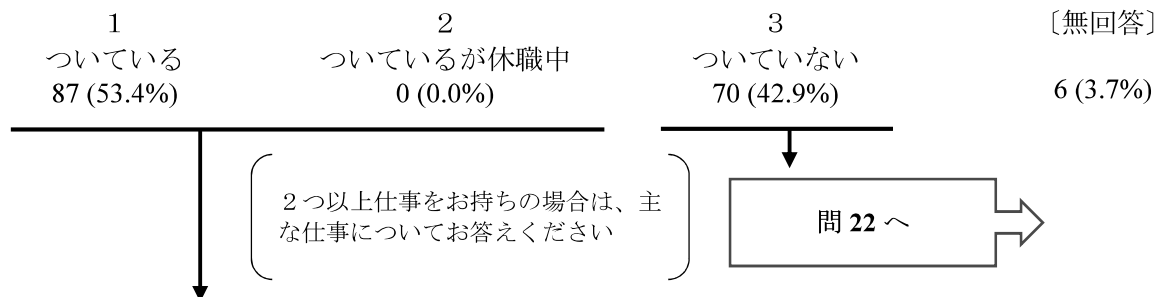
問 16(Q16SPLV) 配偶者の方は、現在、あなたといっしょにお住まいですか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。 (N=163)

1	2	3	[無回答]
いっしょに住んでいる	別居 (単身赴任など)	その他 (具体的に)	
150 (92.0%)	5 (3.1%)	0 (0.0%)	8 (4.9%)

問 17 配偶者の方のご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=163)

	お義父さま (Q17SPFTLV)	回答数	お義母さま (Q17SPMTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	13 件 (8.0%)	1	15 件 (9.2%)
あなたと同じ小学校区	2	6 件 (3.7%)	2	6 件 (3.7%)
あなたと同じ市町村内	3	15 件 (9.2%)	3	23 件 (14.1%)
高知県内	4	6 件 (3.7%)	4	15 件 (9.2%)
高知県以外の四国地方内 (愛媛県・香川県・徳島県)	5	1 件 (0.6%)	5	1 件 (0.6%)
上記以外の地域	6	2 件 (1.2%)	6	4 件 (2.5%)
いない (死亡など)	7	102 件 (62.6%)	7	86 件 (52.8%)
わからない	8	0 件 (0.0%)	8	0 件 (0.0%)
〔無回答〕		18 件 (11.0%)		13 件 (8.0%)
合計		163 件 (100.0%)		163 件 (100.0%)

問 18(Q18SPWK) 配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=163)



問 19(Q19SPOC) 配偶者の方の仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=87)

1	自営業主・自由業・家族従業員	21 (24.1%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	21 (24.1%)
2	経営者・役員	4 (4.6%)	6	学生	0 (0.0%)
3	正規の職員・社員	24 (28.7%)	7	その他 (具 88 体的に)	8 (9.2%)
4	公務員	8 (9.2%)		〔無回答〕	1 (1.1%)

問 20(Q20SPJB) 配偶者の方の仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=87)

1	上級管理職 (経営者・役員・部長など)	6 (6.9%)	7	運輸・通信 (運転手・船員・通信員・郵便外務など)	5 (5.7%)
2	中間管理職 (課長・店長など)	4 (4.6%)	8	保安・警備 (守衛・警官・自衛官など)	2 (2.3%)
3	専門・技術 (技術者・教員・弁護士など)	4 (4.6%)	9	製造・建設 (工業作業・建築作業員など)	13 (14.9%)
4	事務 (総務・経理・企画・営業事務など)	5 (5.7%)	10	農林漁業・鉱業	18 (20.7%)
5	販売 (小売店主・店員・外交員など)	9 (10.3%)	11	その他 (具体的)	14 (16.1%)
6	サービス (理美容・調理・家事サービスなど)	5 (5.7%)		〔無回答〕	2 (2.3%)

問 21(Q21PLWP) 配偶者の方が主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=87)

1	2	3	4	5	〔無回答〕
自宅 10 (11.5%)	お住まいと同じ 小学校区内 13 (14.9%)	お住まいと同じ 市町村内 37 (42.5%)	高知県内 22 (25.3%)	その他の都道府県 (具体的に) 3 (3.4%)	2 (2.3%)

問 21-1(Q211SPCM) 配偶者の方の通勤時間は平均すると片道どのくらいですか。通常
使用している交通機関（交通手段）の合計時間でお答えください。(N=67)

片道： 約 時間 分 : 平均時間=22.6 分、SD=24.11

問 22(Q22SPIN) 配偶者の方の昨年 1 年間（1 月～12 月）の収入（税込み）は、次のうちどれに近いですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=163)

1 なし：20 (12.3%)	5 500～700 万円未満：7 (4.3%)	9 1300 万円以上：0 (0.0%)
2 100 万円未満：32 (19.6%)	6 700～900 万円未満：1 (0.6%)	10 わからない：6 (3.7%)
3 100～300 万円未満：56 (34.4%)	7 900～1100 万円未満：0 (0.0%)	11 答えたくない：5 (3.1%)
4 300～500 万円未満：20 (12.3%)	8 1100～1300 万円未満：1 (0.6%)	〔無回答〕：15 (9.2%)

問 23 配偶者の方の兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=163)

兄(Q231ELBR) [N=57]：平均人数=1.44 人、SD=0.66

1 人 (37; 64.9%)、2 人 (15; 26.3%)、3 人 (5; 8.8%)

姉(Q12ELST) [N=62]：平均人数=1.44 人、SD=0.69

1 人 (42; 67.7%)、2 人 (13; 21.0%)、3 人 (7; 11.3%)

弟(Q12YGBR) [N=56]：平均人数=1.34 人、SD=0.75

1 人 (44; 78.6%)、2 人 (7; 12.5%)、3 人 (3; 5.4%)、4 人 (2; 3.6%)

妹(Q12YGST) [N=53]：平均人数=1.49 人、SD=0.70

1 人 (32; 60.4%)、2 人 (17; 32.1%)、3 人 (3; 5.7%)、4 人 (1; 1.9%)

問 24(Q24CHLD) あなたには、現在、子どもはいますか。あてはまるものいずれか 1 つに○をつけてください。(N=209)

1	2	〔無回答〕
はい、います 170 (81.3%)	いいえ、いません 31 (14.8%)	8 (3.8%)

問 27 へ

問 25(Q25CHNO) あなたの子どもの人数をご記入ください。(N=170)

人： 平均人数=2.3 人、SD=0.72

1 人 (19; 11.2%)、2 人 (89; 52.4%)、3 人 (56; 32.9%)、4 人 (6; 3.5%)

問 26 あなたの子どもについて、年長者から順に 4 人目までのお子さまについて、それぞれあてはまるもの 1 つに○をつけてください。お子さまの年齢につきましても各自の満年齢をご記入ください。もし、5 人以上お子さまがいる場合でも、4 人目までの記入で結構です。

	一人目 (N=170)	二人目 (N=151)	三人目 (N=62)	四人目 (N=6)
年齢	(Q261AGE) 満 () 歳 平均年齢=33.9 歳 SD=13.11	(Q262AGE) 満 () 歳 平均年齢=31.2 歳 SD=12.59	(Q263AGE) 満 () 歳 平均年齢=30.9 歳 SD=11.30	(Q264AGE) 満 () 歳 平均年齢=17.0 歳 SD=14.47
性別	(Q261SX) 1 男: 80 (47.1%) 2 女: 83 (48.8%) 無回答: 7 (4.1%)	(Q262SX) 1 男: 75 (49.7%) 2 女: 66 (43.7%) 無回答: 10 (6.6%)	(Q263SX) 1 男: 30 (48.4%) 2 女: 28 (45.2%) 無回答: 4 (6.5%)	(Q264SX) 1 男: 2 (33.3%) 2 女: 4 (66.7%) 無回答: 0 (0.0%)
住まい	(Q261LV) 1 同居、同じ敷地内 47 (27.6%) 2 別居、同じ町内 13 (7.6%) 3 別居、高知県内 58 (34.1%) 4 別居、高知県外 42 (24.1%) 無回答: 11 (6.5%)	(Q262LV) 1 同居、同じ敷地内 42 (27.8%) 2 別居、同じ町内 13 (8.6%) 3 別居、高知県内 43 (28.5%) 4 別居、高知県外 41 (27.2%) 無回答: 12 (7.9%)	(Q263LV) 1 同居、同じ敷地内 14 (22.6%) 2 別居、同じ町内 4 (6.5%) 3 別居、高知県内 14 (22.6%) 4 別居、高知県外 24 (38.7%) 無回答: 6 (9.7%)	(Q264LV) 1 同居、同じ敷地内 4 (66.7%) 2 別居、同じ町内 0 (0.0%) 3 別居、高知県内 0 (0.0%) 4 別居、高知県外 1 (16.7%) 無回答: 1 (16.7%)
最後に 通った 学校	(Q261EDU) 1 未就学児 3 (1.8%) 2 小学校 7 (4.1%) 3 中学校 6 (3.5%) 4 高等学校 70 (41.2%) 5 短大・高専 19 (11.2%) 6 専門学校 27 (15.9%) 7 大学 29 (17.1%) 8 大学院 2 (1.2%) 無回答: 7 (4.1%)	(Q262EDU) 1 未就学児 6 (4.0%) 2 小学校 7 (4.6%) 3 中学校 9 (6.0%) 4 高等学校 58 (38.4%) 5 短大・高専 15 (9.9%) 6 専門学校 24 (15.9%) 7 大学 23 (15.2%) 8 大学院 1 (0.7%) 無回答: 8 (5.3%)	(Q263EDU) 1 未就学児 3 (4.8%) 2 小学校 3 (4.8%) 3 中学校 0 (0.0%) 4 高等学校 17 (27.4%) 5 短大・高専 5 (8.1%) 6 専門学校 15 (24.2%) 7 大学 16 (25.8%) 8 大学院 0 (0.0%) 無回答: 3 (4.8%)	(Q264EDU) 1 未就学児 2 (33.3%) 2 小学校 0 (0.0%) 3 中学校 0 (0.0%) 4 高等学校 3 (50.0%) 5 短大・高専 0 (0.0%) 6 専門学校 1 (16.7%) 7 大学 0 (0.0%) 8 大学院 0 (0.0%) 無回答: 0 (0.0%)
仕事	(Q261JOB) 1 自営業主・ 自由業・家族 従業員 11 (6.5%) 2 経営者・役員 1 (0.6%) 3 正規の職員・ 社員 68 (40.0%) 4 公務員 17 (10.0%) 5 パート・アルバ イト・嘱託・	(Q262JOB) 1 自営業主・ 自由業・家族 従業員 10 (6.6%) 2 経営者・役員 3 (2.0%) 3 正規の職員・ 社員 61 (40.4%) 4 公務員 12 (7.9%) 5 パート・アルバ イト・嘱託・	(Q263JOB) 1 自営業主・ 自由業・家族 従業員 2 (3.2%) 2 経営者・役員 2 (3.2%) 3 正規の職員・ 社員 31 (50.0%) 4 公務員 6 (9.7%) 5 パート・アルバ イト・嘱託・	(Q264JOB) 1 自営業主・ 自由業・家族 従業員 0 (0.0%) 2 経営者・役員 0 (0.0%) 3 正規の職員・ 社員 0 (0.0%) 4 公務員 0 (0.0%) 5 パート・アルバ イト・嘱託・

	臨時・派遣 18 (10.6%)	臨時・派遣 18 (11.9%)	臨時・派遣 4 (6.5%)	臨時・派遣 3 (50.0%)
6	学生 28 (16.5%)	6 学生 25 (16.6%)	6 学生 7 (11.3%)	6 学生 1 (16.7%)
7	仕事をしてい ない (専業主婦 ・退職者など) 15 (8.8%)	7 仕事をしてい ない (専業主婦 ・退職者など) 4 (2.6%)	7 仕事をしてい ない (専業主婦 ・退職者など) 4 (6.5%)	7 仕事をしてい ない (専業主婦 ・退職者など) 0 (0.0%)
8	わからない 1 (0.6%)	8 わからない 3 (2.0%)	8 わからない 0 (0.0%)	8 わからない 0 (0.0%)
	[未就学児]: 3 (1.8%) 無回答: 8 (4.7%)	[未就学児]: 6 (4.0%) 無回答: 9 (6.0%)	[未就学児]: 3 (4.8%) 無回答: 3 (4.8%)	[未就学児]: 2 (33.3%) 無回答: 0 (0.0%)

第3部 あなたが日ごろから親しくしている人たちについておうかがいします。

問 27(Q27KIN) あなたの家族（配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹）以外で、日常的に交流のある親せきは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=191)

人：平均人数=7.7 人、SD=6.55

問 28(Q28WKFR) あなたの仕事の関係上で、プライベートでも親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=174)

人：平均人数=6.7 人、SD=7.45

問 29(Q29CHFR) あなたの子どもたちを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=163)

人：平均人数=4.6 人、SD=5.22

問 30(Q30LCFR) 地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、あなたが現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=178)

人：平均人数=6.4 人、SD=6.96

問 31(Q31LCAC) あなたは、次のような活動に参加していますか。過去 1 年間のあいだに参加されたことがあるものすべてに○をつけてください。いずれの活動にも参加していない方は、「8」に○をつけてください。(N=205) [複数回答]

		参加したことがある
1	自治会・町内会・婦人会などの地域活動	94 (45.0%)
2	幼稚園・保育園・学童クラブの父母会、学校の PTA の活動	20 (9.6%)
3	子育てに関連したグループでの活動	5 (2.4%)
4	趣味やスポーツのグループでの活動	58 (27.8%)
5	ボランティア活動	45 (21.5%)
6	市民運動・消費者運動のグループでの活動	6 (2.9%)
7	宗教の団体や教会での活動	10 (4.8%)
8	いずれの活動にも参加していない	64 (30.6%)

第4部 あなたが普段よく話す方たちで、重要なことを話したり、悩みを相談する方たちについてお伺いします。

問 32(Q32INMT) あなたがよく話をする人たちについておうかがいします。あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=186)

人：平均人数=3.5 人、SD=2.36

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんとします。ただし、A～Dとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消えていただいて構いません。)

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん

問 33 あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべたAさん～Dさんについて、あなたとその方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

	Aさん (Q33ARK) (N=174)	Bさん (Q33BRL) (N=152)	Cさん (Q33CRL) (N=120)	Dさん (Q33DRL) (N=89)	全体 (N=535)
配偶者（夫または妻）	67 (38.5%)	4 (2.6%)	2 (1.7%)	4 (4.5%)	77 (14.4%)
親または子ども	16 (9.2%)	38 (25.0%)	14 (11.7%)	4 (4.5%)	72 (13.5%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	21 (12.1%)	23 (15.1%)	29 (24.2%)	10 (11.2%)	83 (15.5%)
職場の上司または部下	3 (1.7%)	5 (3.3%)	2 (1.7%)	3 (3.4%)	13 (2.4%)
職場の同僚（上司・部下以外）	10 (5.7%)	9 (5.9%)	5 (4.2%)	3 (3.4%)	27 (5.0%)
その他の仕事関係	2 (1.1%)	1 (0.7%)	3 (2.5%)	1 (1.1%)	7 (1.3%)
同じ組織や団体に加入している人	1 (0.6%)	5 (3.3%)	3 (2.5%)	3 (3.4%)	12 (2.2%)
近所の人	7 (4.0%)	7 (4.6%)	15 (12.5%)	14 (15.7%)	43 (8.0%)
友人	38 (21.8%)	46 (30.3%)	35 (29.2%)	35 (39.3%)	154 (28.8%)
その他	2 (1.1%)	2 (1.3%)	2 (1.7%)	3 (3.4%)	9 (1.7%)
無回答	7 (4.0%)	12 (7.9%)	10 (8.3%)	9 (10.1%)	38 (7.1%)

問 34 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Aさん (Q34ASX) (N=174)	Bさん (Q34BSX) (N=152)	Cさん (Q34CSX) (N=120)	Dさん (Q34SDX) (N=89)	全体 (N=535)
男性	66 (37.9%)	53 (34.9%)	37 (30.8%)	26 (29.2%)	182 (34.0%)
女性	97 (55.7%)	87 (57.2%)	74 (61.7%)	51 (57.3%)	309 (57.8%)
無回答	11 (6.3%)	12 (7.9%)	9 (7.5%)	12 (13.5%)	44 (8.2%)

問 35 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	A さん (Q35AAGE) (N=166)	B さん (Q35BAGE) (N=148)	C さん (Q35CAGE) (N=117)	D さん (Q35DAGE) (N=88)	全体 (N=519)
平均年齢	59.2, SD=15.09	56.4, SD=16.08	57.6, SD=15.74	58.6, SD=16.56	57.9, SD=15.79

問 36 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	A さん (Q36AKNYR) (N=158)	B さん (Q36BKNYR) (N=139)	C さん (Q36CKNYR) (N=109)	D さん (Q36DKNYR) (N=85)	全体 (N=519)
平均年数	33.3, SD=17.17	34.1, SD=17.53	30.7, SD=19.10	29.5, SD=17.67	32.3, SD=17.84

問 37 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
AB「A さんと B さんは、知り合い ですか」(Q37KNAB) (N=152)	129 (84.9%)	15 (9.9%)	4 (2.6%)	4 (2.6%)
AC「A さんと C さんは、知り合い ですか」(Q37KNAC) (N=120)	95 (79.2%)	18 (15.0%)	3 (2.5%)	4 (3.3%)
AD「A さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNAD) (N=89)	61 (68.5%)	18 (20.2%)	5 (5.6%)	5 (5.6%)
BC「B さんと C さんは、知り合い ですか」(Q37KNBC) (N=120)	80 (66.7%)	30 (25.0%)	3 (2.5%)	7 (5.8%)
BD「B さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNBD) (N=89)	49 (55.1%)	25 (28.1%)	5 (5.6%)	10 (11.2%)
CD「C さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNCD) (N=89)	52 (58.4%)	22 (24.7%)	7 (7.9%)	8 (9.0%)

問 38 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。

	A さん (Q38ACTFR) (N=174)	B さん (Q38BCTFR) (N=152)	C さん (Q38CCTFR) (N=120)	D さん (Q38DCTFR) (N=89)	全体 (N=535)
ほとんど毎日	91 (52.3%)	36 (23.7%)	17 (14.2%)	11 (12.4%)	155 (29.0%)
週に数回	26 (14.9%)	54 (35.3%)	31 (25.8%)	24 (27.0%)	135 (25.2%)
週に 1 回程度	26 (14.9%)	27 (17.8%)	29 (24.2%)	21 (23.6%)	103 (19.3%)
月に 1 回程度	16 (9.2%)	24 (15.8%)	27 (22.5%)	20 (22.5%)	87 (16.3%)
年に数回	4 (2.3%)	6 (3.9%)	11 (9.2%)	10 (11.2%)	31 (5.8%)
無回答	11 (6.3%)	5 (3.3%)	5 (4.2%)	3 (3.4%)	24 (4.5%)

問 39 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	A さん (Q39AEDU) (N=174)	B さん (Q39BEDU) (N=152)	C さん (Q39CEDU) (N=120)	D さん (Q39DEDU) (N=89)	全体 (N=535)
中学校（旧制小学校）	42 (24.1%)	34 (22.2%)	20 (16.5%)	11 (12.4%)	107 (20.0%)
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	67 (38.5%)	63 (41.2%)	49 (40.5%)	40 (44.9%)	217 (40.6)
短大・高専	15 (8.6%)	9 (5.9%)	16 (13.2%)	9 (10.1%)	49 (9.2%)
専門学校	19 (10.9%)	16 (10.5%)	8 (6.6%)	8 (9.0%)	51 (9.5%)
大学（旧制高校・大学）	14 (8.0%)	17 (11.1%)	14 (11.6%)	9 (10.1%)	54 (10.1%)
大学院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
わからない	7 (4.0%)	9 (5.9%)	10 (8.3%)	9 (10.1%)	35 (6.5%)
無回答	10 (5.7%)	5 (3.3%)	4 (3.3%)	3 (3.4%)	22 (4.1%)

問 40 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	A さん (Q40AWRK) (N=174)	B さん (Q40BWRK) (N=152)	C さん (Q40CWRK) (N=120)	D さん (Q40DWRK) (N=89)	全体 (N=535)
自営業主・自由業・家族従業員	31 (17.8%)	28 (18.4%)	17 (14.2%)	14 (15.7%)	90 (16.8%)
経営者・役員	3 (1.7%)	1 (0.7%)	4 (3.3%)	1 (1.1%)	9 (1.7%)
正規の職員・社員	32 (18.4%)	22 (14.5%)	22 (18.3%)	13 (14.6%)	89 (16.6%)
公務員	11 (6.3%)	19 (12.5%)	15 (12.5%)	5 (5.6%)	50 (9.3%)
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	23 (13.2%)	20 (13.2%)	15 (12.5%)	13 (14.6%)	71 (13.3%)
学生	2 (1.1%)	1 (0.7%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	4 (0.7%)
仕事をしていない（専業主婦・退職者など）	57 (32.8%)	49 (32.2%)	38 (31.7%)	33 (37.1%)	177 (33.1%)
わからない	6 (3.4%)	5 (3.3%)	4 (3.3%)	4 (4.5%)	19 (3.6%)
無回答	9 (5.2%)	7 (4.6%)	4 (3.3%)	6 (6.7%)	26 (4.9%)

問 41 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの **1** つに **○** をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	A さん (Q41AJB) (N=174)	B さん (Q41BJB) (N=152)	C さん (Q41CJB) (N=120)	D さん (Q41DJB) (N=89)	全体 (N=535)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	5 (2.9%)	0 (0.0%)	5 (4.1%)	2 (2.2%)	12 (2.2%)
中間管理職（課長・店長など）	6 (3.4%)	5 (3.3%)	3 (2.5%)	2 (2.2%)	16 (3.0%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	14 (8.0%)	18 (11.8%)	14 (11.6%)	10 (11.2%)	56 (10.5%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	15 (8.6%)	15 (9.8%)	11 (9.1%)	2 (2.2%)	43 (8.0%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	15 (8.6%)	13 (8.5%)	7 (5.8%)	4 (4.5%)	39 (7.3%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	5 (2.9%)	6 (3.9%)	8 (6.6%)	6 (6.7%)	25 (4.7%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	4 (2.3%)	3 (2.0%)	2 (1.7%)	1 (1.1%)	10 (1.9%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	9 (5.2%)	4 (2.6%)	5 (4.1%)	6 (6.7%)	24 (4.5%)
農林漁業・鉱業	22 (12.6%)	19 (12.4%)	13 (10.7%)	11 (12.4%)	65 (12.1%)
わからない	7 (4.0%)	5 (3.3%)	5 (4.1%)	4 (4.5%)	21 (3.9%)
記入不要（問 41 で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	58 (33.3%)	49 (32.0%)	37 (30.6%)	32 (36.0%)	176 (32.9%)
無回答	14 (8.0%)	15 (9.8%)	11 (9.1%)	9 (10.1%)	47 (8.8%)

問 42 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	A さん (Q42AINT) (N=174)	B さん (Q42BINT) (N=152)	C さん (Q42CINT) (N=120)	D さん (Q42DINT) (N=89)	全体 (N=535)
とても親しい	132 (75.9%)	99 (65.1%)	65 (54.2%)	44 (49.4%)	340 (63.6%)
親しい	30 (17.2%)	44 (28.9%)	45 (37.5%)	35 (39.3%)	154 (28.8%)
それほど親しくない	2 (1.1%)	1 (0.7%)	4 (3.3%)	6 (6.7%)	13 (2.4%)
無回答	10 (5.7%)	8 (5.3%)	6 (5.0%)	4 (4.5%)	28 (5.2%)

問 43 その方たちについて、次のうちあてはまるもの すべてに○ をつけてください。[複数回答]

	A さん (Q43ARLS) (N=174)	B さん (Q43BRLS) (N=152)	C さん (Q43CRLS) (N=120)	D さん (Q43DRLS) (N=89)	全体 (N=535)
共通の趣味や娯楽を持っている	88 (50.6%)	73 (48.0%)	42 (35.0%)	36 (40.4%)	239 (44.7%)
最近 6 ヶ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	94 (54.0%)	83 (53.9%)	64 (53.3%)	43 (48.3%)	284 (53.1%)
まとまったお金を借りることができる	21 (12.1%)	17 (11.2%)	10 (8.3%)	5 (5.6%)	53 (9.9%)

第5部 あなたが地元・黒潮町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこどこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。

問 44(Q44LCINF) あなたが地元・黒潮町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこどこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。
(N=162)

--	--

人：平均人数=3.7 人、SD=3.51

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます（1人目の方から順に、Eさん、Fさん、Gさん、Hさんとします。ただし、E～Hとは優先順位を意味しているわけではありせん）。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。（この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。）

E さん	F さん	G さん	H さん

問 45 あなたが地元・黒潮町の詳しい情報について知りたい場合に、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべた E さん～H さんについて、あなたとそれの方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	E さん (Q45ERL) (N=152)	F さん (Q45FRL) (N=131)	G さん (Q45GRL) (N=100)	H さん (Q45HRL) (N=72)	全体 (N=455)
配偶者（夫または妻）	45 (29.6%)	1 (0.8%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	48 (10.5%)
親または子ども	11 (7.2%)	17 (13.0%)	4 (4.0%)	4 (5.6%)	36 (7.9%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	16 (10.5%)	20 (15.3%)	16 (16.0%)	12 (16.7%)	64 (14.1%)
職場の上司または部下	3 (2.0%)	4 (3.1%)	3 (3.0%)	2 (2.8%)	12 (2.6%)
職場の同僚（上司・部下以外）	9 (5.9%)	13 (9.9%)	5 (5.0%)	3 (4.2%)	30 (6.6%)
その他の仕事関係	9 (5.9%)	6 (4.6%)	6 (6.0%)	1 (1.4%)	22 (4.8%)
同じ組織や団体に加入している人	4 (2.6%)	2 (1.5%)	4 (4.0%)	3 (4.2%)	13 (2.9%)
近所の人	12 (7.9%)	26 (19.8%)	16 (16.0%)	20 (27.8%)	74 (16.3%)
友人	28 (18.4%)	30 (22.9%)	32 (32.0%)	19 (26.4%)	109 (24.0%)
その他	6 (3.9%)	1 (0.8%)	2 (2.0%)	4 (5.6%)	13 (2.9%)
無回答	9 (5.9%)	11 (8.4%)	10 (10.0%)	4 (5.6%)	34 (7.5%)

問 46 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	E さん (Q46ESX) (N=152)	F さん (Q46FSX) (N=131)	G さん (Q46GSX) (N=100)	H さん (Q46HSX) (N=72)	全体 (N=455)
男性	70 (46.1%)	50 (38.2%)	32 (32.0%)	22 (30.6%)	174 (38.2%)
女性	72 (47.4%)	69 (52.7%)	57 (57.0%)	44 (61.1%)	242 (53.2%)
無回答	10 (6.6%)	12 (9.2%)	11 (11.0%)	6 (8.3%)	39 (8.6%)

問 47 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	E さん (Q47EAGE) (N=138)	F さん (Q47FAGE) (N=117)	G さん (Q47GAGE) (N=86)	H さん (Q47HAGE) (N=64)	全体
平均年齢	59.6, SD=14.14	56.1, SD=16.01	57.4, SD=16.43	58.4, SD=18.21	58.0, SD=15.88

問 48 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	E さん (Q48EKNYR) (N=125)	F さん (Q48FKNYR) (N=109)	G さん (Q48GKNYR) (N=83)	H さん (Q48HKNYR) (N=63)	全体
平均年数	28.8, SD=17.42	24.3, SD=16.73	24.8, SD=15.96	27.0, SD=18.45	26.3, SD=17.14

問 49 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
EF「E さんと F さんは、知り合いですか」(Q49KNEF) (N=131)	107 (81.1%)	9 (6.9%)	4 (3.1%)	11 (8.4%)
EG「E さんと G さんは、知り合いですか」(Q49KNEG) (N=100)	76 (76.0%)	9 (9.0%)	3 (3.0%)	12 (12.0%)
EH「E さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNEH) (N=72)	51 (70.8%)	10 (13.9%)	4 (5.6%)	7 (9.7%)
FG「F さんと G さんは、知り合いですか」(Q49KNFG) (N=100)	67 (67.0%)	16 (16.0%)	4 (4.0%)	13 (13.0%)
FH「F さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNFH) (N=72)	44 (61.1%)	17 (23.6%)	4 (5.6%)	7 (9.7%)
GH「G さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNGH) (N=72)	47 (65.3%)	13 (18.1%)	5 (6.9%)	7 (9.7%)

問 50 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	E さん (Q50ECTFR) (N=152)	F さん (Q50FCTFR) (N=131)	G さん (Q50GCTFR) (N=100)	H さん (Q50HCTFR) (N=72)	全体 (N=455)
ほとんど毎日	74 (48.7%)	31 (23.7%)	19 (19.0%)	12 (16.7%)	136 (29.9%)
週に数回	25 (16.4%)	38 (29.0%)	28 (28.0%)	17 (23.6%)	108 (23.7%)
週に 1 回程度	18 (11.8%)	22 (16.8%)	17 (17.0%)	14 (19.4%)	71 (15.6%)
月に 1 回程度	13 (8.6%)	20 (15.3%)	17 (17.0%)	14 (19.4%)	64 (14.1%)
年に数回	4 (2.6%)	4 (3.1%)	4 (4.0%)	6 (8.3%)	18 (4.0%)
無回答	18 (11.8%)	16 (12.2%)	15 (15.0%)	9 (12.5%)	58 (12.7%)

問 51 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	E さん (Q51EEDU) (N=152)	F さん (Q51FEDU) (N=131)	G さん (Q51GEDU) (N=100)	H さん (Q51HEDU) (N=72)	全体 (N=455)
中学校（旧制小学校）	29 (19.1%)	18 (13.7%)	17 (17.0%)	15 (20.8%)	79 (17.4%)
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	67 (44.1%)	57 (43.5%)	39 (39.0%)	27 (37.5%)	190 (41.8%)
短大・高専	9 (5.9%)	13 (9.9%)	5 (5.0%)	4 (5.6%)	31 (6.8%)
専門学校	11 (7.2%)	6 (4.6%)	8 (8.0%)	4 (5.6%)	29 (6.4%)
大学（旧制高校・大学）	12 (7.9%)	10 (7.6%)	7 (7.0%)	4 (5.6%)	33 (7.3%)
大学院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
わからない	10 (6.6%)	13 (9.9%)	11 (11.0%)	10 (13.9%)	44 (9.7%)
無回答	14 (9.2%)	14 (10.7%)	13 (13.0%)	8 (11.1%)	49 (10.8%)

問 52 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしているますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	E さん (Q52EWRK) (N=152)	F さん (Q52FWRK) (N=131)	G さん (Q52GWRK) (N=100)	H さん (Q52HWRK) (N=72)	全体 (N=455)
自営業主・自由業・家族従業員	37 (24.3%)	25 (19.1%)	16 (16.0%)	10 (13.9%)	88 (19.3%)
経営者・役員	4 (2.6%)	2 (1.5%)	2 (2.0%)	0 (0.0%)	8 (1.8%)
正規の職員・社員	24 (15.8%)	16 (12.2%)	18 (18.0%)	8 (11.1%)	66 (14.5%)
公務員	13 (8.6%)	16 (12.2%)	6 (6.0%)	7 (9.7%)	42 (9.2%)
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	15 (9.9%)	14 (10.7%)	11 (11.0%)	11 (15.3%)	51 (11.2%)
学生	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (2.8%)	3 (0.7%)
仕事をしていない（専業主婦・退職者など）	40 (26.3%)	39 (29.8%)	30 (30.0%)	24 (33.3%)	133 (29.2%)
わからない	3 (2.0%)	4 (3.1%)	3 (3.0%)	3 (4.2%)	13 (2.9%)
無回答	16 (10.5%)	14 (10.7%)	14 (14.0%)	7 (9.7%)	51 (11.2%)

問 53 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの **1** つに ○ をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	E さん (Q53EJB) (N=152)	F さん (Q53FJB) (N=131)	G さん (Q53GJB) (N=100)	H さん (Q53HJB) (N=72)	全体 (N=455)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	7 (4.6%)	2 (1.5%)	4 (4.0%)	0 (0.0%)	13 (2.9%)
中間管理職（課長・店長など）	6 (3.9%)	5 (3.8%)	4 (4.0%)	1 (1.4%)	16 (3.5%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	10 (6.6%)	8 (6.1%)	6 (6.0%)	3 (4.2%)	27 (5.9%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	10 (6.6%)	10 (7.6%)	9 (9.0%)	4 (5.6%)	33 (7.3%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	13 (8.6%)	11 (8.4%)	5 (5.0%)	3 (4.2%)	32 (7.0%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	13 (8.6%)	7 (5.3%)	10 (10.0%)	4 (5.6%)	34 (7.5%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	1 (0.7%)	3 (2.3%)	1 (1.0%)	1 (1.4%)	6 (1.3%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	12 (7.9%)	6 (4.6%)	4 (4.0%)	5 (6.9%)	27 (5.9%)
農林漁業・鉱業	16 (10.5%)	16 (12.2%)	6 (6.0%)	9 (12.5%)	47 (10.3%)
わからない	6 (3.9%)	6 (4.6%)	3 (3.0%)	7 (9.7%)	22 (4.8%)
記入不要（問 52 で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	40 (26.3%)	40 (30.5%)	30 (30.0%)	26 (36.1%)	136 (29.9%)
無回答	18 (11.8%)	17 (13.0%)	18 (18.0%)	9 (12.5%)	62 (13.6%)

問 54 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	E さん (Q54EINT) (N=152)	F さん (Q54FINT) (N=131)	G さん (Q54GINT) (N=100)	H さん (Q54HINT) (N=72)	全体 (N=455)
とても親しい	91 (59.9%)	59 (45.0%)	38 (38.0%)	26 (36.1%)	214 (47.0%)
親しい	43 (28.3%)	58 (44.3%)	50 (50.0%)	37 (51.4%)	188 (41.3%)
それほど親しくない	4 (2.6)	3 (2.3%)	1 (1.0%)	3 (4.2%)	11 (2.4%)
無回答	14 (9.2%)	11 (8.4%)	11 (11.0%)	6 (8.3%)	42 (9.2%)

問 55 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。[複数回答]

	E さん (Q55ERLS) (N=152)	F さん (Q55FRLS) (N=131)	G さん (Q55GRLS) (N=100)	H さん (Q55HRLS) (N=72)	全体 (N=455)
共通の趣味や娯楽を持っている	69 (45.4%)	50 (38.2%)	35 (35.0%)	26 (36.1%)	180 (39.6%)
最近 6 ヶ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	64 (42.1%)	59 (45.0%)	39 (39.0%)	31 (43.1%)	193 (42.4%)
まとまったお金を借りることができる	11 (7.2%)	6 (4.6%)	4 (4.0%)	1 (1.4%)	22 (4.8%)

第 6 部 あなたが防災情報や災害時の備えなどについて詳しく知りたい場合に、これらについて話をしたり相談したりする方たちについてお伺いします。

問 56 (Q56LDPNF) あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=133)

--	--

人： 平均人数=4.94 人、SD=5.78

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、I さん、J さん、K さん、L さんとします。ただし、I~L とは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。
 ※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

I さん	J さん	K さん	L さん

問 57 あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たちについておうかがいします。先ほど思い浮かべた I さん～L さんについて、あなたとその方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	I さん (Q57IRL) (N=139)	J さん (Q57JRL) (N=119)	K さん (Q57KRL) (N=89)	L さん (Q57LRL) (N=62)	全体 (N=409)
配偶者（夫または妻）	53 (38.1%)	2 (1.7%)	1 (1.1%)	1 (1.6%)	57 (13.9%)
親または子ども	16 (11.5%)	24 (20.2%)	8 (9.0%)	2 (3.2%)	50 (12.2%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	12 (8.6%)	15 (12.6%)	11 (12.4%)	7 (11.3%)	45 (11.0%)
職場の上司または部下	5 (3.6%)	5 (4.2%)	3 (3.4%)	1 (1.6%)	14 (3.4%)
職場の同僚（上司・部下以外）	3 (2.2%)	7 (5.9%)	6 (6.7%)	3 (4.8%)	19 (4.6%)
その他の仕事関係	3 (2.2%)	4 (3.4%)	3 (3.4%)	1 (1.6%)	11 (2.7%)
同じ組織や団体に加入している人	4 (2.9%)	5 (4.2%)	6 (6.7%)	3 (4.8%)	18 (4.4%)
近所の人	22 (15.8%)	28 (23.5%)	25 (28.1%)	24 (38.7%)	99 (24.2%)
友人	17 (12.2%)	23 (19.3%)	20 (22.5%)	13 (21.0%)	73 (17.8%)
その他	3 (2.2%)	2 (1.7%)	2 (2.2%)	3 (4.8%)	10 (2.4%)
無回答	1 (0.7%)	4 (3.4%)	4 (4.5%)	4 (6.5%)	13 (3.2%)

問 58 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	I さん (Q58ISX) (N=139)	J さん (Q58JSX) (N=119)	K さん (Q58KSX) (N=89)	L さん (Q58LSX) (N=62)	全体 (N=409)
男性	98 (70.5%)	65 (54.6%)	48 (53.9%)	30 (48.4%)	241 (58.9%)
女性	37 (26.6%)	44 (37.0%)	33 (37.1%)	26 (41.9%)	140 (34.2%)
無回答	4 (2.9%)	10 (8.4%)	8 (9.0%)	6 (9.7%)	28 (6.8%)

問 59 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	I さん (Q59IAGE) (N=130)	J さん (Q59JAGE) (N=108)	K さん (Q59KAGE) (N=80)	L さん (Q59LAGE) (N=55)	全体 (N=373)
平均年齢	58.0, SD=14.34	55.5, SD=16.37	56.0, SD=17.25	57.8, SD=16.80	56.8, SD=15.93

問 60 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	I さん (Q60IKNYR) (N=112)	J さん (Q60JKNYR) (N=95)	K さん (Q60KKNYR) (N=72)	L さん (Q60LKNYR) (N=55)	全体 (N=334)
平均年数	30.0, SD=16.92	27.7, SD=20.33	25.5, SD=19.63	23.5, SD=16.43	26.3, SD=17.14

問 61 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
IJ「IさんとJさんは、知り合いですか」(Q611KNIJ)(N=119)	103 (86.6%)	8 (6.7%)	1 (0.8%)	7 (5.9%)
IK「IさんとKさんは、知り合いですか」(Q612KNIK)(N=89)	74 (83.1%)	7 (7.9%)	0 (0.0%)	8 (9.0%)
IL「IさんとLさんは、知り合いですか」(Q612KNIL)(N=62)	48 (77.4%)	7 (11.3%)	0 (0.0%)	7 (11.3%)
JK「JさんとKさんは、知り合いですか」(Q614KNJK)(N=89)	67 (75.3%)	10 (11.2%)	0 (0.0%)	12 (13.5%)
JL「JさんとLさんは、知り合いですか」(Q615KNJL)(N=62)	44 (71.0%)	7 (11.3%)	0 (0.0%)	11 (17.7%)
KL「KさんとLさんは、知り合いですか」(Q616KNKL)(N=62)	40 (64.5%)	11 (17.7%)	0 (0.0%)	11 (17.7%)

問 62 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

	I さん (Q62ICTFR) (N=139)	J さん (Q62JCTFR) (N=119)	K さん (Q62KCTFR) (N=89)	L さん (Q62LCTFR) (N=62)	全体 (N=409)
ほとんど毎日	72 (51.8%)	25 (21.0%)	20 (22.5%)	8 (12.9%)	125 (30.6%)
週に数回	21 (15.1%)	37 (31.1%)	20 (22.5%)	16 (25.8%)	94 (23.0%)
週に 1 回程度	15 (10.8%)	20 (16.8%)	16 (18.0%)	11 (17.7%)	62 (15.2%)
月に 1 回程度	14 (10.1%)	21 (17.6%)	18 (20.2%)	15 (24.2%)	68 (16.6%)
年に数回	7 (5.0%)	5 (4.2%)	6 (6.7%)	3 (4.8%)	21 (5.1%)
無回答	10 (7.2%)	11 (9.2%)	9 (10.1%)	9 (14.5%)	39 (9.5%)

問 63 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	I さん (Q63IEDU) (N=139)	J さん (Q63JEDU) (N=119)	K さん (Q63KEDU) (N=89)	L さん (Q63LEDU) (N=62)	全体 (N=409)
中学校（旧制小学校）	24 (17.3%)	11 (9.2%)	17 (19.1%)	13 (21.0%)	65 (15.9%)
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	65 (46.8%)	53 (44.5%)	36 (40.4%)	20 (32.3%)	174 (42.5%)
短大・高専	7 (5.0%)	9 (7.6%)	6 (6.7%)	1 (1.6%)	23 (5.6%)
専門学校	11 (7.9%)	9 (7.6%)	5 (5.6%)	1 (1.6%)	26 (6.4%)
大学（旧制高校・大学）	13 (9.4%)	11 (9.2%)	5 (5.6%)	11 (17.7%)	40 (9.8%)
大学院	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
わからない	8 (5.8%)	13 (10.9%)	10 (11.2%)	7 (11.3%)	38 (9.3%)
無回答	11 (7.9%)	13 (10.9%)	10 (11.2%)	9 (14.5%)	43 (10.5%)

問 64 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの 1 つに○をつけて ください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	I さん (Q64IWRK) (N=139)	J さん (Q64JWRK) (N=119)	K さん (Q64KWRK) (N=89)	L さん (Q64LWRK) (N=62)	全体 (N=409)
自営業主・自由業・ 家族従業員	27 (19.4%)	20 (16.8%)	7 (7.9%)	6 (9.7%)	60 (14.7%)
経営者・役員	2 (1.4%)	4 (3.4%)	2 (2.2%)	4 (6.5%)	12 (2.9%)
正規の職員・社員	28 (20.1%)	26 (21.8%)	18 (20.2%)	9 (14.5%)	81 (19.8%)
公務員	18 (12.9%)	8 (6.7%)	8 (9.0%)	5 (8.1%)	39 (9.5%)
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	14 (10.1%)	8 (6.7%)	14 (15.7%)	7 (11.3%)	43 (10.5%)
学生	0 (0.0%)	2 (1.7%)	3 (3.4%)	1 (1.6%)	6 (1.5%)
仕事をしていない (専業主婦・退職者 など)	37 (26.6%)	32 (26.9%)	21 (23.6%)	17 (27.4%)	107 (26.2%)
わからない	1 (0.7%)	5 (4.2%)	4 (4.5%)	2 (3.2%)	12 (2.9%)
無回答	12 (8.6%)	14 (11.8%)	12 (13.5%)	11 (17.7%)	49 (12.0%)

問 65 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけて ください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	I さん (Q65IJB) (N=139)	J さん (Q65JJB) (N=119)	K さん (Q65KJB) (N=89)	L さん (Q65LJB) (N=62)	全体 (N=409)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	10 (7.2%)	4 (3.4%)	2 (2.2%)	3 (4.8%)	19 (4.6%)
中間管理職（課長・店長など）	13 (9.4%)	7 (5.9%)	6 (6.7%)	4 (6.5%)	30 (7.3%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	11 (7.9%)	10 (8.4%)	4 (4.5%)	2 (3.2%)	27 (6.6%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	11 (7.9%)	9 (7.6%)	4 (4.5%)	4 (6.5%)	28 (6.8%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	8 (5.8%)	9 (7.6%)	5 (5.6%)	3 (4.8%)	25 (6.1%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	6 (4.3%)	3 (2.5%)	7 (7.9%)	2 (3.2%)	18 (4.4%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	0 (0.0%)	2 (1.7%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	7 (5.0%)	6 (2.8%)	8 (9.0%)	3 (4.8%)	24 (5.9%)
農林漁業・鉱業	14 (10.1%)	11 (9.2%)	9 (10.1%)	8 (12.9%)	42 (10.3%)
わからない	4 (2.9%)	9 (7.6%)	7 (7.9%)	4 (6.5%)	24 (5.9%)
記入不要（問 64 で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	37 (26.6%)	34 (28.6%)	24 (27.0%)	18 (29.0%)	113 (27.6%)
無回答	17 (12.2%)	15 (12.6%)	12 (13.5%)	11 (17.7%)	55 (13.4%)

問 66 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	I さん (Q66IINT) (N=139)	J さん (Q66JINT) (N=119)	K さん (Q66KINT) (N=89)	L さん (Q66LINT) (N=62)	全体 (N=409)
とても親しい	82 (59.0%)	57 (47.9%)	36 (40.4%)	19 (30.6%)	194 (47.4%)
親しい	40 (28.8%)	48 (40.3%)	40 (44.9%)	34 (54.8%)	162 (39.6%)
それほど親しくない	8 (5.8%)	4 (3.4%)	5 (5.6%)	2 (3.2%)	19 (4.6%)
無回答	9 (6.5%)	10 (8.4%)	8 (9.0%)	7 (11.3%)	34 (8.3%)

問 67 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

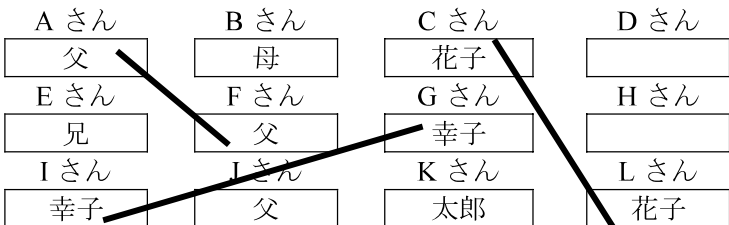
	I さん (Q67IRLS) (N=139)	J さん (Q67JRLS) (N=119)	K さん (Q67KRLS) (N=100)	L さん (Q67LRLS) (N=62)	全体 (N=409)
共通の趣味や娯楽を持っている	52 (37.4%)	36 (30.3%)	27 (30.3%)	19 (30.6%)	134 (32.8%)
最近 6 ヶ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	61 (43.9%)	57 (47.9%)	32 (36.0%)	22 (35.5%)	172 (42.1%)
まとまったお金を借りることができる	9 (6.5%)	3 (2.5%)	3 (3.4%)	0 (0.0%)	15 (3.7%)

※これまで第 4 部から第 6 部まで質問してきました、あなたがいろいろと話したりお付き合いしたりしている方たちについて、上の欄で記入された A さん～L さんまでのイニシャルや愛称、あるいはニックネームなどを下記の＜メモ欄＞に記入ください。

※【例 1】のように、メモで記入した方たちで、同じ人の四角を線で結んでください。

※同じ人がいない場合は、問 69 へ進んでください。

【例 1】



＜メモ欄＞

A さん	B さん	C さん	D さん
E さん	F さん	G さん	H さん
I さん	J さん	K さん	L さん

問 68 上の<メモ欄>において、線で結んだ人は誰と誰ですか。アルファベットでお答えください。《【例 2】を参照。》

【例 2】	(1)	同じ人は	A	と	F	と	J
	(2)	同じ人は	C	と	L	と	
	(3)	同じ人は	G	と	I	と	

<回答欄>

(1)	同じ人は (Q681SAME)		と		と	
(2)	同じ人は (Q682SAME)		と		と	
(3)	同じ人は (Q683SAME)		と		と	
(4)	同じ人は (Q684SAME)		と		と	
(5)	同じ人は (Q685SAME)		と		と	
(6)	同じ人は (Q686SAME)		と		と	

第 7 部 防災・災害への意識に関する事柄についておうかがいします。

問 69 (Q69DPCS) 自然災害に対する防災について、日頃から意識していますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=191)

1	2	3	4	5
非常に意識している	意識している	どちらとも いえない	意識して いない	全く意識して いない
31 (16.2%)	123 (64.4%)	30 (15.7%)	6 (3.1%)	1 (0.5%)

問 70 (Q70EVPL) 避難所の場所を知っていますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=190)

1	災害時における避難所の名前・場所をともに知っている	152 (80.0%)
2	避難所の名前は知らないが、場所はわかる	31 (16.3%)
3	避難所の名前も場所も知らないが、思い当たる場所はある	4 (2.1%)
4	避難所の名前は知っているが、場所はわからない	0 (0.0%)
5	避難所の名前も知らないし、場所もわからない	3 (1.6%)

問 71 (Q71ECFD) 今年 8 月 9 日（土）～10 日（日）の台風 11 号接近にともない黒潮町全域で発せられた「避難勧告」をどのように知りましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
(N=197)

		該当者数 (複数回答)
1	黒潮町の地域防災無線	143 (72.6%)
2	消防署や消防団などによる呼びかけ・アナウンス	68 (34.5%)
3	地元ケーブルテレビ放送	26 (13.2%)
4	NHK などの地上波テレビ放送	89 (45.2%)
5	ラジオ放送	9 (4.6%)
6	携帯電話やスマートフォンなどに送られてきた「緊急速報メール」	69 (35.0%)
7	自治体や気象庁など、行政のホームページ	3 (1.5%)
8	YouTube などの動画サイトへの投稿動画	0 (0.0%)
9	Twitter など、ソーシャルメディアからの情報	0 (0.0%)
10	親類や知り合いからの電話	9 (4.6%)
11	親類や知り合いからのメッセージ (電子メールや SNS、LINE などの私信)	6 (3.0%)
12	その他（具体的に： <u>役場防災担当</u> ）	1 (0.5%)

問 72 (Q72EVTR) 今年に入ってから、地域の避難訓練に参加したことがありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=189)

1	2	3	4
参加した	参加していないが、 見学はした	訓練は知っていたが 参加も見学もしていな い	訓練を知らない
139 (73.5%)	5 (2.6%)	41 (21.7%)	4 (2.1%)

問 73 (Q73WKSP) 今年に入ってから、地域ごとの防災ワークショップ（対話集会）に参加したことはありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=180)

1	2	3
参加した	ワークショップは知っていた が、参加していない	ワークショップを 知らない
85 (47.2%)	45 (25.9%)	50 (27.8%)

問 74 (Q74EVCR) これまで『避難カルテ』を作ったことがありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=181)

1	2	3
作ったことがある	『避難カルテ』は知っていたが 作ったことはない	『避難カルテ』を知らない
55 (30.4%)	63 (34.8%)	63 (34.8%)

問 75 (Q75DPPR) 自然災害に備えてとっている対策について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=198)

		該当者数 (複数回答)
1	携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している	144 (72.7%)
2	食料や飲料水を準備している	89 (44.9%)
3	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	45 (22.7%)
4	自宅建物もしくは家財を対象とした地震保険（地震被害を補償する共済を含む）に加入している	80 (40.4%)
5	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	106 (53.5%)
6	いつも風呂の水をためおきしている	37 (18.7%)
7	貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している	55 (27.8%)
8	家族の安否確認の方法などを決めている	39 (19.7%)
9	耐震性のある家に住んでいる	28 (14.1%)
10	非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	34 (17.2%)
11	自家用車の燃料が半分以下になれば満タンにするようにしている	41 (20.7%)
12	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	26 (13.1%)
13	防災訓練に積極的に参加している	75 (37.9%)
14	感電ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している	9 (4.5%)
15	風呂の水をためおきしたり、消火器を準備するなど消火活動を行うための準備をしている	35 (17.7%)
16	家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気を遣っている	15 (7.6%)
17	その他（ ）＊	3 (1.5%)
18	特になにもしていない	20 (10.1%)
19	わからない	3 (1.5%)

＊自由記述

- ・ 近くの消防署
- ・ 子どもと常に意識するために話をしている
- ・ 自家用車の中に非常用持ち出し袋を用意している

第 8 部 あなたの普段のコミュニケーションについておうかがいします。

問 76 次にいろいろな機器があげられています。それぞれ家にあるかどうか、家にある場合はふだん自分で利用しているかどうか、家がない場合は将来ほしいと思っているかどうかなどについて、1～4の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=186）

	家にある		家がない		無回答
	自分も利用している	自分はいない	将来ほしい	わからない	
テレビ受像機（パソコン、ワンセグは除く）（Q7501TV）	150 (80.6%)	10 (5.4%)	3 (1.6%)	15 (8.1%)	8 (4.3%)
DVD、ブルーレイなどの録画機（Q7502DVD）	87 (46.8%)	29 (15.6%)	7 (3.8%)	23 (12.4%)	40 (21.5%)
VHS ビデオデッキ（Q7503VHS）	38 (20.4%)	36 (19.4%)	3 (1.6%)	46 (24.7%)	63 (33.9%)
ラジオ（Q7504RAD）	92 (49.5%)	48 (25.8%)	7 (3.8%)	11 (5.9%)	28 (15.1%)
パソコン（Q7505PC）	68 (36.6%)	30 (16.1%)	6 (3.2%)	34 (18.3%)	48 (25.8%)
携帯型ゲーム機（ニンテンドーDS、PSP など）（Q7506PG）	15 (8.1%)	34 (18.3%)	0 (0.0%)	76 (40.9%)	61 (32.8%)
テレビゲーム機（Wii、PlayStation シリーズなど）（Q7507VG）	19 (10.2%)	34 (18.3%)	2 (1.1%)	63 (33.9%)	68 (36.6%)
固定電話（Q7508HPH）	149 (80.1%)	15 (8.1%)	0 (0.0%)	4 (2.2%)	18 (9.7%)
ワンセグ対応の携帯電話（Q7509OSC）	36 (19.4%)	19 (10.2%)	2 (1.1%)	55 (29.6%)	74 (39.8%)
スマートフォン（iPhone、Android 端末など）（Q7510SMP）	45 (24.2%)	21 (11.3%)	9 (4.8%)	44 (23.7%)	67 (36.0%)
携帯電話（ワンセグ対応携帯・スマートフォンは除く）（Q7511CPH）	70 (37.6%)	20 (10.8%)	2 (1.1%)	37 (19.9%)	57 (30.6%)
携帯型デジタル音楽プレーヤー（iPod など）（Q7512PM）	15 (8.1%)	28 (15.1%)	6 (3.2%)	71 (38.2%)	66 (35.5%)
電子書籍リーダー（Amazon のキンドルなど）（Q7513EBK）	3 (1.6%)	12 (6.5%)	8 (4.3%)	89 (47.8%)	74 (39.8%)
タブレット型端末（iPad など）（Q7514TAB）	8 (4.3%)	15 (8.1%)	17 (9.1%)	78 (41.9%)	68 (36.6%)

※ 1 携帯電話もしくはスマートフォンを持っている人は、以下の問 77 以降をお答えください。携帯電話やスマートフォンのいずれも持っていない人は、問 81 へ飛んでください。

問 77 (Q77SUCT) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。（N=85）

およそ

時間

分

平均時間＝58.9 分、SD＝87.99

問 78 (Q78SUSV) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=92)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	64 (69.6%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	21 (22.8%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	12 (13.0%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	14 (15.2%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	14 (15.2%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	23 (25.0%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	8 (8.7%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	2 (2.2%)
9	その他のインターネット利用	16 (17.4%)

問 79 (Q79MNCT) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=75)

およそ 時間 分 平均時間=46.3 分、SD=79.39

問 80 (Q80MNSV) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=77)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	55 (71.4%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	20 (26.0%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	11 (14.3%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	10 (13.0%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	11 (14.3%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	19 (24.7%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	7 (9.1%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	2 (2.6%)
9	その他のインターネット利用	13 (16.9%)

※2 自宅にパソコンを持っている人は、以下の問 81 以降をお答えください。自宅にパソコンを持っていない人は、問 85 へ飛んでください。

問 81 (Q81SUPC) この前の日曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=34)

およそ 時間 分 平均時間=83.9 分、SD=89.21

問 82 (Q82SUSV) この前の日曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=34)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	15 (44.1%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	14 (41.2%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	2 (5.9%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	11 (32.4%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	5 (14.7%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	0 (0.0%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	1 (2.9%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	1 (2.9%)
9	その他のインターネット利用	17 (50.0%)

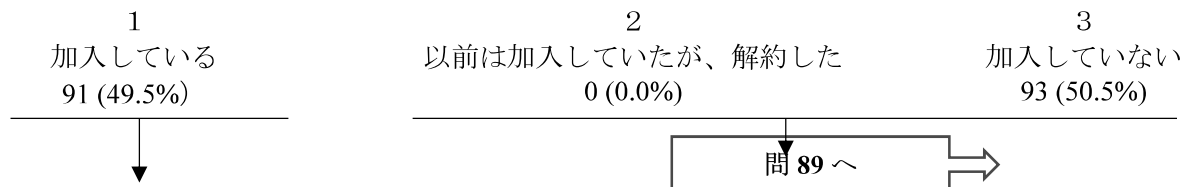
問 83 (Q83MNPC) この前の月曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=23)

およそ 時間 分 平均時間=91.6 分、SD=95.75

問 84 (Q84MNSV) この前の月曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の 1～9 までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=23)

1 メール（ショートメール含む）を読む・書く	10 (43.5%)
2 ブログやウェブサイトを見る・書く	13 (56.5%)
3 Twitter、ミクシィ、Facebook などのソーシャルメディアを見る・書く	1 (4.3%)
4 ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	8 (34.8%)
5 オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	4 (17.4%)
6 メッセンジャー・チャットを使う（LINE のトークや、Facebook メッセンジャーなども含む）	0 (0.0%)
7 Skype、LINE などの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	1 (4.3%)
8 ラジオを聴く（ラジコなど）	1 (4.3%)
9 その他のインターネット利用	11 (47.8%)

問 85 (Q85CATV) あなたのお宅は黒潮町ケーブルテレビへ加入していますか。(N=184)



問 86 (Q86CADT) あなたのお宅が黒潮町ケーブルテレビに加入したのはいつ頃でしたか。

平成 年 月ころから

問 87 (Q87CAPR) あなたは普段、黒潮町ケーブルテレビの自主放送番組を視聴していますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=91)

1 毎日のように	11 (12.1%)
2 週に 1 回程度	21 (23.1%)
3 月に 1 回程度	9 (9.9%)
4 数か月に 1 回程度	4 (4.4%)
5 年に 1 回程度	0 (0.0%)
6 たまに視聴する	29 (31.9%)
7 まったく視聴していない	14 (15.4%)
無回答	3 (3.3%)

問 88 あなたが、普段よく視聴している黒潮町ケーブルテレビの自主放送番組があれば、それらの番組名を下に記入ください（自由記述）。

1 よく視聴している番組名 (Q881OFPG)	黒潮町町議会放送(3)、町の行事・イベント(2)、つり(2)、IWK ニュース(1)、いとたら(1)、イベント(1)、お天気(1)、くろしおチルドレン(1)、ロコクロ体操(1)、教えて食改さん(1)、耳をすませば(1)、防災等(1)
2 とときどき視聴している番組名 (Q882SLPG)	運動会など行事の特集(7)、黒潮町議会(6)、片さんの釣番組(3)、IWK NEWS(1)、おしえて食改さん(1)、くろしおチルドレン(1)、健康体操(1)、行政チャンネル(1)、黒潮人(1)、町のイベント(1)

問 89 (Q89NWP) あなたは自宅で新聞を購読していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=194)

1	高知新聞を定期購読している。	135 (69.6%)
2	全国紙（読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞など）を定期購読している。	13 (6.7%)
3	スポーツ新聞を定期購読している。	2 (1.0%)
4	職場などで定期購読している新聞を読んでいる	6 (3.1%)
5	図書館など公共施設で新聞を読んでいる	1 (0.5%)
6	普段、新聞を読まない	27 (13.9%)

問 90 (Q90MGZ) あなたは普段、（マンガ以外の）雑誌を読みますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=194)

1	町の広報誌（『広報くろしお』）は定期的に読んでいる。	126 (64.9%)
2	フリーペーパーをよく読んでいる。	18 (9.3%)
3	高知のタウン誌をよく読んでいる。	21 (10.8%)
4	特定の全国雑誌を定期購読している。	14 (7.2%)
5	全国雑誌などをお店などで読んでいる。	36 (18.6%)
6	図書館など公共施設で雑誌を読んでいる	11 (5.7%)
7	普段、雑誌を読まない	43 (22.2%)

第9部 あなたの普段の情報収集についておうかがいします。

問 91 あなたは以下にあげた内容に関する情報を、どのような情報源から得ていますか。この1ヶ月の間に、それぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中からいくつでも○をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で最もよく使った情報源には1つ◎をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=186)

(記入例)

国内ニュース	①	2	◎③	④	5	◎⑥	7	8	9	◎⑩	11	12
--------	---	---	----	---	---	----	---	---	---	----	----	----

	友人・家族と直接 会って聞く ㉑	友人・家族からの 電話やメール ㉒	テレビ放送 ㉓	ケーブル テレビ ㉔
1)国内ニュース(Q911DN)	27 (14.5%)	11 (5.9%)	161 (86.6%)	7 (3.8%)
2)海外ニュース(Q912IN)	13 (7.0%)	1 (0.5%)	132 (71.0%)	4 (2.2%)
3)地域（ローカル）ニュース(Q913LN)	32 (17.2%)	8 (4.3%)	98 (52.7%)	25 (13.4%)
4)天気予報 (Q914WT)	14 (7.5%)	1 (0.5%)	167 (89.8%)	12 (6.5%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	20 (10.8%)	8 (4.3)	48 (25.8%)	4 (2.2%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	24 (12.9%)	6 (3.2%)	46 (24.7%)	4 (2.2%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	37 (19.9%)	10 (5.4%)	78 (41.9%)	7 (3.8%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	11 (5.9%)	5 (2.7%)	100 (53.8%)	5 (2.7%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	23 (12.4%)	11 (5.9%)	68 (36.6%)	6 (3.2%)

	ラジオ放送 ㉕	新聞 ㉖	雑誌 ㉗	町の広報誌 ㉘
1)国内ニュース(Q911DN)	36 (19.4%)	113 (60.8%)	12 (6.5%)	20 (10.8%)
2)海外ニュース(Q912IN)	17 (9.1%)	76 (40.9%)	8 (4.3%)	2 (1.1%)
3)地域（ローカル）ニュース(Q913LN)	15 (8.1%)	65 (34.9%)	1 (0.5%)	60 (32.3%)
4)天気予報 (Q914WT)	25 (13.4%)	73 (39.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	6 (3.2%)	25 (13.4%)	33 (17.7%)	6 (3.2%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	5 (2.7%)	31 (16.7%)	25 (13.4%)	2 (1.1%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	5 (2.7%)	50 (26.9%)	17 (9.1%)	24 (12.9%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	3 (1.6%)	86 (46.2%)	6 (3.2%)	1 (0.5%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	3 (1.6%)	26 (14.0%)	31 (16.7%)	6 (3.2%)

	掲示板、ポスター、 チラシなど ⑤	パソコンのウェブ サイト ⑩	携帯情報サ イト ⑫	そのような情報 は 必要としない ⑫
1)国内ニュース(Q911DN)	6 (3.2%)	26 (14.0%)	24 (12.9%)	1 (0.5%)
2)海外ニュース(Q912IN)	0 (0.0%)	20 (10.8%)	17 (9.2%)	7 (3.8%)
3)地域（ローカル）ニュース(Q913LN)	13 (7.0%)	7 (3.8%)	3 (1.6%)	2 (1.1%)
4)天気予報 (Q914WT)	1 (0.5%)	24 (12.9%)	25 (13.4%)	0 (0.0%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	13 (7.0%)	23 (12.4%)	11 (5.9)	17 (9.1%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	39 (21.0%)	21 (11.3%)	19 (10.2%)	16 (8.6%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	9 (4.8%)	12 (6.5%)	9 (4.8%)	11 (5.9%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	2 (1.1%)	8 (4.3%)	3 (1.6%)	7 (3.8%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	20 (10.8%)	13 (7.0%)	9 (4.8%)	22 (11.8%)

問 92 あなたは以下にあげた**黒潮町に関する情報**を、どのような情報源から得ていますか、この1ヶ月の間に、以下のそれぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中からいくつでも○をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で**最もよく使った情報源には1つ◎**をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=191)

	友人・家族と直接 会って聞く 01	友人・家族からの 電話やメール 02	テレビ放送 03	ケーブルテレビ 04
黒潮町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	33 (17.3%)	7 (3.7%)	23 (12.0%)	37 (19.4%)
黒潮町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	45 (24.1%)	12 (6.3%)	18 (9.4%)	31 (16.2%)
黒潮町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	21 (11.0%)	5 (2.6%)	8 (4.2%)	19 (9.9%)
黒潮町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	54 (28.3%)	29 (15.2%)	50 (26.2%)	14 (7.3%)
黒潮町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	48 (25.1%)	20 (10.5%)	17 (8.9%)	37 (19.4%)
黒潮町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	47 (24.6%)	23 (12.0%)	11 (5.8%)	11 (5.8%)
黒潮町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	33 (17.3%)	11 (5.8%)	13 (6.8%)	26 (13.6%)

	ラジオ放送 05	新聞 06	雑誌 07	町の広報誌 08
黒潮町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	3 (1.6%)	36 (18.8%)	2 (1.0%)	132 (69.1%)
黒潮町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	2 (1.0%)	20 (10.5%)	0 (0.0%)	121 (63.4%)
黒潮町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	1 (0.5%)	17 (8.9%)	0 (0.0%)	115 (60.2%)
黒潮町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	4 (2.1%)	59 (30.9%)	1 (0.5%)	39 (20.4%)
黒潮町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	2 (1.0%)	22 (11.5%)	1 (0.5%)	108 (56.5%)
黒潮町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	1 (0.5%)	23 (12.0%)	2 (1.0%)	40 (20.9%)
黒潮町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	3 (1.6%)	23 (12.0%)	1 (0.5%)	110 (57.6%)

	⑧ 1、 掲示板、 チラシ、 ポスタ など	パソコン のウェ ブサイ ト 10	二 携 帯 情 報 サ イ ト	12 は そ の よ う な 情 報 は 必 要 と し な い
黒潮町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	10 (5.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	8 (4.2%)
黒潮町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	17 (8.9%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	4 (2.1%)
黒潮町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	5 (2.6%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	11 (5.8%)
黒潮町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	7 (3.7%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	5 (2.6%)
黒潮町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	52 (27.2%)	5 (2.6%)	0 (0.0%)	7 (3.7%)
黒潮町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	45 (23.6%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	14 (7.3%)
黒潮町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	24 (12.6%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	12 (6.3%)

問 93 あなたが必要な情報を得るための手段（情報源）として、次のメディアは、どのくらい重要ですか。それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの 1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=185）

	非常に重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答
1) テレビ (Q931TV)	137 (74.1%)	43 (23.2%)	4 (2.2%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2) 新聞 (Q932NWP)	92 (49.7%)	62 (33.5%)	11 (5.9%)	4 (2.2%)	0 (0.0%)	16 (8.6%)
3) 雑誌 (Q933MGZ)	7 (3.8%)	48 (25.9%)	44 (23.8%)	28 (15.1%)	8 (4.3%)	50 (27.0%)
4) インターネット (Q934INET)	35 (18.9%)	31 (16.8%)	27 (14.6%)	19 (10.3%)	16 (8.6%)	57 (30.8%)

問 94 あなたは、次のメディアの情報のうち、信頼できる情報はどの程度あるとおもいますか。それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの 1つに○をつけてください。なお、利用していないメディアについては、大体の印象でお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=182）

	全部信頼できる	大部分信頼できる	半々くらい	一部しか信頼できない	まったく信頼できない	無回答
1) テレビ (Q941TV)	28 (15.4%)	117 (64.3%)	30 (16.5%)	7 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2) 新聞 (Q942NWP)	33 (18.1%)	106 (58.2%)	29 (15.9%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	11 (6.0%)
3) 雑誌 (Q943MGZ)	0 (0.0%)	27 (14.8%)	67 (36.8%)	41 (22.5%)	4 (2.2%)	43 (23.6%)
4) インターネット (Q944INET)	4 (2.2%)	33 (18.1%)	57 (31.3%)	21 (11.5%)	7 (3.8%)	60 (33.0%)

ご協力ありがとうございました。

社会調査員 記録票

（社会調査員専用記入欄）

調査員番号	
回収日時	月 日 午前・午後 時 分頃
受理方法	本人 ・ 家族 ・ その他（ ）
報告書送付 希望申請用紙	あり ・ なし

I D 番号		地区番号	
--------	--	------	--

地域コミュニケーション調査 調査票

(2015(平成27)年 5月～7月)

ご協力をお願い

高知大学人文学部遠山研究室では、地域コミュニティにおけるコミュニケーション状況を明らかにしようと研究をすすめてまいりました。今回の調査目的は、高知県沿岸に位置する町村の住民のみなさまのコミュニケーション状況を把握することです。住民のみなさんの普段のお付き合いや会話、あるいは防災に対する関心などについて明らかにしたいと考えております。

このような地域住民の地域コミュニケーション実態の解明は、地域に関するさまざまな情報がどのように住民のみなさんへ届いているのかを理解するのに役立ちます。最終的には地域コミュニケーションの実態を把握した上で、防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発・提言を目指します。

今回、調査対象になるかたは、安芸郡奈半利町にお住みの有権者のなかからくじびきの方法で選ばせていただきました。調査の結果はすべて数字の形で統計的に処理します。また調査票は無記名で、どなたがお答えになったかがわからないようになっていますので、皆様方および家族の方のことが外部に漏れることはありません。秘密をまもることをかたくお約束しますので、ありのままをおこたえくださいますようお願いいたします。

ご記入にあたっては、かならずご本人様ご回答ください。最後まで回答いただいた調査票は、高知大学生の社会調査員が6月13日(土)・20日(土)・27日(土)の日程でお宅へ訪問して回収いたします。

このアンケート調査の結果は、後日、報告書としてまとめる予定です。結果報告書を希望されるかたは、同封の別紙に宛先を記入して、調査票といっしょに社会調査員へ返却ください。報告書が出来次第、お送りいたします。

お時間をとらせて申し訳ありませんが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

研究代表 高知大学人文学部 教授 遠山 茂樹

ご記入上のお願い

- ・ 本冊子の質問をお読みいただき、回答は別紙の「平成 27 年度 地域コミュニケーション調査(奈半利町)回答用紙」(色のついた用紙)へ記入ください。
- ・ 必ず、あなたご自身がご回答ください。
- ・ ご記入は鉛筆または黒・青のボールペンでお願いいたします。
- ・ 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は(☞)などの指示にそってお願いいたします。
- ・ お答えは、回答用紙の該当する回答欄へご記入ください。お答えは、あてはまる回答を選んでその番号をご記入いただく場合と、数字をご記入いただくものがあります。「その他」にあてはまる場合は、その番号を記入の上、カッコ[]の中に具体的な内容をご記入ください。
- ・ お答えになりにくい質問には無理にご回答いただかなくてもかまいません。
- ・

※調査に関するお問い合わせ

電話&FAX:088-844-8183 (高知大学人文学部遠山研究室)

※月曜日～金曜日:10:00～17:00

E-MAIL: s-toyama@kochi-u.ac.jp

第 3 部 あなたについておうかがいします。

問 1 (Q01AGE) あなたの年齢をご記入ください。(N=238)

満 歳 (平均年齢 : 58.1 歳、SD=14.52)

問 2 (Q02SEX) あなたの性別にあてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=238)

1 男 2 女 (男 : 112 名 (47.1%)、女 : 126 名 (52.9%))

問 3 (Q03YRLV) あなたは、現在と同じ市町村に何年くらいお住まいですか。(N=234)

約 年 (平均年 : 38.5 年、SD=19.09)

問 4 (Q04STTLV) あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(親など家族名義の場合は自己所有としてお答えください) (N=238)

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 持ち家 (一戸建て・集合住宅・分譲マンション) | (192 (80.7%)) |
| 2 賃貸住宅 (一戸建て・集合住宅・賃貸マンション) | (12 (5.0%)) |
| 3 公団・県営・町営住宅 | (25 (10.5%)) |
| 4 官舎・社宅・寮 (借上げ社宅を含む) | (2 (0.8%)) |
| 5 その他 (具体的に) | (6 (2.5%)) |
| [無回答] | (1 (0.4%)) |

問 5 あなたのご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=238)

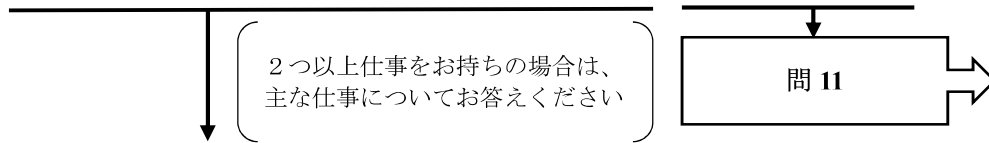
	お父さま (Q05FTLV)	回答数	お母さま (Q05MTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	38 (16.0%)	1	54 (22.7%)
あなたと同じ小学校区	2	5 (2.1%)	2	5 (2.1%)
あなたと同じ市町村内	3	13 (5.5%)	3	32 (13.4%)
高知県内	4	14 (5.9%)	4	21 (8.8%)
高知県以外の四国地方内 (愛媛県・香川県・徳島県)	5	0 (0.0%)	5	2 (0.8%)
上記以外の地域	6	3 (1.3%)	6	7 (2.9%)
いない (死亡など)	7	153 (64.3%)	7	112 (47.1%)
わからない	8	1 (0.4%)	8	0 (0.0%)
[無回答]		11 (4.6%)		5 (2.1%)

問 6 (Q06EDU) あなたが最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。(N=238)

1	中学校 (旧制小学校)	54 (22.7%)	4	専門学校	31 (13.0%)
2	高校 (旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	114 (47.9%)	5	大学 (旧制高校・大学)	31 (13.0%)
3	短大・高専	8 (3.4%)	6	大学院	0 (0.0%)
			7	[無回答]	0 (0.0%)

問 7(Q07WORK) あなたは、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=238)

1	2	3	〔無回答〕
ついている 145 (60.9%)	ついているが休職中 3 (1.3%)	ついていない 89 (37.4%)	1 (0.4%)



問 8(Q08OCCU) その仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=148)

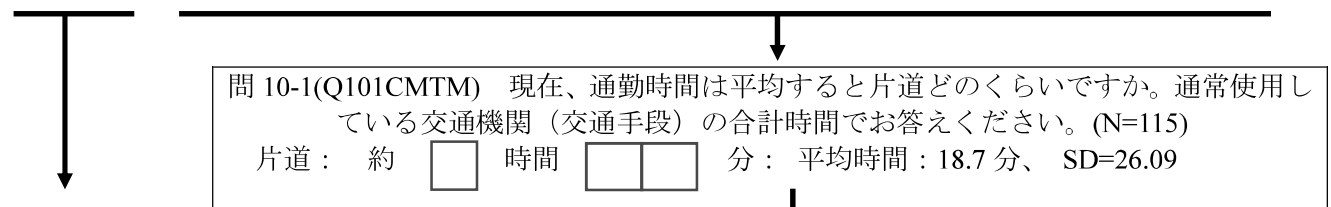
1	自営業主・自由業・家族従業員	49 (20.6%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	43 (18.1%)
2	経営者・役員	6 (2.5%)	6	学生	0 (0.0%)
3	正規の職員・社員	28 (11.8%)	7	その他 (具体的に)	5 (2.1%)
4	公務員	15 (6.3%)		無回答	2 (0.8%)

問 9(Q09TYPJB) その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=148)

1	上級管理職 (経営者・役員・部長など)	6 (2.5%)	7	運輸・通信 (運転手・船員・通信員・郵便外務など)	3 (1.3%)
2	中間管理職 (課長・店長など)	7 (2.9%)	8	保安・警備 (守衛・警官・自衛官など)	3 (1.3%)
3	専門・技術 (技術者・教員・弁護士など)	11 (4.6%)	9	製造・建設 (工業作業・建築作業員など)	15 (6.3%)
4	事務 (総務・経理・企画・営業事務など)	17 (7.1%)	10	農林漁業・鉱業	27 (11.3%)
5	販売 (小売店主・店員・外交員など)	19 (8.0%)	11	その他 (具体的に)	21 (8.8%)
6	サービス (理美容・調理・家事サービスなど)	16 (6.7%)		〔無回答〕	3 (1.2%)

問 10(Q10PLWK) あなたが主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=148)

1	2	3	4	5	〔無回答〕
自宅 23 (15.5%)	お住まいと同じ 小学校区内 11 (7.4%)	お住まいと同じ 市町村内 62 (41.9%)	高知県内 51 (34.5%)	その他の都道府県 (具体的に) 1 (0.7%)	0 (0.0%)



問 11(Q11INCM) あなたの昨年 1 年間 (1 月～12 月) の収入 (税込み) は、次のうちどれに近いですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=238)

1	なし: 23 (9.7%)	5	500～700 万円未満: 9 (3.8%)	9	1300 万円以上: 1 (0.4%)
2	100 万円未満: 52 (21.8%)	6	700～900 万円未満: 2 (0.8%)	10	わからない: 4 (1.7%)
3	100～300 万円未満: 84 (35.3%)	7	900～1100 万円未満: 3 (1.3%)	11	答えたくない: 11 (4.6%)
4	300～500 万円未満: 30 (12.6%)	8	1100～1300 万円未満: 2 (0.8%)		〔無回答〕: 17 (7.1%)

問 12 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの 1 つに○ をつけてください。
(N=237)

兄(Q12ELBR) [N=83] : 平均人数=1.41 人、SD=0.86 1 人 (58; 24.5%)、2 人 (21; 8.9%)、3 人 (2; 0.8%)、4 人 (1; 0.4%)、7 人 (1; 0.4%)
姉(Q12ELST) [N=92] : 平均人数=1.48 人、SD=0.82 1 人 (63; 26.6%)、2 人 (18; 7.6%)、3 人 (7; 3.0%)、4 人 (4; 1.7%)
弟(Q12YGBR) [N=92] : 平均人数=1.30 人、SD=0.71 1 人 (73; 30.8%)、2 人 (13; 5.5%)、3 人 (4; 1.7%)、4 人 (1; 0.4%)、5 人 (1; 0.4%)
妹(Q12YGST) [N=74] : 平均人数=1.45 人、SD=0.67 1 人 (48; 20.3%)、2 人 (19; 8.0%)、3 人 (7; 3.0%)

第 2 部 あなたのご結婚・配偶者・ご家族についておうかがいします。

※結婚には、婚姻届を出していない関係も含みます。

※配偶者とは、あなたのご主人、パートナーの方などをさします。

問 13(Q13SPSE) あなたには、現在、配偶者の方がいますか。 (N=238)

1	2	3	[無回答]
配偶者がいる	いない (離別・死別)	いない (結婚したことがない)	
156 (65.5%)	43 (18.1%)	38 (16.0%)	1 (0.4%)



問 24 へ

問 14(Q14SPAG) 配偶者の方の年齢をご記入ください。

満

歳

平均年齢：59.9 歳、SD=12.67 (N=155)

問 15(Q15SPED) あなたの配偶者が最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。
(N=156)

1	中学校 (旧制小学校)	34 (21.8%)	5	大学 (旧制高校・大学)	16 (10.3%)
2	高校 (旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	76 (48.7%)	6	大学院	0 (0.0%)
3	短大・高専	20 (12.8%)	7	わからない	2 (1.3%)
4	専門学校	8 (5.1%)		無回答	0 (0.0%)

問 16(Q16SPLV) 配偶者の方は、現在、あなたといっしょにお住まいですか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。 (N=156)

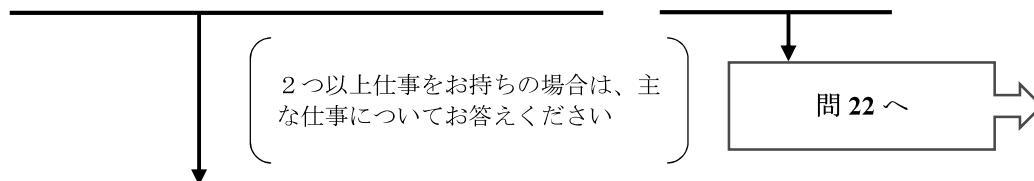
1	2	3	[無回答]
いっしょに住んでいる	別居 (単身赴任など)	その他 (具体的に)	
150 (96.2%)	6 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

問 17 配偶者の方のご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
(N=156)

	お義父さま (Q17SPFTLV)	回答数	お義母さま (Q17SPMTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	6 件 (3.8%)	1	9 件 (5.8%)
あなたと同じ小学校区	2	3 件 (1.9%)	2	6 件 (3.8%)
あなたと同じ市町村内	3	11 件 (7.1%)	3	18 件 (11.5%)
高知県内	4	19 件 (12.2%)	4	27 件 (17.3%)
高知県以外の四国地方内 (愛媛県・香川県・徳島県)	5	0 件 (0.0%)	5	0 件 (0.0%)
上記以外の地域	6	3 件 (1.9%)	6	4 件 (1.7%)
いない (死亡など)	7	107 件 (68.6%)	7	88 件 (56.4%)
わからない	8	1 件 (0.6%)	8	2 件 (1.3%)
〔無回答〕		6 件 (3.8%)		2 件 (1.3%)
合計		156 件 (100.0%)		156 件 (100.0%)

問 18(Q18SPWK) 配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=156)

1	2	3	〔無回答〕
ついている 98 (62.8%)	ついているが休職中 1 (0.6%)	ついていない 56 (35.9%)	1 (0.6%)



問 19(Q19SPOC) 配偶者の方の仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=99)

1	自営業主・自由業・家族従業員	33 (33.3%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	16 (16.2%)
2	経営者・役員	5 (5.1%)	6	学生	0 (0.0%)
3	正規の職員・社員	24 (24.2%)	7	その他 (具 88 体的に)	9 (9.1%)
4	公務員	11 (11.1%)		〔無回答〕	1 (1.0%)

問 20(Q20SPJB) 配偶者の方の仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(N=99)

1	上級管理職 (経営者・役員・部長など)	4 (4.0%)	7	運輸・通信 (運転手・船員・通信員・郵便外務など)	1 (1.0%)
2	中間管理職 (課長・店長など)	6 (6.1%)	8	保安・警備 (守衛・警官・自衛官など)	1 (1.0%)
3	専門・技術 (技術者・教員・弁護士など)	6 (6.1%)	9	製造・建設 (工業作業・建築作業員など)	11 (11.1%)
4	事務 (総務・経理・企画・営業事務など)	13 (13.1%)	10	農林漁業・鉱業	21 (21.2%)
5	販売 (小売店主・店員・外交員など)	10 (10.1%)	11	その他 (具体的)	11 (11.1%)
6	サービス (理美容・調理・家事サービスなど)	14 (14.1%)		〔無回答〕	1 (1.0%)

問 21(Q21PLWP) 配偶者の方が主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=99)

1	2	3	4	5	[無回答]
自宅 16 (16.2%)	お住まいと同じ 小学校区内 5 (5.1%)	お住まいと同じ 市町村内 34 (34.3%)	高知県内 39 (39.4%)	その他の都道府県 (具体的に) 3 (3.0%)	2 (2.0%)

問 21-1(Q211SPCM) 配偶者の方の通勤時間は平均すると片道どのくらいですか。通常
使用している交通機関 (交通手段) の合計時間でお答えください。(N=80)

片道： 約 時間 分 : 平均時間=19.3 分、SD=22.49

問 22(Q22SPIN) 配偶者の方の昨年 1 年間 (1 月～12 月) の収入 (税込み) は、次のうちどれに近い
か。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。(N=156)

1 なし : 21 (13.5%)	5 500～700 万円未満 : 12 (7.7%)	9 1300 万円以上 : 2 (1.3%)
2 100 万円未満 : 25 (16.0%)	6 700～900 万円未満 : 4 (2.6%)	10 わからない : 7 (4.5%)
3 100～300 万円未満 : 45 (28.8%)	7 900～1100 万円未満 : 1 (0.6%)	11 答えたくない : 6 (3.8%)
4 300～500 万円未満 : 24 (15.4%)	8 1100～1300 万円未満 : 2 (1.3%)	[無回答] : 7 (4.5%)

問 23 配偶者の方の兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの 1 つに○ をつけてください。
(N=156)

兄(Q231ELBR) [N=58] : 平均人数=1.24 人、SD=0.60

1 人 (48; 30.8%)、2 人 (7; 4.5%)、3 人 (2; 1.3%)、4 人 (1; 0.6%)

姉(Q12ELST) [N=54] : 平均人数=1.30 人、SD=0.79

1 人 (45; 28.8%)、2 人 (5; 3.2%)、3 人 (2; 1.3%)、4 人 (1; 0.6%)、5 人 (1; 0.6%)

弟(Q12YGBR) [N=75] : 平均人数=1.27 人、SD=0.58

1 人 (59; 37.8%)、2 人 (13; 8.3%)、3 人 (2; 1.3%)、4 人 (1; 0.6%)

妹(Q12YGST) [N=52] : 平均人数=1.31 人、SD=0.58

1 人 (39; 25.0%)、2 人 (10; 6.4%)、3 人 (3; 1.9%)

問 24(Q24CHLD) あなたには、現在、子どもはいますか。あてはまるものいずれか 1 つに○ をつけてく
ださい。(N=209)

1	2	[無回答]
はい、います 180 (75.6%)	いいえ、いません 56 (23.5%)	2 (0.8%)

問 27 へ

問 25(Q25CHNO) あなたの子どもの人数をご記入ください。(N=180)

人 : 平均人数=2.2 人、SD=0.68

1 人 (20; 11.1%)、2 人 (108; 60.0%)、3 人 (46; 25.6%)、4 人 (6; 3.3%)

問 26 あなたの子どもについて、年長者から順に4人目までのお子さまについて、それぞれあてはまるものの1つに○をつけてください。お子さまの年齢につきましても各自の満年齢をご記入ください。もし、5人以上お子さまがいる場合でも、4人目までの記入で結構です。

	一人目 (N=180)	二人目 (N=160)	三人目 (N=52)	四人目 (N=5)
年齢	(Q261AGE) 満 () 歳 平均年齢=34.6 歳 SD=12.97	(Q262AGE) 満 () 歳 平均年齢=32.8 歳 SD=12.16	(Q263AGE) 満 () 歳 平均年齢=26.2 歳 SD=11.67	(Q264AGE) 満 () 歳 平均年齢=27.8 歳 SD=12.64
性別	(Q261SX) 1 男: 94 (52.2%) 2 女: 85 (47.2%) 無回答: 1 (0.6%)	(Q262SX) 1 男: 76 (47.5%) 2 女: 83 (51.9%) 無回答: 1 (0.6%)	(Q263SX) 1 男: 25 (48.1%) 2 女: 27 (51.9%) 無回答: 0 (0.0%)	(Q264SX) 1 男: 2 (40.0%) 2 女: 3 (60.0%) 無回答: 0 (0.0%)
住まい	(Q261LV) 1 同居、同じ敷地内 53 (29.4%) 2 別居、同じ町内 21 (11.7%) 3 別居、高知県内 55 (30.6%) 4 別居、高知県外 48 (26.7%) 無回答: 3 (1.7%)	(Q262LV) 1 同居、同じ敷地内 43 (26.9%) 2 別居、同じ町内 19 (11.9%) 3 別居、高知県内 46 (28.7%) 4 別居、高知県外 49 (30.6%) 無回答: 3 (1.9%)	(Q263LV) 1 同居、同じ敷地内 19 (36.5%) 2 別居、同じ町内 7 (13.5%) 3 別居、高知県内 12 (23.1%) 4 別居、高知県外 12 (23.1%) 無回答: 2 (3.8%)	(Q264LV) 1 同居、同じ敷地内 2 (40.0%) 2 別居、同じ町内 0 (0.0%) 3 別居、高知県内 1 (20.0%) 4 別居、高知県外 2 (40.0%) 無回答: 0 (0.0%)
最後に通った学校	(Q261EDU) 1 未就学児 7 (3.9%) 2 小学校 2 (1.1%) 3 中学校 9 (5.0%) 4 高等学校 70 (38.9%) 5 短大・高専 21 (11.7%) 6 専門学校 23 (12.8%) 7 大学 41 (22.8%) 8 大学院 4 (2.2%) 無回答: 3 (1.7%)	(Q262EDU) 1 未就学児 4 (2.5%) 2 小学校 2 (1.3%) 3 中学校 10 (6.3%) 4 高等学校 57 (35.6%) 5 短大・高専 17 (10.6%) 6 専門学校 20 (12.5%) 7 大学 38 (23.8%) 8 大学院 8 (5.0%) 無回答: 4 (2.5%)	(Q263EDU) 1 未就学児 2 (3.8%) 2 小学校 3 (5.8%) 3 中学校 7 (13.5%) 4 高等学校 15 (28.8%) 5 短大・高専 2 (3.8%) 6 専門学校 6 (11.5%) 7 大学 13 (25.0%) 8 大学院 1 (1.9%) 無回答: 3 (5.8%)	(Q264EDU) 1 未就学児 0 (0.0%) 2 小学校 0 (0.0%) 3 中学校 1 (20.0%) 4 高等学校 1 (20.0%) 5 短大・高専 2 (40.0%) 6 専門学校 1 (20.0%) 7 大学 0 (0.0%) 8 大学院 0 (0.0%) 無回答: 0 (0.0%)
仕事	(Q261JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 20 (11.1%) 2 経営者・役員 3 (1.7%) 3 正規の職員・社員 53 (29.4%) 4 公務員 26 (14.4%)	(Q262JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 15 (9.4%) 2 経営者・役員 0 (0.0%) 3 正規の職員・社員 61 (38.1%) 4 公務員 19 (11.9%)	(Q263JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 2 (3.8%) 2 経営者・役員 1 (1.9%) 3 正規の職員・社員 12 (23.1%) 4 公務員 5 (9.6%)	(Q264JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 0 (0.0%) 2 経営者・役員 0 (0.0%) 3 正規の職員・社員 4 (80.0%) 4 公務員 0 (0.0%)

5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 32 (17.8%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 22 (13.8%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 7 (13.5%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 0 (0.0%)
6	学生 12 (6.7%)	6	学生 19 (11.9%)	6	学生 14 (26.9%)	6	学生 1 (20.0%)
7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 16 (8.9%)	7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 9 (5.6%)	7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 5 (9.6%)	7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 0 (0.0%)
8	わからない 6 (3.3%)	8	わからない 5 (3.1%)	8	わからない 1 (1.9%)	8	わからない 0 (0.0%)
[未就学児]: 7 (3.9%) 無回答: 5 (2.8%)		[未就学児]: 4 (2.5%) 無回答: 6 (3.8%)		[未就学児]: 2 (3.8%) 無回答: 3 (5.8%)		[未就学児]: 0 (0.0%) 無回答: 0 (0.0%)	

第3部 あなたが日ごろから親しくしている人たちについておうかがいします。

問 27(Q27KIN) あなたの家族（配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹）以外で、日常的に交流のある親せきは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=228)

--	--

人：平均人数=6.5 人、SD=8.66

問 28(Q28WKFR) あなたの仕事の関係上で、プライベートでも親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=201)

--	--

人：平均人数=5.0 人、SD=6.76

問 29(Q29CHFR) あなたの子どもたちを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=186)

--	--

人：平均人数=2.7 人、SD=4.08

問 30(Q30LCFR) 地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、あなたが現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=213)

--	--

人：平均人数=6.0 人、SD=16.59

問 31(Q31LCAC) あなたは、次のような活動に参加していますか。過去 1 年間のあいだに参加されたことがあるものすべてに○をつけてください。いずれの活動にも参加していない方は、「8」に○をつけてください。(N=236) [複数回答]

		参加したことがある
1	自治会・町内会・婦人会などの地域活動	80 (33.9%)
2	幼稚園・保育園・学童クラブの父母会、学校の PTA の活動	21 (8.9%)
3	子育てに関連したグループでの活動	11 (4.7%)
4	趣味やスポーツのグループでの活動	66 (28.0%)
5	ボランティア活動	52 (22.0%)
6	市民運動・消費者運動のグループでの活動	9 (3.8%)
7	宗教の団体や教会での活動	11 (4.7%)
8	いずれの活動にも参加していない	98 (41.5%)

第4部 あなたが普段よく話す方たちで、重要なことを話したり、悩みを相談する方たちについてお伺いします。

問 32(Q32INMT) あなたがよく話をする人たちについておうかがいします。あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=235)

--	--

人：平均人数=3.3人、SD=2.84

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんとします。ただし、A～Dとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

A さん	B さん	C さん	D さん

問 33 あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべたAさん～Dさんについて、あなたとその方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	A さん (Q33ARK) (N=214)	B さん (Q33BRL) (N=187)	C さん (Q33CRL) (N=145)	D さん (Q33DRL) (N=97)	全体 (N=643)
配偶者（夫または妻）	88 (41.1%)	9 (4.8%)	2 (1.4%)	4 (4.1%)	103 (16.0%)
親または子ども	31 (14.5%)	73 (39.0%)	29 (20.0%)	10 (10.3%)	143 (22.2%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	31 (14.5%)	34 (18.2%)	48 (33.1%)	19 (19.6%)	132 (20.5%)
職場の上司または部下	3 (1.4%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	4 (4.1%)	10 (1.6%)
職場の同僚（上司・部下以外）	7 (3.3%)	5 (2.7%)	4 (2.8%)	3 (3.1%)	19 (3.0%)
その他の仕事関係	1 (0.5%)	6 (3.2%)	8 (5.5%)	4 (4.1%)	19 (3.0%)
同じ組織や団体に加入している人	3 (1.4%)	3 (1.6%)	5 (3.4%)	6 (6.2%)	17 (2.6%)
近所の人	4 (1.9%)	10 (5.3%)	7 (4.8%)	5 (5.2%)	26 (4.0%)
友人	41 (19.2%)	40 (21.4%)	41 (28.3%)	39 (40.2%)	161 (25.0%)
その他	3 (1.4%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	8 (1.2%)
無回答	2 (0.9%)	1 (0.5%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	5 (0.8%)

問 34 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	A さん (Q34ASX) (N=214)	B さん (Q34BSX) (N=187)	C さん (Q34CSX) (N=145)	D さん (Q34SDX) (N=97)	全体 (N=643)
男性	99 (46.3%)	81 (43.3%)	63 (43.4%)	45 (46.4%)	288 (44.8%)
女性	115 (53.7%)	104 (55.6%)	81 (55.9%)	52 (53.6%)	352 (54.7%)
無回答	0 (0.0%)	2 (1.1%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	3 (0.5%)

問 35 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	A さん (Q35AAGE) (N=210)	B さん (Q35BAGE) (N=183)	C さん (Q35CAGE) (N=143)	D さん (Q35DAGE) (N=95)	全体 (N=643)
平均年齢	57.6, SD=14.39	56.4, SD=17.40	56.5, SD=16.20	56.3, SD=16.36	56.8, SD=15.99

問 36 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	A さん (Q36AKNYR) (N=196)	B さん (Q36BKNYR) (N=172)	C さん (Q36CKNYR) (N=133)	D さん (Q36DKNYR) (N=95)	全体 (N=596)
平均年数	33.6, SD=16.15	35.9, SD=17.39	35.6, SD=18.84	32.4, SD=16.75	34.5, SD=17.24

問 37 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いでは ないと思う	わからない	[無回答]
AB「A さんと B さんは、知り合い ですか」(Q37KNAB) (N=187)	158 (84.5%)	22 (11.8%)	1 (0.5%)	6 (3.2%)
AC「A さんと C さんは、知り合い ですか」(Q37KNAC) (N=145)	122 (84.1%)	18 (12.4%)	0 (0.0%)	5 (3.4%)
AD「A さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNAD) (N=97)	74 (76.3%)	19 (19.6%)	2 (2.1%)	2 (2.1%)
BC「B さんと C さんは、知り合い ですか」(Q37KNBC) (N=145)	111 (76.6%)	23 (15.9%)	3 (2.1%)	8 (5.5%)
BD「B さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNBD) (N=97)	67 (69.1%)	17 (17.5%)	5 (5.2%)	8 (8.2%)
CD「C さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNCD) (N=97)	68 (70.1%)	17 (17.5%)	3 (3.1%)	9 (9.3%)

問 38 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。

	A さん (Q38ACTFR) (N=214)	B さん (Q38BCTFR) (N=187)	C さん (Q38CCTFR) (N=145)	D さん (Q38DCTFR) (N=97)	全体 (N=643)
ほとんど毎日	128 (59.8%)	60 (32.1%)	26 (17.9%)	20 (20.6%)	234 (36.4%)
週に数回	38 (17.8%)	62 (33.2%)	38 (26.2%)	29 (29.9%)	167 (26.0%)
週に 1 回程度	18 (8.4%)	39 (20.9%)	32 (22.1%)	17 (17.5%)	106 (16.5%)
月に 1 回程度	14 (6.5%)	16 (8.6%)	36 (24.8%)	25 (25.8%)	91 (14.2%)
年に数回	12 (5.6%)	7 (3.7%)	13 (9.0%)	6 (6.2%)	38 (5.9%)
無回答	4 (1.9%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (1.1%)

問 39 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	A さん (Q39AEDU) (N=214)	B さん (Q39BEDU) (N=187)	C さん (Q39CEDU) (N=145)	D さん (Q39DEDU) (N=97)	全体 (N=643)
中学校（旧制小学校）	41 (19.2%)	30 (16.0%)	28 (19.3%)	14 (14.4%)	113 (17.6%)
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	97 (45.3%)	94 (50.3%)	66 (45.5%)	44 (45.4%)	301 (46.8)
短大・高専	17 (7.9%)	13 (7.0%)	9 (6.2%)	3 (3.1%)	42 (6.5%)
専門学校	14 (6.5%)	7 (3.7%)	9 (6.2%)	8 (8.2%)	38 (5.9%)
大学（旧制高校・大学）	24 (11.2%)	26 (13.9%)	22 (15.2%)	23 (23.7%)	95 (14.8%)
大学院	1 (0.5%)	3 (1.6%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	6 (0.9%)
わからない	15 (7.0%)	11 (5.9%)	8 (5.5%)	5 (5.2%)	39 (6.1%)
無回答	5 (2.3%)	3 (1.6%)	1 (0.7%)	3 (3.4%)	9 (1.4%)

問 40 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	A さん (Q40AWRK) (N=214)	B さん (Q40BWRK) (N=187)	C さん (Q40CWRK) (N=145)	D さん (Q40DWRK) (N=97)	全体 (N=643)
自営業主・自由業・家族従業員	56 (26.2%)	39 (20.9%)	34 (23.4%)	22 (22.7%)	151 (23.5%)
経営者・役員	3 (1.4%)	7 (3.7%)	3 (2.1%)	1 (1.0%)	14 (2.2%)
正規の職員・社員	40 (18.7%)	31 (16.65%)	31 (21.4%)	22 (22.7%)	124 (19.3%)
公務員	19 (8.9%)	16 (8.6%)	12 (8.3%)	7 (7.2%)	54 (8.4%)
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	27 (12.6%)	28 (15.0%)	18 (12.4%)	15 (15.5%)	88 (13.7%)
学生	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	3 (0.5%)
仕事をしていない（専業主婦・退職者など）	59 (27.6%)	57 (30.5%)	42 (29.0%)	24 (24.7%)	182 (28.3%)
わからない	3 (1.4%)	3 (1.6%)	3 (2.1%)	4 (4.1%)	13 (2.0%)
無回答	7 (3.3%)	5 (2.7%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	14 (2.2%)

問 41 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	A さん (Q41AJB) (N=214)	B さん (Q41BJB) (N=187)	C さん (Q41CJB) (N=145)	D さん (Q41DJB) (N=97)	全体 (N=643)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	11 (5.1%)	7 (3.7%)	7 (4.8%)	9 (9.3%)	34 (5.3%)
中間管理職（課長・店長など）	8 (3.7%)	9 (4.8%)	4 (2.8%)	3 (3.1%)	24 (3.7%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	15 (7.0%)	16 (8.6%)	17 (11.7%)	13 (13.4%)	61 (9.5%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	23 (10.7%)	17 (9.1%)	14 (9.7%)	8 (8.2%)	62 (9.6%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	16 (7.5%)	11 (5.9%)	8 (5.5%)	8 (8.2%)	43 (6.7%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	16 (7.5%)	17 (9.1%)	12 (8.3%)	3 (3.1%)	48 (7.5%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	2 (0.9%)	4 (2.1%)	3 (2.1%)	1 (1.0%)	10 (1.6%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	1 (0.5%)	1 (0.5%)	2 (1.4%)	1 (1.0%)	5 (0.8%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	14 (6.5%)	9 (4.8%)	7 (4.8%)	4 (4.1%)	34 (5.3%)
農林漁業・鉱業	26 (12.1%)	19 (10.2%)	16 (11.0%)	13 (13.4%)	74 (11.5%)
わからない	12 (5.6%)	5 (2.7%)	4 (2.8%)	4 (4.1%)	25 (3.9%)
記入不要（問 41 で「学生」「仕事を していない」場合で未記入の回答 数）	59 (27.6%)	58 (40.0%)	43 (29.7%)	25 (25.7%)	185 (28.8%)
無回答	11 (5.1%)	14 (7.5%)	8 (5.5%)	5 (5.2%)	38 (5.9%)

問 42 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	A さん (Q42AINT) (N=214)	B さん (Q42BINT) (N=187)	C さん (Q42CINT) (N=145)	D さん (Q42DINT) (N=97)	全体 (N=643)
とても親しい	167 (78.0%)	134 (71.7%)	106 (73.1%)	67 (69.1%)	474 (73.7%)
親しい	37 (17.3%)	45 (24.1%)	36 (24.8%)	26 (26.8%)	144 (22.4%)
それほど親しくない	2 (0.9%)	2 (1.1%)	1 (0.7%)	3 (3.1%)	8 (1.2%)
無回答	8 (3.7%)	6 (3.2%)	2 (1.4%)	1 (1.0%)	17 (2.6%)

問 43 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。[複数回答]

	A さん (Q43ARLS) (N=213)	B さん (Q43BRLS) (N=187)	C さん (Q43CRLS) (N=145)	D さん (Q43DRLS) (N=99)	全体 (N=644)
共通の趣味や娯楽を持っている	131 (61.5%)	83 (44.4%)	76 (52.4%)	58 (58.6%)	348 (54.0%)
最近 6 ヶ月間に、遊びや食事の ためにいっしょに出かけたこと がある	127 (59.6%)	109 (58.3%)	89 (61.4%)	63 (63.6%)	388 (60.2%)
まとまったお金を借りることができる	50 (23.5%)	29 (15.5%)	21 (14.5%)	11 (11.1%)	111 (17.2%)

第5部 あなたが地元・奈半利町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。

問 44(Q44LCINF) あなたが地元・奈半利町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=235)

--	--

人: 平均人数=3.3 人、SD=4.84

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Eさん、Fさん、Gさん、Hさんとします。ただし、E～Hとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

Eさん	Fさん	Gさん	Hさん

問 45 あなたが地元・奈半利町の詳しい情報について知りたい場合に、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべたEさん～Hさんについて、あなたとその方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	Eさん (Q45ERL) (N=193)	Fさん (Q45FRL) (N=158)	Gさん (Q45GRL) (N=115)	Hさん (Q45HRL) (N=81)	全体 (N=548)
配偶者（夫または妻）	59 (30.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	61 (11.1%)
親または子ども	23 (11.9%)	31 (19.6%)	8 (6.9%)	5 (6.2%)	67 (12.2%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	29 (15.0%)	24 (15.2%)	21 (18.1%)	5 (6.2%)	79 (14.4%)
職場の上司または部下	4 (2.1%)	6 (3.8%)	3 (2.6%)	2 (2.5%)	15 (2.7%)
職場の同僚（上司・部下以外）	9 (4.7%)	9 (5.7%)	7 (6.0%)	6 (7.4%)	31 (5.7%)
その他の仕事関係	5 (2.6%)	8 (5.1%)	7 (6.0%)	2 (2.5%)	22 (4.0%)
同じ組織や団体に加入している人	8 (4.1%)	9 (5.7%)	9 (7.8%)	3 (3.7%)	29 (5.3%)
近所の人	19 (9.8%)	30 (19.0%)	26 (22.4%)	24 (29.6%)	99 (18.1%)
友人	30 (15.5%)	35 (22.2%)	31 (26.7%)	29 (35.8%)	125 (22.8%)
その他	3 (1.6%)	3 (1.9%)	3 (2.6%)	2 (2.5%)	11 (2.0%)
無回答	4 (2.1%)	2 (1.3%)	1 (0.9%)	2 (2.5%)	9 (1.6%)

問 46 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Eさん (Q46ESX) (N=193)	Fさん (Q46FSX) (N=158)	Gさん (Q46GSX) (N=116)	Hさん (Q46HSX) (N=81)	全体 (N=548)
男性	86 (44.6%)	72 (45.6%)	56 (48.3%)	38 (46.9%)	252 (46.0%)
女性	106 (54.9%)	84 (53.2%)	57 (49.1%)	40 (49.4%)	287 (52.4%)
無回答	1 (0.5%)	2 (1.3%)	3 (2.6%)	3 (3.7%)	9 (1.6%)

問 47 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	E さん (Q47EAGE) (N=192)	F さん (Q47FAGE) (N=155)	G さん (Q47GAGE) (N=114)	H さん (Q47HAGE) (N=81)	全体 (N=542)
平均年齢	59.6, SD=13.68	57.5, SD=14.37	58.8, SD=14.63	60.1, SD=12.90	58.9, SD=13.97

問 48 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	E さん (Q48EKNYR) (N=186)	F さん (Q48FKNYR) (N=150)	G さん (Q48GKNYR) (N=108)	H さん (Q48HKNYR) (N=77)	全体 (N=521)
平均年数	33.1, SD=16.74	29.7, SD=17.57	27.0, SD=17.06	27.8, SD=16.46	30.1, SD=17.14

問 49 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いでは ないと思う	わからない	[無回答]
EF 「E さんと F さんは、知り合いですか」(Q49KNEF) (N=158)	138 (87.3%)	11 (7.0%)	3 (1.9%)	6 (3.8%)
EG 「E さんと G さんは、知り合いですか」(Q49KNEG) (N=116)	97 (83.6%)	11 (9.5%)	5 (4.3%)	3 (2.6%)
EH 「E さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNEH) (N=81)	70 (86.4%)	9 (11.1%)	1 (1.2%)	1 (1.2%)
FG 「F さんと G さんは、知り合いですか」(Q49KNFG) (N=116)	91 (78.4%)	14 (12.1%)	6 (5.2%)	5 (4.3%)
FH 「F さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNFH) (N=81)	60 (74.1%)	9 (11.1%)	2 (2.5%)	10 (12.3%)
GH 「G さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNGH) (N=81)	62 (76.5%)	7 (8.6%)	1 (1.2%)	11 (13.6%)

問 50 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	E さん (Q50ECTFR) (N=193)	F さん (Q50FCTFR) (N=158)	G さん (Q50GCTFR) (N=116)	H さん (Q50HCTFR) (N=81)	全体 (N=548)
ほとんど毎日	97 (50.3%)	35 (22.2%)	18 (15.5%)	13 (16.0%)	163 (29.7%)
週に数回	42 (21.8%)	61 (38.6%)	28 (24.1%)	19 (23.5%)	150 (27.4%)
週に 1 回程度	18 (9.3%)	29 (18.4%)	27 (23.3%)	19 (23.5%)	93 (17.0%)
月に 1 回程度	22 (11.4%)	21 (13.3%)	28 (24.1%)	20 (24.7%)	91 (16.6%)
年に数回	8 (4.1%)	9 (5.7%)	13 (11.2%)	8 (9.9%)	38 (6.9%)
無回答	6 (3.1%)	3 (1.9%)	2 (1.7%)	2 (2.5%)	13 (2.4%)

問 51 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	E さん (Q51EEDU) (N=193)	F さん (Q51FEDU) (N=158)	G さん (Q51GEDU) (N=116)	H さん (Q51HEDU) (N=81)	全体 (N=548)
中学校（旧制小学校）	30 (15.5%)	20 (12.7%)	19 (16.4%)	14 (17.3%)	83 (15.1%)
高校（旧制中学校・高等 女学校・実業学校・師範 学校）	88 (45.6%)	83 (52.5%)	47 (40.5%)	29 (35.8%)	247 (45.1%)
短大・高専	15 (7.8%)	8 (5.1%)	8 (6.9%)	3 (3.7%)	34 (6.2%)
専門学校	18 (9.3%)	14 (8.9%)	5 (4.3%)	11 (13.6%)	48 (8.8%)
大学（旧制高校・大学）	16 (8.3%)	9 (5.7%)	12 (10.3%)	8 (9.9%)	45 (8.2%)
大学院	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
わからない	22 (11.4%)	19 (12.0%)	20 (17.2%)	12 (14.8%)	73 (13.3%)
無回答	4 (2.1%)	4 (2.5%)	5 (4.3%)	4 (4.9%)	17 (3.1%)

問 52 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしているますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	E さん (Q52EWRK) (N=193)	F さん (Q52FWRK) (N=158)	G さん (Q52GWRK) (N=116)	H さん (Q52HWRK) (N=81)	全体 (N=548)
自営業主・自由業・家族 従業員	53 (27.5%)	43 (27.2%)	36 (31.0%)	28 (34.6%)	160 (29.2%)
経営者・役員	5 (2.6%)	14 (8.9%)	4 (3.4%)	4 (4.9%)	27 (4.9%)
正規の職員・社員	25 (13.0%)	23 (14.6%)	13 (11.2%)	7 (8.6%)	68 (12.4%)
公務員	22 (11.4%)	15 (9.5%)	10 (8.6%)	8 (9.9%)	55 (10.0%)
パート・アルバイト・嘱 託・臨時・派遣	31 (16.1%)	16 (10.1%)	15 (12.9%)	11 (13.6%)	73 (13.3%)
学生	0 (0.0%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)
仕事をしていない(専業 主婦・退職者など)	48 (24.9%)	37 (23.4%)	27 (23.3%)	17 (21.0%)	129 (23.5%)
わからない	2 (1.0%)	3 (1.9%)	2 (1.7%)	3 (3.7%)	10 (1.8%)
無回答	7 (3.6%)	5 (3.2%)	9 (7.8%)	3 (3.7%)	24 (4.4%)

問 53 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに〇をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	E さん (Q53EJB) (N=193)	F さん (Q53FJB) (N=158)	G さん (Q53GJB) (N=116)	H さん (Q53HJB) (N=81)	全体 (N=548)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	14 (7.3%)	15 (9.5%)	8 (6.9%)	8 (9.9%)	45 (8.2%)
中間管理職（課長・店長など）	9 (4.7%)	6 (3.8%)	6 (5.2%)	3 (3.7%)	24 (4.4%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	7 (3.6%)	11 (7.0%)	10 (8.6%)	10 (12.3%)	38 (6.9%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	23 (11.9%)	18 (11.4%)	10 (8.6%)	11 (13.6%)	62 (11.3%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	12 (6.2%)	9 (5.7%)	7 (6.0%)	4 (4.9%)	32 (5.8%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	19 (9.8%)	13 (8.2%)	9 (7.8%)	5 (6.2%)	46 (8.4%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	2 (1.0%)	1 (0.6%)	1 (0.9%)	1 (1.2%)	5 (0.9%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (1.5%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	5 (2.6%)	7 (4.4%)	5 (4.3%)	4 (4.9%)	38 (6.9%)
農林漁業・鉱業	25 (13.0%)	24 (15.2%)	11 (9.5%)	8 (9.9%)	49 (8.9%)
わからない	14 (7.3%)	5 (3.2%)	8 (6.9%)	4 (4.9%)	28 (5.1%)
記入不要（問 52 で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	48 (24.9%)	37 (23.4%)	27 (23.3%)	17 (21.0%)	129 (23.5%)
無回答	14 (7.3%)	10 (6.3%)	14 (12.1%)	6 (7.4%)	44 (8.0%)

問 54 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	E さん (Q54EINT) (N=193)	F さん (Q54FINT) (N=158)	G さん (Q54GINT) (N=116)	H さん (Q54HINT) (N=81)	全体 (N=548)
とても親しい	120 (62.2%)	75 (47.5%)	40 (34.5%)	34 (42.0%)	269 (49.1%)
親しい	52 (26.9%)	69 (43.7%)	69 (59.5%)	39 (48.1%)	229 (41.8%)
それほど親しくない	11 (5.7)	9 (5.7%)	4 (3.4%)	6 (7.4%)	30 (5.5%)
無回答	10 (5.2%)	5 (3.2%)	3 (2.6%)	2 (2.5%)	20 (3.6%)

問 55 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。[複数回答]

	E さん (Q55ERLS) (N=193)	F さん (Q55FRLS) (N=158)	G さん (Q55GRLS) (N=116)	H さん (Q55HRLS) (N=82)	全体 (N=548)
共通の趣味や娯楽を持っている	99 (51.3%)	73 (46.2%)	50 (43.1%)	38 (46.3%)	260 (47.4%)
最近 6 ヶ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	104 (53.9%)	79 (50.0%)	59 (50.9%)	42 (51.2%)	284 (51.8%)
まとまったお金を借りることができる	36 (18.7%)	11 (7.0%)	10 (8.6%)	8 (9.8%)	65 (11.9%)

第 6 部 あなたが防災情報や災害時の備えなどについて詳しく知りたい場合に、これらについて話をしたり相談したりする方たちについてお伺いします。

問 56 (Q56LDPNF) あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話したり情報収集に協力してくれたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=133)

人： 平均人数=2.8 人、SD=3.28

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、I さん、J さん、K さん、L さんとします。ただし、I～L とは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

I さん	J さん	K さん	L さん

問 57 あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たちについておうかがいします。先ほど思い浮かべた I さん～L さんについて、あなたとの方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	I さん (Q57IRL) (N=184)	J さん (Q57JRL) (N=148)	K さん (Q57KRL) (N=105)	L さん (Q57LRL) (N=66)	全体 (N=503)
配偶者（夫または妻）	79 (42.9%)	3 (2.0%)	2 (1.9%)	1 (1.5%)	85 (16.9%)
親または子ども	25 (13.6%)	50 (33.8%)	16 (15.2%)	3 (4.5%)	94 (18.7%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	17 (9.2%)	26 (17.6%)	24 (22.9%)	11 (16.7%)	78 (15.5%)
職場の上司または部下	4 (2.2%)	6 (4.1%)	4 (3.8%)	2 (3.0%)	16 (3.2%)
職場の同僚（上司・部下以外）	1 (0.5%)	3 (2.0%)	1 (1.0%)	4 (6.1%)	9 (1.8%)
その他の仕事関係	4 (2.2%)	3 (2.0%)	5 (4.8%)	1 (1.5%)	13 (2.6%)
同じ組織や団体に加入している人	6 (3.3%)	7 (4.7%)	7 (6.7%)	6 (9.1%)	26 (5.2%)
近所の人	25 (13.6%)	21 (14.2%)	18 (17.1%)	18 (27.3%)	82 (16.3%)
友人	18 (9.8%)	27 (18.2%)	23 (21.9%)	17 (25.8%)	85 (16.9%)
その他	2 (1.1%)	1 (0.7%)	4 (3.8%)	3 (4.5%)	10 (2.0%)
無回答	3 (1.6%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)

問 58 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	I さん (Q58ISX) (N=184)	J さん (Q58JSX) (N=148)	K さん (Q58KSX) (N=105)	L さん (Q58LSX) (N=66)	全体 (N=503)
男性	112 (60.9%)	90 (60.8%)	68 (64.8%)	45 (68.2%)	315 (62.6%)
女性	69 (37.5%)	55 (37.2%)	35 (33.3%)	18 (27.3%)	177 (35.2%)
無回答	3 (1.6%)	3 (2.0%)	2 (1.9%)	3 (4.5%)	11 (2.2%)

問 59 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	I さん (Q59IAGE) (N=180)	J さん (Q59JAGE) (N=146)	K さん (Q59KAGE) (N=103)	L さん (Q59LAGE) (N=64)	全体 (N=493)
平均年齢	59.5, SD=14.23	54.4 SD=15.77	55.3, SD=16.36	61.2, SD=13.74	57.3, SD=15.29

問 60 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	I さん (Q60IKNYR) (N=171)	J さん (Q60JKNYR) (N=140)	K さん (Q60KKNYR) (N=101)	L さん (Q60LKNYR) (N=65)	全体 (N=477)
平均年数	33.9, SD=15.77	31.5, SD=16.91	30.4, SD=18.74	30.2, SD=17.67	31.9, SD=17.04

問 61 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
IJ「IさんとJさんは、知り合いですか」 (Q611KNIJ) (N=148)	134 (90.5%)	6 (4.1%)	3 (2.0%)	5 (3.4%)
IK「IさんとKさんは、知り合いですか」 (Q612KNIK) (N=105)	90 (85.7%)	10 (9.5%)	3 (2.9%)	2 (1.9%)
IL「IさんとLさんは、知り合いですか」 (Q612KNIL) (N=66)	55 (83.3%)	7 (10.6%)	2 (3.0%)	2 (3.0%)
JK「JさんとKさんは、知り合いですか」 (Q614KNJK) (N=105)	86 (81.9%)	14 (13.3%)	2 (1.9%)	3 (2.9%)
JL「JさんとLさんは、知り合いですか」 (Q615KNJL) (N=66)	43 (65.2%)	9 (13.6%)	2 (3.0%)	12 (18.2%)
KL「KさんとLさんは、知り合いですか」 (Q616KNKL) (N=66)	43 (65.2%)	9 (13.6%)	2 (3.0%)	12 (18.2%)

問 62 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

	I さん (Q62ICTFR) (N=184)	J さん (Q62JCTFR) (N=148)	K さん (Q62KCTFR) (N=105)	L さん (Q62LCTFR) (N=66)	全体 (N=503)
ほとんど毎日	99 (53.8%)	49 (33.1%)	19 (18.1%)	9 (13.6%)	176 (35.0%)
週に数回	31 (16.8%)	48 (32.4%)	28 (26.7%)	24 (36.4%)	131 (26.0%)
週に 1 回程度	14 (7.6%)	19 (12.8%)	24 (22.9%)	13 (19.7%)	70 (13.9%)
月に 1 回程度	16 (8.7%)	16 (10.8%)	25 (23.8%)	11 (16.7%)	68 (13.5%)
年に数回	12 (6.5%)	10 (6.8%)	7 (6.7%)	9 (13.6%)	38 (7.6%)
無回答	12 (6.5%)	6 (4.1%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	20 (4.0%)

問 63 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	I さん (Q63IEDU) (N=184)	J さん (Q63JEDU) (N=148)	K さん (Q63KEDU) (N=105)	L さん (Q63LEDU) (N=66)	全体 (N=503)
中学校（旧制小学校）	29 (15.8%)	18 (12.2%)	14 (13.3%)	11 (16.7%)	72 (14.3%)
高校（旧制中学校・高等 女学校・実業学校・師範 学校）	83 (45.1%)	76 (51.4%)	53 (50.5%)	29 (43.9%)	241 (47.9%)
短大・高専	12 (6.5%)	9 (6.1%)	1 (1.0%)	3 (4.5%)	22 (4.4%)
専門学校	9 (4.9%)	10 (6.8%)	5 (4.8%)	13 (19.7%)	27 (5.4%)
大学（旧制高校・大学）	23 (12.5%)	16 (10.8%)	15 (14.3%)	9 (13.6%)	67 (13.3%)
大学院	0 (0.0%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)
わからない	16 (8.7%)	10 (6.8%)	13 (12.4%)	9 (13.6%)	48 (9.5%)
無回答	12 (6.5%)	8 (5.4%)	3 (2.9%)	1 (1.5%)	24 (4.8%)

問 64 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	I さん (Q64IWRK) (N=184)	J さん (Q64JWRK) (N=148)	K さん (Q64KWRK) (N=105)	L さん (Q64LWRK) (N=66)	全体 (N=503)
自営業主・自由業・ 家族従業員	51 (27.7%)	34 (23.0%)	29 (27.6%)	22 (33.3%)	136 (27.0%)
経営者・役員	8 (4.3%)	7 (4.7%)	4 (3.8%)	3 (4.5%)	22 (4.4%)
正規の職員・社員	20 (10.9%)	19 (12.8%)	13 (12.4%)	7 (10.6%)	59 (11.7%)
公務員	25 (13.6%)	27 (18.2%)	19 (18.1%)	10 (15.2%)	81 (16.1%)
パート・アルバイ ト・嘱託・臨時・派 遣	20 (10.9%)	10 (6.8%)	7 (6.7%)	2 (3.0%)	19 (3.8%)
学生	0 (0.0%)	1 (0.7%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	23 (4.6%)
仕事をしていない (専業主婦・退職者 など)	43 (23.4%)	35 (23.6%)	22 (21.0%)	16 (24.2%)	116 (23.1%)
わからない	4 (2.2%)	5 (3.4%)	4 (3.8%)	4 (6.1%)	17 (3.4%)
無回答	13 (7.1%)	10 (6.8%)	5 (4.8%)	2 (3.0%)	30 (6.0%)

問 65 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	I さん (Q65IJB) (N=184)	J さん (Q65JJB) (N=148)	K さん (Q65KJB) (N=105)	L さん (Q65LJB) (N=66)	全体 (N=503)
上級管理職（経営者・役員・ 部長など）	18 (9.8%)	13 (8.8%)	8 (7.6%)	4 (6.1%)	43 (8.5%)
中間管理職（課長・店 長など）	11 (6.0%)	11 (7.4%)	9 (8.6%)	3 (4.5%)	34 (6.8%)
専門・技術（技術者・教員・ 弁護士など）	10 (5.4%)	13 (8.8%)	9 (8.6%)	3 (4.5%)	35 (7.0%)
事務（総務・経理・企画・営業事 務など）	18 (9.8%)	18 (12.2%)	12 (11.4%)	7 (10.6%)	55 (10.9%)
販売（小売店主・店員・ 外交員など）	5 (2.7%)	2 (1.4%)	5 (4.8%)	3 (4.5%)	15 (3.0%)
サービス（理美容・調理・家事 サービスなど）	9 (4.9%)	8 (5.4%)	4 (3.8%)	5 (7.6%)	26 (5.2%)
運輸・通信（運転手・船 員・通信員・郵便外務など）	2 (1.1%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	4 (0.8%)
保安・警備（守衛・警 官・自衛官など）	3 (1.6%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)
製造・建設（工業作業・建築 作業員など）	10 (5.4%)	6 (4.1%)	5 (4.8%)	3 (4.5%)	24 (4.8%)
農林漁業・鉱業	26 (14.1%)	20 (13.5%)	14 (13.3%)	14 (21.2%)	74 (14.7%)
わからない	11 (6.0%)	7 (4.7%)	4 (3.8%)	6 (9.1%)	28 (5.6%)
記入不要（問 64 で「学生」 「仕事をしていない」場合 で未記入の回答数）	43 (23.4%)	36 (24.3%)	24 (22.9%)	16 (24.2%)	119 (23.7%)
無回答	18 (9.8%)	12 (8.1%)	9 (8.6%)	2 (3.0%)	41 (8.2%)

問 66 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

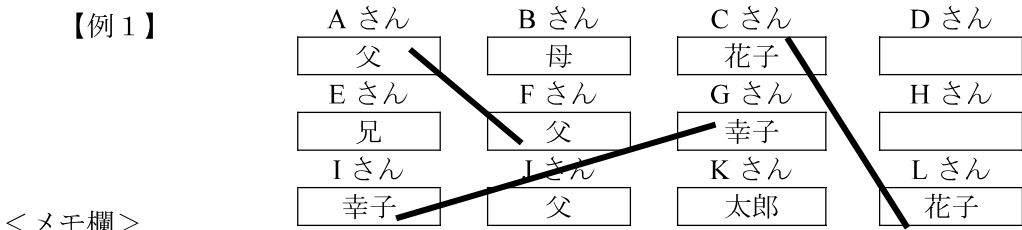
	I さん (Q66IINT) (N=184)	J さん (Q66JINT) (N=148)	K さん (Q66KINT) (N=105)	L さん (Q66LINT) (N=66)	全体 (N=503)
とても親しい	114 (62.0%)	80 (54.1%)	44 (41.9%)	23 (34.8%)	261 (51.9%)
親しい	49 (26.6%)	54 (36.5%)	50 (47.6%)	38 (57.6%)	191 (38.0%)
それほど親しくない	9 (4.9%)	7 (4.7%)	9 (8.6%)	4 (6.1%)	29 (5.8%)
無回答	12 (6.5%)	7 (4.7%)	2 (1.9%)	1 (1.5%)	22 (4.4%)

問 67 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

	I さん (Q67IRLS) (N=184)	J さん (Q67JRLS) (N=148)	K さん (Q67KRLS) (N=105)	L さん (Q67LRLS) (N=66)	全体 (N=503)
共通の趣味や娯楽を持っている	92 (55.0%)	59 (39.9%)	40 (38.1%)	24 (36.4%)	215 (42.7%)
最近6ヵ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	91 (49.5%)	77 (52.0%)	59 (56.2%)	37 (56.1%)	264 (52.5%)
まとまったお金を借りることができる	40 (21.7%)	20 (13.5%)	10 (9.5%)	3 (4.5%)	73 (14.5%)

※これまで第4部から第6部まで質問してきました、あなたがいろいろと話したりお付き合いしたりしている方たちについて、上の欄で記入されたAさん～Lさんまでのイニシャルや愛称、あるいはニックネームなどを下記の＜メモ欄＞に記入ください。
※【例1】のように、メモで記入した方たちで、同じ人の四角を線で結んでください。
※同じ人がいない場合は、問69へ進んでください。

【例1】



A さん	B さん	C さん	D さん
E さん	F さん	G さん	H さん
I さん	J さん	K さん	L さん

問 68 上の＜メモ欄＞において、線で結んだ人は誰と誰ですか。アルファベットでお答えください。《【例2】を参照。》

【例2】

(1)	同じ人は	A	と	F	と	J
(2)	同じ人は	C	と	L	と	
(3)	同じ人は	G	と	I	と	

<回答欄>

(1)	同じ人は (Q681SAME)		と		と	
(2)	同じ人は (Q682SAME)		と		と	
(3)	同じ人は (Q683SAME)		と		と	
(4)	同じ人は (Q684SAME)		と		と	
(5)	同じ人は (Q685SAME)		と		と	
(6)	同じ人は (Q686SAME)		と		と	

第7部 防災・災害への意識に関する事柄についておうかがいします。

問 69 (Q69DPCS) 自然災害に対する防災について、日頃から意識していますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=227)

1	2	3	4	5
非常に意識している	意識している	どちらとも いえない	意識して いない	全く意識して いない
50 (22.0%)	134 (59.0%)	31 (13.7%)	9 (4.0%)	3 (1.3%)

問 70 (Q70EVPL) 避難所の場所を知っていますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=228)

1	災害時における避難所の名前・場所をともに知っている	160 (70.2%)
2	避難所の名前は知らないが、場所はわかる	56 (24.6%)
3	避難所の名前も場所も知らないが、思い当たる場所はある	8 (3.5%)
4	避難所の名前は知っているが、場所はわからない	1 (0.4%)
5	避難所の名前も知らないし、場所もわからない	3 (1.3%)

問 71 (Q71EVTR) 今年に入ってから、地域の避難訓練に参加したことがありますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=224)

1	2	3	4
参加した	参加していないが、 見学はした	訓練は知っていたが 参加も見学もしていな い	訓練を知らない
120 (53.6%)	14 (6.3%)	80 (35.7%)	10 (4.5%)

問 72 (Q72WKSP) 今年に入ってから、地域ごとの防災ワークショップ（対話集会）に参加したことはありますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=222)

1	2	3
参加した	ワークショップは知っていた が、参加していない	ワークショップを 知らない
50 (22.5%)	60 (27.0%)	112 (50.5%)

問 73 (Q73EVCR) これまで『避難カルテ』を作ったことがありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけて ください。(N=211)

1	2	3
作ったことがある	『避難カルテ』は知っていたが 作ったことはない	『避難カルテ』を知らない
15 (7.1%)	55 (26.1%)	141 (66.8%)

問 74 (Q74DPPR) 自然災害に備えてとっている対策について、あてはまるもの すべてに○をつけて ください。(N=228)

		該当者数 (複数回答)
1	携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している	165 (72.4%)
2	食料や飲料水を準備している	75 (32.9%)
3	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	45 (19.7%)
4	自宅建物もしくは家財を対象とした地震保険（地震被害を補償する共済を含む）に加入している	98 (43.0%)
5	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	141 (61.8%)
6	いつも風呂の水をためおきしている	41 (18.0%)
7	貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している	73 (32.0%)
8	家族の安否確認の方法などを決めている	47 (20.6%)
9	耐震性のある家に住んでいる	35 (15.4%)
10	非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	19 (8.3%)
11	自家用車の燃料が半分以下になれば満タンにするようにしている	59 (25.9%)
12	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	33 (14.5%)
13	防災訓練に積極的に参加している	63 (27.6%)
14	感電ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している	11 (4.8%)
15	風呂の水をためおきたり、消火器を準備するなど消火活動を行うための準備をしている	26 (11.4%)
16	家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気を遣っている	20 (8.8%)
17	その他（ ）＊	3 (1.3%)
18	特になにもしていない	39 (17.1%)
19	わからない	3 (1.3%)

＊自由記述

- ・ ガソリン、灯油、軽油常備
- ・ ヘルメット、長靴等の準備
- ・ 非常持ち出し袋は用意ある

第 8 部 あなたの普段のコミュニケーションについておうかがいします。

問 75 次にいろいろな機器があげられています。それぞれ家にあるかどうか、家にある場合はふだん自分で利用しているかどうか、家がない場合は将来ほしいと思っているかどうかなどについて、1～4の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ) (N=236)

	家にある		家がない		無回答
	自分も利用している	自分はない	将来ほしい	わからない	
テレビ受像機（パソコン、ワンセグは除く） (Q7501TV)	186 (78.8%)	9 (3.8%)	2 (0.8%)	7 (3.0%)	32 (13.6%)
DVD、ブルーレイなどの録画機 (Q7502DVD)	136 (57.6%)	30 (12.7%)	10 (4.2%)	15 (6.4%)	45 (19.1%)
VHS ビデオデッキ (Q7503VHS)	61 (25.8%)	43 (18.2%)	0 (0.0%)	72 (30.5%)	60 (25.4%)
ラジオ (Q7504RAD)	136 (57.6%)	46 (19.5%)	9 (3.8%)	13 (5.5%)	32 (13.6%)
パソコン (Q7505PC)	86 (36.4%)	39 (16.5%)	14 (5.9%)	36 (15.3%)	61 (25.8%)
携帯型ゲーム機（ニンテンドーDS、PSP など） (Q7506PG)	27 (11.4%)	42 (17.8%)	1 (0.4%)	96 (40.7%)	70 (29.7%)
テレビゲーム機（Wii、PlayStation シリーズなど） (Q7507VG)	29 (12.3%)	47 (19.9%)	0 (0.0%)	89 (37.7%)	71 (30.1%)
固定電話 (Q7508HPH)	172 (72.9%)	16 (6.8%)	4 (1.7%)	18 (7.6%)	26 (11.0%)
ワンセグ対応の携帯電話 (Q7509OSC)	52 (22.0%)	38 (16.1%)	7 (3.0%)	66 (28.0%)	73 (30.9%)
スマートフォン（iPhone、Android 端末など） (Q7510SMP)	68 (28.8%)	35 (14.8%)	21 (8.9%)	45 (19.1%)	67 (28.4%)
携帯電話（ワンセグ対応携帯・スマートフォンは除く） (Q7511CPH)	105 (44.5%)	20 (8.5%)	3 (1.3%)	58 (24.6%)	50 (21.2%)
携帯型デジタル音楽プレーヤー（iPod など） (Q7512PM)	30 (12.7%)	36 (15.3%)	7 (3.0%)	89 (37.7%)	74 (31.4%)
電子書籍リーダー（Amazon のキンドルなど） (Q7513EBK)	6 (2.5%)	18 (7.6%)	13 (5.5%)	123 (52.1%)	76 (32.2%)
タブレット型端末（iPad など） (Q7514TAB)	15 (6.4%)	28 (11.9%)	28 (11.9%)	90 (38.1%)	75 (31.8%)

※ 1 携帯電話もしくはスマートフォンを持っている人は、以下の問 77 以降をお答えください。携帯電話やスマートフォンのいずれも持っていない人は、問 81 へ飛んでください。

問 76 (Q76SUCT) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=128)

およそ

時間

分

平均時間＝86.0 分、SD＝157.37

問 77 (Q77SUSV) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=127)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	82 (64.6%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	44 (34.6%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	16 (12.6%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	23 (18.1%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	19 (15.0%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	22 (17.3%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	12 (9.4%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	6 (4.7%)
9	その他のインターネット利用	28 (22.0%)

問 78 (Q78MNCT) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=115)

およそ 時間 分 平均時間=71.0 分、SD=140.64

問 79 (Q79MNSV) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=115)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	76 (66.1%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	32 (27.8%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	14 (12.2%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	12 (10.4%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	19 (16.5%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	19 (16.5%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	10 (8.7%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	6 (5.2%)
9	その他のインターネット利用	22 (19.1%)

※2 自宅にパソコンを持っている人は、以下の問 81 以降をお答えください。自宅にパソコンを持っていない人は、問 85 へ飛んでください。

問 80 (Q81SUPC) この前の日曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=54)

およそ 時間 分 平均時間=112.2 分、SD=125.01

問 81 (Q81SUSV) この前の日曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=34)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	30 (55.6%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	34 (63.0%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	7 (13.0%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	17 (31.5%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	9 (16.7%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	4 (7.4%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	5 (9.3%)
8	ラジオを聴く（ラジオなど）	5 (9.3%)
9	その他のインターネット利用	24 (44.4%)

問 82 (Q82MNPC) この前の月曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=46)

およそ 時間 分 平均時間=84.5 分、SD=75.11

問 83 (Q83MNSV) この前の月曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=23)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	30 (65.2%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	24 (52.2%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	4 (8.7%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	15 (32.6%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	7 (15.2%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	5 (10.9%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	4 (8.7%)
8	ラジオを聴く（ラジオなど）	4 (8.7%)
9	その他のインターネット利用	24 (52.2%)

問 84 (Q84NWP) あなたは自宅で新聞を購読していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=216)

1	高知新聞を定期購読している。	165 (76.4%)
2	全国紙（読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞など）を定期購読している。	19 (8.8%)
3	スポーツ新聞を定期購読している。	7 (3.2%)
4	職場などで定期購読している新聞を読んでいる	7 (3.2%)
5	図書館など公共施設で新聞を読んでいる	2 (0.9%)
6	普段、新聞を読まない	31 (14.4%)

問 85 (Q85MGZ) あなたは普段、(マンガ以外の) 雑誌を読みますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=216)

1	町の広報誌 (『広報くろしお』) は定期的に読んでいる。	158 (73.1%)
2	フリーペーパーをよく読んでいる。	40 (18.5%)
3	高知のタウン誌をよく読んでいる。	37 (17.1%)
4	特定の全国雑誌を定期購読している。	34 (15.7%)
5	全国雑誌などをお店などで読んでいる。	28 (13.0%)
6	図書館など公共施設で雑誌を読んでいる	13 (6.0%)
7	普段、雑誌を読まない	35 (16.2%)

第9部 あなたの普段の情報収集についておうかがいします。

問 91 あなたは以下にあげた内容に関する情報を、どのような情報源から得ていますか。この1ヶ月の間に、それぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中からいくつでも○をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で最もよく使った情報源には1つ◎をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=215)

(記入例)

国内ニュース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

	友人・家族と直接 会って聞く ◎	友人・家族からの 電話やメール ◎	テレビ放送 ◎	ケーブルテレビ ◎
1)国内ニュース(Q911DN)	54 (25.1%)	31 (14.4%)	205 (95.3%)	5 (2.3%)
2)海外ニュース(Q912IN)	21 (9.8%)	8 (3.7%)	176 (81.9%)	3 (1.4%)
3)地域 (ローカル) ニュース(Q913LN)	56 (26.0%)	26 (12.1%)	149 (69.3%)	3 (1.4%)
4)天気予報 (Q914WT)	30 (14.0%)	7 (3.3%)	200 (93.0%)	0 (0.0%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	35 (16.3%)	22 (10.2%)	66 (30.7%)	1 (0.5%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	40 (18.6%)	18 (8.4%)	61 (28.4%)	0 (0.0%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	50 (23.3%)	21 (9.8%)	121(56.3%)	0 (0.0%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	26 (12.1%)	10 (4.7%)	142 (66.0%)	0 (0.0%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	51 (23.7%)	29 (13.5%)	104 (48.4%)	0 (0.0%)

	ラジオ放送 ㊤	新聞 ㊤	雑誌 ㊤	町の広報誌 ㊤
1)国内ニュース(Q911DN)	57 (26.5%)	158 (73.5%)	18 (8.4%)	35 (16.3%)
2)海外ニュース(Q912IN)	35 (16.3%)	108 (50.2%)	14 (6.5%)	4 (1.9%)
3)地域（ローカル）ニュース(Q913LN)	34 (15.8%)	112 (52.1%)	7 (3.3%)	66 (30.7%)
4)天気予報 (Q914WT)	44 (20.5%)	100 (46.5%)	3 (1.4%)	1 (0.5%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	9 (4.2%)	44 (20.5%)	42 (19.5%)	2 (0.9%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	9 (4.2%)	48 (22.3%)	42 (19.5%)	3 (1.4%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	17 (7.9%)	65 (30.2%)	23 (10.7%)	18 (8.4%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	4 (1.9%)	116 (54.0%)	8 (3.7%)	1 (0.5%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	14 (6.5%)	43 (20.0%)	60 (27.9%)	4 (1.9%)

	掲示板、ポスター、チラシなど ㊤	パソコンのウェブ サイト ㊤	携帯情報サイト ㊤	そのような情報は 必要としない ㊤
1)国内ニュース(Q911DN)	15 (7.0%)	31 (14.4%)	28 (13.0%)	0 (0.0%)
2)海外ニュース(Q912IN)	1 (0.5%)	32 (14.9%)	24 (11.2%)	5 (2.3%)
3)地域（ローカル）ニュース(Q913LN)	22 (10.2%)	14 (6.5%)	10 (4.7%)	4 (1.9%)
4)天気予報 (Q914WT)	0 (0.0%)	31 (14.4%)	43 (20.0%)	1 (0.5%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	34 (15.8%)	50 (23.3%)	27 (12.6%)	33 (15.3%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	50 (23.3%)	45 (20.9%)	32 (14.9%)	18 (8.4%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	12 (5.6%)	36 (16.7%)	22 (10.2%)	9 (4.2%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	2 (0.9%)	19 (8.8%)	11 (5.1%)	12 (5.6%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	28 (13.0%)	33 (15.3%)	24 (11.2%)	25 (11.6%)

問 92 あなたは以下にあげた**奈半利町に関する情報**を、どのような情報源から得ていますか、この1ヶ月の間に、以下のそれぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中から**いくつでも○**をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で**最もよく使った情報源には1つ◎**をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=214)

	友人・家族と直接 会って聞く 02	友人・家族からの 電話やメール 03	テレビ放送 03	ケーブルテレビ 04
奈半利町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など） (Q921LPL)	92 (43.0%)	22 (10.3%)	21 (9.8%)	4 (1.9%)
奈半利町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報 (Q922LDP)	72 (33.6%)	20 (9.3%)	11 (5.1%)	4 (1.9%)
奈半利町の経済状況に関する情報 (Q923LEC)	52 (24.3%)	13 (6.1%)	10 (4.7%)	1 (0.5%)
奈半利町における事件・事故などに関する情報 (Q924LCR)	99 (46.3%)	48 (22.4%)	53 (24.8%)	2 (0.9%)
奈半利町において開催される催し物やイベントなどの情報 (Q925LEV)	79 (36.9%)	42 (19.6%)	25 (11.7%)	3 (1.4%)
奈半利町における新規店舗や新商品、セールなどの情報 (Q926LCM)	82 (38.3%)	33 (15.4%)	10 (4.7%)	0 (0.0%)
奈半利町におけるまちづくり活動などの情報 (Q927LCB)	63 (29.4%)	20 (9.3%)	13 (6.1%)	4 (1.9%)

	ラジオ放送 05	新聞 06	雑誌 07	町の広報誌 08
奈半利町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など） (Q921LPL)	7 (3.3%)	49 (22.9%)	1 (0.5%)	178 (83.2%)
奈半利町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報 (Q922LDP)	5 (1.9%)	23 (10.7%)	0 (0.0%)	166 (77.6%)
奈半利町の経済状況に関する情報 (Q923LEC)	4 (1.9%)	23 (10.7%)	0 (0.0%)	156 (72.9%)
奈半利町における事件・事故などに関する情報 (Q924LCR)	15 (7.0%)	88 (41.1%)	0 (0.0%)	41 (19.2%)
奈半利町において開催される催し物やイベントなどの情報 (Q925LEV)	7 (3.3%)	40 (18.7%)	1 (0.5%)	119 (55.6%)
奈半利町における新規店舗や新商品、セールなどの情報 (Q926LCM)	3 (1.4%)	27 (12.6%)	2 (0.9%)	37 (17.3%)
奈半利町におけるまちづくり活動などの情報 (Q927LCB)	6 (2.8%)	31 (14.5%)	2 (0.9%)	141 (65.9%)

	⑨ 掲示 板、ポ ス タ 、 チ ラ シ な ど	⑩ パ ソ コ ン の ウ ェ ブ サ イ ト	⑪ 携 帯 情 報 サ イ ト	⑫ そ の よ う な 情 報 は 必 要 と し な い
奈半利町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	29 (13.6%)	4 (1.9%)	1 (0.5%)	6 (2.8%)
奈半利町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	58 (27.1%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)	4 (1.9%)
奈半利町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	11 (5.1%)	2 (0.9%)	2 (0.9%)	15 (7.0%)
奈半利町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	10 (4.7%)	3 (1.4%)	1 (0.5%)	8 (3.7%)
奈半利町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	93 (43.5%)	4 (1.9%)	2 (0.9%)	8 (3.7%)
奈半利町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	74 (34.6%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	19 (8.9%)
奈半利町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	51 (23.8%)	4 (1.9%)	1 (0.5%)	12 (5.6%)

問 93 あなたが必要な情報を得るための手段（情報源）として、次のメディアは、どのくらい重要ですか。
それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの 1 つに○をつけてください。（○はそれぞれ 1 つずつ）（N=236）

	非常に 重要	ある程度 重要	どちらと もいえな い	あまり 重要では ない	まったく 重要では ない	無回答
1) テレビ（Q931TV）	162 (68.6%)	40 (16.9%)	7 (3.0%)	5 (2.1%)	4 (1.7%)	18 (7.6%)
2) 新聞（Q932NWP）	124 (52.5%)	71 (30.1%)	10 (4.2%)	6 (2.5%)	1 (0.4%)	24 (10.2%)
3) 雑誌（Q933MGZ）	12 (5.1%)	60 (25.4%)	43 (18.2%)	56 (23.7%)	11 (44.7%)	54 (22.9%)
4) インターネット （Q934INET）	57 (24.2%)	40 (16.9%)	29 (12.3%)	18 (7.6%)	23 (9.7%)	69 (29.2%)

問 94 あなたは、次のメディアの情報のうち、信頼できる情報はどの程度あるとおもいますか。それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの 1 つに○をつけてください。なお、利用していないメディアについては、大体の印象でお答えください。（○はそれぞれ 1 つずつ）（N=236）

	全部 信頼 できる	大部分 信頼 できる	半々 くらい	一部しか 信頼 できない	まったく 信頼 できない	無回答
1) テレビ (Q941TV)	50 (21.2%)	122 (51.7%)	32 (13.6%)	10 (4.2%)	1 (0.4%)	21 (8.9%)
2) 新聞 (Q942NWP)	51 (21.6%)	126 (53.4%)	24 (10.2%)	7 (3.0%)	1 (0.4%)	27 (11.4%)
3) 雑誌 (Q943MGZ)	2 (0.8%)	38 (16.1%)	83 (35.2%)	50 (21.2%)	6 (2.5%)	57 (24.2%)
4) インターネット (Q944INET)	10 (4.2%)	46 (19.5%)	56 (23.7%)	30 (12.7%)	15 (6.4%)	79 (33.5%)

ご協力ありがとうございました。

社会調査員 記録票

(社会調査員専用記入欄)

調査員番号	
回収日時	月 日 午前・午後 時 分頃
受理方法	本人 ・ 家族 ・ その他 ()
報告書送付 希望申請用紙	あり ・ なし

I D 番号		地区番号	
--------	--	------	--

著者 遠山 茂樹

高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 教授

(人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース)

デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発

(課題番号：25330399) [研究代表者 遠山茂樹]

2013 年度～2016 年度科学研究費補助金（基盤研究C）研究成果報告書

発行日：2017 年 3 月 31 日

著作・発行 遠山 茂樹

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目 5 番 1 号

高知大学人文社会科学部 遠山研究室

TEL&FAX: 088-844-8183

s-toyama@kochi-u.ac.jp / <http://souls.cc.kochi-u.ac.jp/s-toyama.html>
